（日刊）
滿洲日報

錦州軍に對し關內へ期限附き撤退を要求
受諾せざれば斷乎排擊

【東京十八日發】陸軍では十八日滿鐵沿線擾亂の匪賊討伐聲明を發すると共に本庄軍司令官に指令を發したので、本庄軍司令官は自由裁量で張學良に對し錦州方面支那軍の關內撤退を一週間乃至十日內に期限を附し要求する事になつた、若し支那側にして之を受諾せざる場合は直ちに之を排擊する事になり事態は重大化して來た

學良、錦州固守を命令

【天津十八日發】北平よりの確報に依れば張學良は錦州の榮臻に對し左の命令を發したと
日本軍の錦州襲擊は單に時日の問題である、日本軍來襲せば省政府を灤州に移し軍を以て飽くまで錦州を固守せよ

障の爲め使用に堪へぬ模樣である、通遼及びその西北方地方地區に活躍してゐる馬賊一千は最近遼北に進出した

錦州軍の兵力十萬

【東京十八日發】張學良は盛んに兵匪馬賊を改編し目下滿鐵沿線及びその以西に約二萬三千、義勇軍約五千、純馬賊約五、六千あり、通遼西方には騎兵約八千名あり、而して錦州及び大凌河以東の正規軍、保安隊等五萬八千、計十萬である

南大將は明日大船出發渡滿

【東京十八日發】滿洲軍慰問旁々陸軍中央部の重大使命を託された南大將は二十日午後十時四十三分大船發奉天に直行する事となつた

我軍は治安の維持上遼西地方の匪賊討伐
わが陸軍當局聲明の內容

【東京十八日發】陸軍では北平にある張學良が日一日錦州方面に兵匪を集中し、其間兵匪と便衣隊を使嗾し滿鐵沿線を脅威し無辜の帝國臣民に對し危害を加ふる事續出し抗日行爲を續けるので軍本來の使命に鑑み愈々之が徹底的排除を決意し、本日左の如く張學良の暴虐行爲に對する暴露聲明をなしたが、陸軍當局は左の如く語つた
滿洲各地における匪賊を多大の犧牲を以つてせる我軍の討伐行動により一時鎭靜に向はんとしつゝありしも、その後**帝國軍が平和を顧念し錦州方面支那軍との不幸なる衝突を回避**して忍び難きを忍んで一時遼西方面に對する討伐を自制中止せるため、該方面に殘存せる**有力なる匪賊は舊政權に屬する錦州政府と相通じ最近に至りその活動は計畫的にて直接我南滿洲鐵道沿線を脅威擾亂する事を目的**とし居るが如し、今や我軍は已むなく全般的に亘り**特に遼西地方の匪賊討伐を決行**せざるべからざるに至つた

錦州學良軍の兵力

【東京十八日發】奉天十七日發、陸軍省着電によれば、錦州附近の狀況左の如し
錦州方面の部隊は正規軍三萬五千、軍砲三十二門、加農砲十六門と推定さる、その旅數は增加しないが旅の編合內の部隊數を增加し、或は部隊內の兵員機材を充實する等秘密裡に實力增強に努めてゐる、即ち獨立十三旅の六千は十一月末に一萬餘となつた、十九旅の衛隊連は團に擴張された、騎兵第三旅は三個團編成を六個團に擴張した、各部隊に最近迫擊砲を增加し關內より飛行機二臺を增加したが、故

新興の氣溢る奉天省政府

學良を中心として北方は獨立の形態
南京に對し一大敵國

【北平十八日發】張學良を中心とする**軍事、政治、財政三委員會は兩三日中に成立**する事となつた、委員は張學良、蔣介石の外、山東、山西の實力派及び安福系を加へ更に敎育界巨頭を網羅し北方要人全部を打つて一丸とし、**黃河以北の北支全體に及ぶ權限を以つて完全な北方獨立の形態を整へて居り、**南京政府に對する一大敵國を意味するものである

北伐軍の準備完了

漢口來電によれば、廣東廣西の北伐準備完了し本月末までには總前進を開始する豫定で廣西軍は四萬廣東軍は三萬である、前者の總指揮は李揚敬、後者は白崇禧なり、第一前進目標は湖南の衡州である、そして湖南主席何鍵氏は既にこれと連絡成立したと【奉天電話】

蔣介石軍を切崩し

【天津特電十八日發】廣東派は津浦平漢兩線で蔣介石軍切崩し運動を開始した、東北軍も警戒を嚴重にし益々結束を固め錦州を中心に最後まで日本に對抗することに決定した

少壯將校別働隊指揮

【天津十八日發】榮臻の希望により張學良は別働隊の指揮に當らしむるため在北平東北軍少壯將校下士を毎日數十名宛錦州に送つてゐる、又張學良は無線電信機二十臺を錦州、山海關、灤州その他の要地に增設軍隊を指揮してゐる

綏靖主任を張學良辭退

【天津十八日發】張學良は綏靖主任を辭退して來たが、國民政府はこれを受けつけず錦州軍を督勵し失へる土地を恢復すべしと命令した

政變には關係なく經綸を行ひ得
滿蒙首腦者に對する軍部主張理由

【名古屋十八日發】滿蒙對策統一を期するため軍部は滿洲に都督又は總督を置きこれを軍部より任命すべしと主張して居るが、未だ政府部內の意見としては講究されて居ないが軍部主張の理由は若槻內閣の設置せんとした滿蒙統治方針調査機關の如きは滿鐵總裁を首腦とするに對しこれは軍部出身者を以てすべしとなし斯くて始めて政變その他の事情に應ずる事なく經綸を行ひ得ると言ふにあり南前陸相が一兩日中に渡滿する南前陸相の用件もこの軍部の意見の具體化に重大役割をなすものである

防寒具も行き渡り關東軍活氣を呈す

關東軍が旅順から奉天に移駐してから丁度今日で三月目になるが、十八日關東軍の統治部が出來內政統治機關が完備し、なほ十八日に至つて關東軍司令部各將兵に防寒具が行き渡り○○部の輸送をあづかる○○部では俄に活動を開始したが、これは陸軍が錦州軍の討伐を聲明した事に端を發していよいよ關東軍でも軍事活動開始の準備とみられ非常の緊張を示してゐる【奉天電話】

地方長官の異動
昨夕刊つゞき

【東京十八日發】本日發令された地方長官異動左の如し（昨夕刊續き）

東京府書記官　廣瀨久忠
任三重縣知事（二等）
元復興局部長　田中庫太郎
任靜岡縣知事（二等）
元三重縣書記官　芝辻一郎
任山梨縣知事（二等）
埼玉縣知事　山中恒三
任滋賀縣知事（二等）
內務書記官　伊藤武彥
任岐阜縣知事（二等）
地方局長　三邊長治
任宮城縣知事（一等）
元北海道部長　村井八郎
任福島縣知事（一等）
奈良縣知事　石黑英彥
任岩手縣知事（二等）
元大阪府書記官　宮本貞三郎
任青森縣知事（二等）
元青森縣書記官　川村貞四郎
任山形縣知事（二等）
元臺灣殖產局長　內田隆
任秋田縣知事（二等）
元福井縣知事　小濱淨鑛
任福井縣知事（二等）
元內務省監察官　平賀周
任石川縣知事（二等）
內閣書記官　館哲二
任鳥取縣知事（二等）
元島根縣知事　八木林作
任島根縣知事（二等）
文部省普通學務局長篠原英太郎
任岡山縣知事（一等）
元長野縣知事　千葉了
任廣島縣知事（一等）
任山口縣知事（二等）　岡田周造
內務事務官　唐澤俊樹
任和歌山縣知事（二等）
神奈川縣書記官　落合慶四郎
任德島縣知事（二等）
元廣島縣書記官　伊藤昌庸
任香川縣知事（二等）
前大分縣知事　久米成夫
任愛媛縣知事（二等）
長崎縣書記官　赤松小寅
任高知縣知事（二等）
元石川縣知事　石川佐之助
任福岡縣知事（一等）
元熊本縣書記官　永野清
任大分縣知事（二等）
奈良縣書記官　早川三郎
任佐賀縣知事（二等）
元德島縣知事　山下謙一
任熊本縣知事（二等）
佐賀縣知事　半井清
任宮崎縣知事（二等）
三重縣知事　市村慶三
任鹿兒島縣知事（一等）

依願免本官（各通）
內務省衞生局長　赤木朝治
社會局長官　松本學
東京府知事　牛塚虎太郎
大阪府知事　柴田善三郎
新潟縣知事　中野邦一
岩手縣知事　久保豐四郎
高知縣知事　坪井勤吉
福岡縣知事　川淵洽馬
宮崎縣知事　有吉實

休職被仰付（各通）
京都府知事　黑崎眞也
香川縣知事　山縣次郎
兵庫縣知事　小林牧衞
群馬縣知事　平田紀一
茨城縣知事　田中無事生
栃木縣知事　淺利三朗
愛知縣知事　香坂昌康
靜岡縣知事　鵜澤憲
山梨縣知事　福田虎龜
滋賀縣知事　除野康雄
岐阜縣知事　吉田勝太郎
福島縣知事　川崎末五郎
青森縣知事　守屋磨瑳男
山形縣知事　山口安憲
秋田縣知事　稗方弘毅
福井縣知事　齋藤正楠
石川縣知事　田寺俊信
鳥取縣知事　神田純一
島根縣知事　三澤寬一
山口縣知事　平井三男
和歌山縣知事　藏原敏捷
德島縣知事　土居通次
香川縣知事　高橋雄豺
愛媛縣知事　笹井幸一郎
大分縣知事　阿部嘉七
熊本縣知事　本山文平
社會局部長　石原雅二郎

司法官異動
大審院長更任

【東京十八日發】牧野大審院長の停年退職に伴ひ幾多の曲折を經たる司法官異動はその後鈴木法相の手により小山檢事總長を大審院長に推擧し同氏が固辭したる結果又も銓衡のやり直しとなり十八日の閣議に大審院長、東京控訴院長、名古屋檢事長、司法次官のみ左の如く決定上奏御裁可の手續きを執つた

補大審院長　東京控訴院長　和仁貞吉
任判事補東京控訴院長　司法次官　小原直
任司法次官　名古屋控訴院檢事長　皆川治廣
補名古屋控訴院檢事長　東京地方裁判所檢事正　金山季逸
補長崎控訴院檢事長　長崎控訴院檢事長　吉益俊次

農林省異動

【東京十八日發】閣議決定人事
任文部省普通學務局長　武部欽一
任農務局長　農林省蠶絲局長　小平權一
任水產局長　同水產局長　長瀨貞一
任山林局長　同畜產局長　戶田保忠
任畜產局長　農林省書記官　村上龍太郎
任蠶絲局長　入江魁
依願免本官　山林局長　平熊友明

藤沼氏就任拒絕

【東京十八日發】愛媛縣知事に決定發表された藤沼庄平氏は就任を拒絕したゝめ急にこれを變更し香坂現知事の居据はりと決定したがこれは一時的便法であつて近く更迭

新黨樹立を計畫
國家社會主義一派

【東京十八日發】滿洲事件を機機として無產陣營の國家社會主義運動が漸次具體化しつゝあつたが、平凡社長下中彌三郎氏は十七日夜時局懇談會を名として無產黨關係赤松、島中、松下、山崎氏等其他を招待し新黨組織を提唱し明年一月開かれる社民黨大會では之を中心として相異なる方向に黨內二大分裂を來すのではないかと觀られてゐる

帝國の重大立場上大決心を以て臨む
軍縮會議は半歲位かゝらう
門司にて松井陸軍全權談

【門司特電十八日發】軍縮會議に臨む永野海軍中將、松井陸軍中將兩全權（佐藤全權大使は近くシベリア經由渡歐の筈）一行五十三名は諏訪丸で神戶から十八日午前十一時二十分門司に着いた、關門北九州各市長その他官民多數の出迎へさかんで午後四時からは門司クラブで盛大なる歡迎會が開かれる筈である、松井全權は語る
今度の會議は必ずしも陸軍が主といふ譯ではないが、われ等の奮鬪しなければならぬものが多い、われ等の東京出發以來到るところで非常な歡迎と熱誠な見送りを受けた、それだけ國民の**期待する**ものが多い事を察し、われ等の責任の重きことを痛感してゐる、これまでも軍縮といふことは經濟關係から國內的にも叫ばれたこともあり、且つ日本は島國であるからこの島國を護るだけの軍備さへあればよいと考へた國民も多數あり外國でも左樣に思つてゐたのであるしかるに今度滿洲事變が起つてわが國民の生命線が滿蒙であることを國民が自覺し列國もまたこれを認めたのである、しかも滿洲事件についてわが國の相手國は支那ばかりではなくロシアも陰に陽に策動して
相手國となつてゐるが、わが國の相手國は支那、ロシア二國だけではない、滿洲事變について獨、英、佛、米その他國際聯盟の世界各國が喙を容れてゐるではないか、即ち日本の相手國は世界列國となつたのである日本の軍備もこれだけの覺悟を要する譯である、空軍問題も會議の重要なるものとなるであらうが、日本の空軍はもつともつと擴張しなければならぬ、こんどの會議には日本の立場が前述の如く世界的であるだけ非常な決心をもつて臨まなければならぬから相當迂餘曲折を重ね
半歲位はかゝるだらう、無論滿洲問題も引合ひに出るであらうが、われ等は偏へに國民の非常な決心と辛抱強い熱心なる後援とを賴みとして奮鬪努力する決心である

金輪再禁と今後の爲替貿易

金輪出禁止――これが是非得失は最早あげつらつても仕方がない。こゝにわが金輸再禁とこれが國際關係を大摑みに考へて見やう。

爲替の前途

第一に爲替であるがこれは早くも二割近くの暴落を見せてゐる。ニューヨーク外國爲替市場に於ける米日爲替は――（大引相場）

平價	四九弗八五
十日	四九・六三
十一日	四八・四五
十二日	四二・五〇

十四日のわが國內地では卅四弗と云ふレートまで出た。十四日のニユーヨークは四十弗の大關門を割るかも知れない。爲替が今後どの程度迄下がるかは全然豫測がつかない。爲替安が輸出增、輸入減の作用をなし、爲替の自然的回復を來たすと云ふのは經濟の原論だけで實際は却々さう簡單には行かぬ。

第一に思惑者流がぢつとしてゐない。圓はスペキユレーションの無二の好對照とされるだらう。輸出も爲替不安の爲め思ふ樣に增加するかどうか疑問であるし、又新內閣の關稅政策の如何によつては見越輸入が增加しないとも限らず豫期の如き貿易の好轉や爲替の安定が果して得られるかどうか。歐羅巴からすイギリスにあり、ポンドは既に三割以上のディスカウントにありながら、未だ安定の兆は少しも見えない。

借金はどうなる

金輸禁止となれば、金を貸てゐるものは損で、金を借りてゐるものが得となる。イギリスの如く外國へ四十億ポンドも投資してゐるものはポンドの下落から蒙る損失は非常なものである。日本は幸ひに海外投資は極めて少い。滿洲へ二十億圓投資してゐると云はれるが、これ等はどうせ回收の望み極めて薄いものである。一方日本は外國からまだ十五億圓ばかり借金してゐる。これが圓貨で借りてゐるなら此際大いに得をする譯だが生憎とこれは全部外國貨幣だから元利拂ひには日本は可なり損をしなければならぬ一方、外國の貸し手はホク〳〵である。最もニユーヨークの日本外貨債の如きは流石に次の如き崩落を見せた。

	六分半利米貨公債 弗	五分半利米貨新公債 弗
十日	九三・四分一	七七・八分三
十一日	九〇・四分一	七五・〇〇
十二日	八六・〇〇	七三・〇〇

生糸と綿製品

今回の金輸出禁止の動機目的がどこにあるかについてはいろ〳〵穿込んだ推測が行はれてゐるが、表看板は輸出貿易の促進、國內產業の振興である。所でわが國輸出品の兩大關は生糸と綿織物だが、生糸はアメリカでの相場が安くはなるもののこれによつて現在以上に著るしく消費が增加するかどうかはアメリカ現在の經濟不況に鑑み疑問だとアメリカの當業者も云つてゐる樣である。

綿製品の方は金輸禁止見越から原棉の手當が過般來大量に行はれたから前途相當の期間は採算可なり有利なるものがあり、イギリスの出異を抑へて逆にこれを壓迫することが出來るであらう。現在日本とイギリスとは海外綿製品市場でガツチリと四つに組んでゐる、これがどう變るかは今後の見物である。

外國の關稅政策

然しこゝに注意しなければならないのはわが國の輸出對手國の關稅政策である。折角こちらが爲替安を利して進出しやうとしても對手國の方で關稅を引上げたら何にもならない。既に世界は關稅戰の酣にある。フランス、南阿等は公然と爲替低落國よりの輸入に關稅增徵を行つてゐる。近東も、南米も南洋も續々と關稅の引上げをやつてゐる。支那やインドの如きは此の手で一再ならずわが國に煮え湯を呑ませた。今後も如何なる名目で增稅をやらぬとも限らぬ。

新民のわが軍包圍に陷る
別働隊一千餘名進出

十八日朝白旗堡大民屯より柳樹子へ錦州軍の別働隊一千餘名進出し新民の我軍は、これがため包圍狀態に陷つた【奉天電話】

社説

奉天廣東兩派と北支反張派

北支の政權に關して

北平を中心とする十七日北平發の政局電報を玩味すると、頗る興味がある。第一に東北政治分科委員三十三名が、十六日夜推薦されたとある。誰が推薦したのか、電文では明白でない。南京政府の發表によるか、奉天側の發表によるかも、不明である。併しながら張學良氏を委員長とする點、及び同日附別電によりて、張學良氏が陸海空軍副司令を免ぜられて居る點等より見て、奉天派が南京政變に對する政策として、其の政治的勢力を北支に支持するを目的とするものであると察せられる。統治區域は、河北、山西、山東、綏遠、哈爾、及び熱河と定められ、現在張氏の勢力の直接又は間接に及んで居る地方である。東北三省を除いてあるのは何故であるか。張氏はまだ此地方の治權を斷念したわけでもあるまいが、意味不明である。且つ之れは公的のものか私的のものかさへも不明であるのみならず、軍事的のものか政治的のものかも不明である。併しそれは支那のすべての事がさうであるから、強いて詮索するに及ばぬ。場合によりて、何れへでも向き得るものと考へてよい。畢竟此れは、奉天派の自衛策に出づるものと察せられる。即ち此れは蔣氏の勢力と結合して新南京政府に對せんとするものと解せらる。

◇第二に張學良氏は、十六日陸海空軍副司令を免ぜられ、綏靖公署主任に任ぜられたとある。之れは南京政府からの公式命令に相違ない。但し此南京政府は蔣介石氏下野し、廣東派が乘り込むまでの臨時主席林森氏の主宰下にあるものである。蔣介石氏が下野した以上、陸海空軍司令部なるものも無くなり、總司令が無くなつたのであらうから副司令が無くなるのも當然である。辭表も出さないのに、寢耳に水だと驚くのは、奉天派の無理解である。支那では斯樣な場合には、だまつて居て自然に消えて了ふのが常であるが、それでは張氏の居場所が無くなるから、好意的に別に綏靖公署なるものを作つて之れに任じた。隨つて免任の辭令を必要としたのである。

◇但し綏靖公署なるものは、出し拔けに出來たもので、これこそ寢耳に水だ。如何なる權限を有するものか分らない。之れも支那では普通の事で、官署があつても官制のないものが多く、之れに當る人物の力量次第で權限が定まるのである。故に文官でも軍隊を持つたり、武官でも行政や司法を掌理する。而して別報によると、此綏靖公署の權限なるものは、邊防と剿匪にあるらしい。邊防と剿匪と云へば北平を中心とする中央地方の政權は無い。穿ちて云へば東北地方を取り返し、東北を以て匪賊跋扈區域と見做し、之を除去せよといふのであつて、學生達の請願たる、失地回復の重任を負はせたものとも云ひ得る。支那の事だから、それほど窮屈に解釋するにも及ばず、そこは實力次第の事だが、既に實力を失つた奉天派は、此くの如き解釋に堕ぜられざるを得ない。即ち中央大官から地方軍官に貶ぜられたのであつて、且つ失地の失態を償ふ可く、罰を加へられたものと見做してよい。張學良氏が果して此の重任に堪へ得るや否やは疑問で、近く政府に辭意を表して下野通電を出す筈だとも傳へられる。

◇第三には、北平に政治分會を設ける準備中だとある。之れは廣東派の計畫で、廣東派の政府が出來てからの事である。政治分會なるものは、國民黨の中央集權的建前から見れば、變則的の制度であるが、支那の如き廣大な地域を統治するためには、寧ろ必要な制度である。且つ曾つて軍閥有力者が、各地に鎭座して居た事情の必要によりて、曩に此制度が採用されて居た。今度もそれを復活するのであらうが、其目的は、北方に一個の政治軍事の中心を置く事によりて（一）南北勢力の抗爭を緩和し（二）之れによりて張學良氏等の奉天派を壓迫し（三）南京の廣東派政府及び北平の政治分會派の聯合勢力によりて、蔣介石氏の勢力を壓迫する事にある。此電報によれば、政治分會設置は、擴大會議派（之れは汪精衛氏の改組派を主となし、鄒魯氏の西山派を加味し、天津で策動して居る）をして北方政局を收拾せしめる目的を有し、閻錫山氏を主席と爲すものである。

◇閻錫山氏は曾つて、改組派、西山派、馮玉祥派及び廣西派と結びて、北平に新政府を作つたそれが張學良氏によつて倒されたのである。且つ今度出來上る南京政府は、廣東派に改組派、西山派及び廣西派が、合流したものであるから、前述の如き成行きになるも自然の數である。序ながら目下別に段祺瑞氏を主腦とせんとする一の運動がある之れは主として舊安福系の策動する所で、閻氏には、山西派の背景がある爲めに、馮玉祥（西北派）吳佩孚（直隷派）韓復榘等巨頭を打つて一丸とする大同團結の盟主たるに適せず、しかも此等の北方勢力の大同團結あるにあらざれば、大軍閥奉天派を抑へる力が足りないのみならず、對日交渉に際しても、學生團の無理解な激昂を慰撫するに足らず、又共產黨の勢力を抑へる事も出來ない。故に此の北方勢力の大同團結の爲めに、段祺瑞氏を推戴せねばならんといふのであつて、南方の西山派や、廣西派及び廣東派にも、相當の諒解が出來て居ると傳へられる只汪精衛氏一派の所謂改組派との諒解は尙不十分だといふ事である。

奉天省政府は民意に基いて成立

列國との親善には努力する

臧主席記者團に語る

臧奉天省政府主席は十八日午前十一時省政府において日支その他外人の記者團に對し左の如き挨拶をなした

今回私が省長に就任して新聞社の方と色々お話をして見たかつたのであるが、就任早々多忙でお話をする機會がなかつた、今日は御多忙中わざわざ來ていただき光榮と存ずると同時に一言お話したい、それはこの度省政府が民意により成立することになつて今後は全省民のため福利增進をはからねばならぬことを痛感してゐる、各國との國交に關しては最も和平的態度で國交を篤くし感情の融和につとめたい考へである、今日來られた新聞社の方々は何れも大きな新聞社で平日より敬服してゐる次第である、これまで支那側の各官廳はあまり新聞社の方と聯絡をとつてゐなかつたため紙上に報ぜられたことは事實と內容と異つてゐる點が多かつた、今後はこれらの方々と機會ある每にお話を聞き聯絡し公正なる指導をお願ひする次第である

なほ十八日擧行される筈であつた省政府の祝賀式は政府首腦者の顏ぶれ揃はぬため二十一日に延期された【奉天電話】

首腦者任命

執務時間を定め實行

臧奉天省長は十八日左の如く正式に各機關首腦者を任命發表した

財政廳長　趙鵬第
實業廳長　梁玉書
參　　議　穆源植
第四科長　祁靖令

なほ省廳の執務時間を午前十時より午後二時、一般來客會見時間を午後二時半より午後四時と定め十八日より實行を始めた【奉天電話】

趙市長は留任

奉天市政公所は十八日省令を以て奉天市政公署と改稱趙欣伯博士は引續き市長留任の旨發表した【奉天電話】

臧氏就任佈告

奉天省政府は十八日奉天省城及び各縣要所に臧式毅氏が民意により正式に省長就任の旨左の通り佈告をなした

奉天省政府は既に成立し臧式毅氏紳商の公各會より奉天省長に公推され十六日就任せり右布告す【奉天電話】

各方面に挨拶

臧式毅省長は十八日午後日本首め英、米、佛、獨各國總領事を歷訪就任挨拶をなすと共に來る二十一日午前十一時執行の省政府成立祝

賀式には正式に招待狀を發すべきもあらかじめ之れが挨拶をなした

對米債務徵收猶豫

米政府で決定

【ワシントン十七日發】アメリカ政府は本月十五日ヨーロッパ各國の對米債務が支拂期限に達するため債務國の要求有る場合は徵收を猶豫することに決定したが、右に關聯しモルガン商會代表は下院經濟委員會において

ヨーロッパの何の債務國もまだ十五日に期限の債務支拂ひのため金を預け入れてゐない

と述べたが、イギリス目下の財政狀態に鑑みモルガン商會がイギリス政府の依賴に應じて支拂のための金を借すや否やは明言を避けた

國家主義派擡頭

最近上海南京で活動

上海來電によれば最近上海、南京で國家主義派の擡頭目覺ましきものあり、そのモットーは各地の黨部を破壞・解散せしめるにあり、これがため救國大同盟會を組織してゐると【奉天電話】

官有財產調查委員會開催

關東廳官有財產調查委員會は十八日午前十時から第一應接室に於て開會、大連民政署管內における土地賣却九件、千二百八坪並に同貸付十七件、九千六百八十二坪其他普蘭店管內に於ける賣却一件、其他金州管內の交換一件等につき審議したが、何れも原案通り許可することに決定した、なほ年內の委員會はこれで終りである

朝鮮各私鐵の買收は必要

大村鐵道局長語る

【京城特電十八日發】朝鮮鐵道局では交通體系の整備と私鐵の經營並に補助法に關し打開策を種々講究中であるが、私鐵買收費六千萬圓を七年度以降三ケ年繼續事業として計上し大藏省との交渉を重ねつゝありて、新內閣の積極的政策により或ひは實現するものと見られてゐるが右につき大村鐵道局長は語る

朝鮮における鐵道が國策の樞要地位を占めてゐて、私鐵は國鐵の不備を補ひ國は私鐵の買收を爲すべき使命を持つてゐる、私鐵從來の業績及び補助金から見て買收は刻下の急務である、その總投資額は八千八百萬圓に達して居れば全部の買收は不可であるが三分の二位の買收は止むを得ない、又一時に買收することは公債發行上困難であれば三年間に分つて補助期限の滿了期の近い線或は國鐵に併行接近線から順次買收の必要がある、買收による公債は五分で發行、六分の利廻りとみてもそれだけ國家の利益となる譯である今後或は公債が七分程度に廻り私鐵買收の價値が幾分減少する立場に至るやも計り難いが何れにしても私鐵の買收は必要である

漢口の總商會反日會脫退

今後自由行動をとる

【漢口十八日發】漢口總商會は反日會に對し昨日脫會を通告し今後自由行動を執ることゝなつた

排日ポスター寫眞帖

來る二十五日本社から發行

「世界の文明進步は宣傳なり」とのスローガンを金科玉條とした國民黨の排外工作は遂に打倒日本となり排日、侮日となり滿洲事變を產み、本社は其等排日のポスター、傳單、書籍、雜誌の類を蒐集し展覽會を開催したところ各方面から是非廣く一般に知らしめるやう工夫して欲しいとの希望があり今回時局排日ポスター寫眞帖として本月廿五日から發行することに致しました、內容は四六倍、九十六頁に百八十餘種のポスタービラ書籍等の寫眞を優秀なる本社のオフセットで印刷にしたもので日本がいかに今日まで隱忍して來たかいかに日本は侮蔑を受けて來たかが判り時局記念として又支那研究の資料として江湖の參考となることを確信します愛讀者に限り定價金三十五錢です

滿洲日報社

秋木莊驛に兵匪襲來驛長を射殺し驛占領

支那人驛手殉職し警官負傷

守備隊出動し追擊

十八日午後八時半約四百名よりなる兵匪安奉線秋木莊驛に襲來し驛長柳田佐市氏及び支那人驛手一名を射殺し警官に負傷せしめ驛を占領した急報に接した鷄冠山、連山關の兩守備隊急行したが兵匪は午後十時頃喇叭を吹奏し東北方に向け逃亡し我軍はこれを追擊中であるが右は徐文海部下の正規兵で電線を切斷してゐる【奉天電話】

第一線に立つ滿鐵社員（11）

今後展開する特產爭奪戰

十一日ハルビンにて　五百旗頭佐一

九日チチハルに入り、十一日足を轉じてハルビンを訪ふ、この間チチハルで國際の入江氏には時間の都合で會ふことが出來なかつたが、偶然の機會からチチハル驛館主任大貫與十氏に短時間ながら話を聞くことが出來、更にハルビンで國際の前田重雄氏に會つて一層この地方の動きについて色々な敎示を與へられた。

◇

齊克線、中東南部線共特產の出廻りを見始めるのは十一月末から十二月初めにかけてであるため今のところ時局から受けた影響は洮南、鄭家屯に比すれば非常に少い

從つてまた馬占山部下の手によつて行はれた齊克線鐵橋の破壞も直接經濟的には大した被害も與へなかつたが、十二、一の兩月に一年の出廻りの約七割を擁ふ齊克、中東西部兩線にとつては今後の時局の推移は相當重要な問題であらねばならぬ、勿論現在においては馬占山軍の不安定等から馬賊が相當に活躍し先日も滿溝において大掠奪を行ひ目下のところ西部線における持込も至つて閑散であり、齊克線また同樣の狀態で前年今ころの泰安鎭には約二千貨車の滯貨をみてゐるが、拜泉よりの出廻り品について昨年來中東安達驛と猛烈な競爭をつゞけてゐるのであるが而してこの齊克線の强敵中東西部線に搬込まれる特產物は年約百萬トンに上つてゐるが、然しこれ等は總て時局の一時的現象として當然のことであり時局の安定と共に更により鞏固な、より好い新政權の確立を見れば兩方面の農民達に倍した好況をもたらすことは必然のことでこの點に關して同地方の特產商は新政權の成立に非常な期待を持つてゐる。

◇

齊克線が泰安鎭まで開通し貨物の輸送を開始したのは昨年三月からであつたが前年度における齊克線出廻り特產物は克山、拜泉を中心として約一萬二千車、即ち約三十六萬噸であつた、克山における特產物はその全部を泰安鎭に吸收されるが拜泉を中心とした爭奪

を擁ふべきことはエキスポートフレーブが同線搬込で買込む大豆の殆ど總てはこれをシベリア經由の陸送によつて歐洲に運んでゐる事實で何れにしても西部線安達に持込まれた特產物で今春來南下したものは一噸もなく從つて齊克線を經て滿鐵に廻る貨物と、西部線に廻る貨物の爭奪戰を中心に開かれる滿鐵、中東兩鐵道の經濟戰こそ最も華々しいものでなければならぬ、然らば本年の出廻り最盛期においてこの拜泉を中心とした爭奪戰は何れの勝利に歸するであらうか、この點に關して其消息通は語つたのであつた「結局それは雙方の政策如何できまるんだ」なほこの方面における取引は總て哈大洋によつて行はれてゐるため例の黑龍江省官銀號閉鎖は大した影響は與へてならぬやうだ。

◇

ハルビンの油房は相當活躍をつゞけてゐる最近一日の製產高は五萬枚であるが各特產商共大洋銀の安い廿六七圓臺に買付け手當は三十五圓臺にまでなつて行つた、ため內實は相當に苦んでゐるやうだ東部線一面坡方面はハルビンに比し豆價が一布度四五錢の安値を唱へる奇現象を呈してゐるため最近の東[illegible]

時局後援會々則

常務委員會にて制定

在滿日本人時局後援會では十八日午後三時半から市役所會議室で常務委員會を開き統制ある組織的活動を行ふため左記會則を制定し同四時半散會した

第一章　名稱目的位置及組織

第一條　本會は在滿日本人時局後援會と稱し事務所を大連市に設置し必要に應じ支部を各地に置く

第二條　本會は日支時局に關する一切の對策を攻究し滿蒙問題の根本解決を期するを目的とす

第三條　本會は在滿日本人を以て組織す

第二章　機關及役員

第四條　本會に左の五部を置く

一總務部、二政治外交軍事部、三交通運輸部、四金融財政及關稅部、五商工業及農林鑛業部

第五條　本會に次の役員を置き會務を處理す

一會長　總會の推薦に依るものとし會務を總理す、二常務委員　各部の互選に依るものとし總會の業務を處理す、三實行委員　總會の選擧に依るものとし各部の會務に參與す、四會計委員　總務部常務委員の中より互選し會計事務を擔任す

第三章　會合

第六條　本會の會務遂行の爲め次の會合を開く

一會員總會（臨時）二部會（同上）三實行委員會（同上）四常務委員會（同上）

第七條　本會は必要に應じ民衆の總意を表現すべき各種の大會を主催し又は之に代表を列席せしむる事あるべし

第四章　會計

第八條　本會の會計は會計委員之れを掌理しその豫算及び決算は總會の承認を要す

第九條　本會の經費は會長の決裁に依り會計委員之を支出す

第十條　本會の收入は補助金及寄附金を以て之に充つ・但し豫算に定めざる事項に關するものは時前に實行委員會（常務委員）の承認を經て支出するものとす

第五章　雜則

第十一條　各部に屬せざる事項は總務部に於て處理す

朝鮮運送社長問題解決

【京城特電十八日發】朝鮮運送會社の社長問題は久しい以前からその人選につき紆餘曲折があつて相當同社內外各關係者の悶を惱まして居り且一般から注視されてゐたが、愈々今回竹島通運取締役の就任に決定した模樣である、何分特殊會社の使命は背景を要する事は必然で竹島氏は嘗て鐵道書記官から通運に入り取締役となり高等外交方面を主として管掌してゐた手腕家であるとし、既に各方面の諒解を得てゐるので今度は實現されるものと見られてゐる、朝運會社の業績は九月末から相當良好に向ひつゝあつて十一月の如きは前年に比し約六割餘の增加を示し收入關係において約二萬圓の純益を見、十二月は更に期待されてゐる、從

大觀小觀

民政色の知事連すげなくも巷に追ひやられて新にルンペンの仲間入り、浮草稼業の悲運を喞つ▲斯くて政變每に捲き起る官場の悲喜劇は勿論內地ばかりで濟むべくもあらず▲昨日は人の身の上今日はわが身の上、轉ては波及する植民地の人事異動か▲それは兎に角政友內閣の人事政策は例によつて無遠慮且つ露骨▲單に地方長官の異動のみならず、各省高官また早くも頻繁に更迭、民政色は到る所で盛に政友色に塗り替へ中▲「何うせ五十步、百步だ、民政は遠慮勝ちのなし崩し、政友は率直にやるまでのこと」と云へばそれまでだが▲いづれにしても首斬らるゝ者に取つては兵匪や馬賊は敢て恐るゝに足らず、恐るべきは竊ろわが政匪であり、黨匪である、といふことにならう▲「一と葉も殘さぬ梢に風强し＝邪道句子」▲下野した蔣介石と張學良がこんどは山東山西の實力派や安福系の北方軍閥と絡んで廣東廣西派の勢力下に歸した南京政府と對立せんとの說▲サアわからない、南北の對立、軍閥と文官政府との對立と云へば一應說明出來るものか何うか▲如何にテンポの速い時代でもこの形勢の轉變が事實とすれば支那といふ國は益々判らなくなる▲この判斷は頭腦のよい國聯理事會の連中にお願ひすることにしよう

江口副總裁風邪で引籠る

江口滿鐵副總裁は風邪で十七日午後より星ケ浦社宅に引籠り靜養してゐる

準備庫監理官袁金鎧氏兼任

東三省官銀號、中國、交通、邊業の四銀行共同設立に係る準備庫の監理官は事變後今日迄缺員であつたが今回省政府最高顧問袁金鎧氏が兼任することとなつた【奉天電話】

中野東拓理事

朝鮮に駐在する東拓の理事中野太三郎氏は視察と要務のため十八日午前着連、中澤大連支店長の案內で市內各方面を歷訪挨拶する所あつたが氏は一兩日當地滯在の筈

ばいかる丸船客

【門司特電十八日發】二十日大連入港豫定のばいかる丸主なる船客諸氏

關東軍囑託豫備少將岩井勘六、步兵大尉坂井豐吉、會社員中西延次、山崎義正、田山停雲

人事

▲原田猪八郎氏（原田組主）滯連中の處十九日出帆のほんこん丸にて歸東

▲辛島知己氏（大連民政署長）會議出席のため十八日赴旅即日歸任

▲江口親德氏（普蘭店民政署長）事務打合せのため同上

▲高島鏈輔氏（奉天公報副社長）十九日大連發旅客機で上京

▲吉田吉次氏（三菱油房工場長）十八日夜九時半發急行で社用を帶び奧地へ歸連は廿一日朝の筈

市況（十八日）

株式

滿鐵五品高　東京五品廿圓

東京市場の五品二十圓臺を入れて當市の五品も十三圓臺から十六圓臺まで昻騰したが引際東新安と利喰ひ押されて十四圓臺に引けた、新豆は九十錢高、東新は一圓高に寄りアト高値は三圓五十錢高の五圓臺をみせたが引際一圓臺に呆けた滿鐵は六十錢高の三十圓十錢へ新高値に止めた

特產

依然銀高で大豆續落

後場の定期は銀價に伴れて軟調を辿り大豆は續落を示した

錢鈔

時局を案じ當市昻騰

上海標金は强保合を入れたるも錦州方面の形勢を案じて當市昻騰す

商品

麻袋弱保合　綿糸軟弱

綿糸　大阪三品大引は前場寄に比し當限三圓捫み安中先一二圓安を入れ當市は利喰物で小商內があつた

市場電報

神戶特產　大阪株式　大阪綿糸　橫濱生糸　神戶期米　東京期米　大阪期米

お正月のお化粧
ふだんの手入れが肝腎
それでは何うすればよいか ご注意を二つ三つ

▼…あと 十日あまりでお正月になります、お正月にはどなたも一般に盛裝に厚化粧を遊ばす機會が多うございますが、普段のお肌の手入が出來て居りませんでは到底立派な御化粧がいたしませんで日常普段の御顔の御手入なり御化粧なりを見聞いたしまして氣がつきました點を二三申上げます。近頃は一般に水白粉をお使ひになる方が多くなりましたが、水白粉は長くお使ひになつてゐるうちにはすつかり水分がなくなつて底の方が練白粉のやうに濃くなります、すると大がいの方は又これに水を入れて瓶を打振つてお使ひになるやうですがお化粧から申しますとこれは ▼…禁物 で、寧ろ薄めないでそのまゝ襟におつかひになつて頂きたいのです、元來水白粉の中の水分は決してたゞの水ではなく有効な化粧水でとかしてありまして、中でも脂肪を除くためのアルコール分などは最も早く蒸發してしまひますから水でうすめたのではさても完全な效果はありません

ある方々を見ますと「私はこの練白粉が一瓶あると一年も二年も使ひますよ」と誇らしさうにおつしやる方もありますが、私から申せばこれは化粧を語る ▼…資格 のない方で半年も一年も經つてポロ〱に乾いた練白粉を水溶きしてお用ひになるのでは到底白粉ののりのよからう筈もなく、あのザラ〱した白粉で撫でまはされたら肌もいたむに極つてゐます、ですからあまり白粉をお用ひにならぬ方はなるべく量の少い小瓶をお求めになるやう、經濟だからといつて二年も三年もあるやうな大きな瓶をお求めになるのは却て不經濟でございます、白粉だけでなく石鹸も ▼…最初 のうちは大へん肌によいのですが長く空氣に曝されるうちにはいろ〱な化學的變化を生じてお肌を荒すことがありますから、最初半分か三分の一位お使ひになつたらあとは身體や手足を洗ふのにお廻しになつた方がよろしうございます、タオルにしましても度々使用しますと次第に布の質が硬くなりますから、質のわるい薄い十五錢かそこらの安タオルにして時々新らしいのと取かへて頂きたいものです、御入浴は大變結構ですが

▼…お顔 をタオルでゴシゴシ擦つたりなすつてはいけません それから毎朝の洗顔ですが、特別によごれてゐない限り美容上からは朝の洗顔を御とめしたいと思ひます、顔をあまり洗ひすぎますと却て脂肪の性があらくなつて肌をあらします、殊に冬あのつめたい水で顔を洗ひますとどうしても小皺がふえてきたなくなります、不精のやうでも口だけすゝいで油性クリームを顔中に塗りよごれを脱脂綿で拭きとり、更にあとを蒸タオルで丁寧にふきますと決して氣持のわるい事はなく皮膚が軟かに

▼…彈力 があつて所謂餅肌になります、で日常の御化粧としてはやゝ濃目の方は水白粉を何べんも何べんも塗つて仕上をなさいますとなかく化粧崩れがいたしません、職業婦人や年増の方の化粧として中性クリーム（バニシング、クリーム）に粉白粉を少しまぜておつかひになるのもごく簡單で長もちのするよい方法です。（徳永千代子さんの話）

子供に喜ばれる マシマロケーキ
斯うして拵へます

滿洲軍の兵力増大して飽くまで皇軍に抵抗の態度を示して風雲嶮しく老も幼きも擧げて國難に殉じやうとの緊張した氣分がどこにも充ち滿ちてゐますが、しかし近づくクリスマスを前にして年に一度のメリー、メリー、クリスマスを待ちこがれてゐる幼い子供たちを落膽させたくないと心をいためてゐるママさん方もおありでせう、そのやさしいママさん方に、つゝましくさゝやかなクリスマス、イヴをお迎へになるやう、お子たちによろこばれるマシマロケーキの拵へ方を御紹介しませう

▲材料＝ゼラチン大匙一杯、卵白三個分砂糖大カップ一杯、鹽少々、ヴアニラ小匙半分、粉砂糖適宜

▲調理＝淺ひ燒皿にバターを一面に敷粉砂糖を振りかけて用意しておきます、ゼラチンを大匙二杯の水に浸し水が充分しみ込むまで浸しておきます、別に分量の砂糖に熱湯カップ三分の一ほどを加へて火にかけ、水に一二滴垂して見て軟かい球が出來るまで煮ます、前のゼラチンにヴアニラ香料を加へこれを砂糖を煮とかした中に入れてかきまぜ一二分間煮て火から下します大きな丼に卵白三個分を割り込んで泡立器で充分泡を立てゝ前にまぜ合せたもの、中にかきまぜ乍ら加へます、これを最初に用意した燒皿に三四分の厚さにあけて上に粉砂糖を一面にふりかけそのまゝ一晩置きます、固まりましたら小さい角に切つてもう一度粉砂糖にまぶして供します、マシマロを燒皿に流し込む前に胡桃の細くくだいたのや、干した無花果や乾葡萄を混ぜると又別な風味があり、切つて砂糖をつける代りにココナット又はチョコレートにまぶしてもおいしいマシマロが出來ます、又食紅や抹茶で色をつけて盛合せると大變綺麗です。この菓子はクリスマス、ケーキとして西洋の家庭でもよく用ひられます

冬の歩行には充分注意を
規則通り左側通行のこと

大連市では毎月十日を交通安全デーとして警官が交通整理を行ひ市民の交通訓練につとめ漸次效果を擧げてゐますが、これからお正月のお買物に人出が多くなり交通事故も從つて頻發するでせう、石井大連警察署長は右に關して次のやうに語りました

最近では市民も交通訓練が大分できて割合に事故も少なくなり大へん喜んでゐますが、冬になりますと降雪のため道路は氷で張りつめられ自動車も危險な場合ブレーキをかけても滑るため何の功も奏しない場合が多く又通る方でも着物を澤山着込むため身體の自由を失ひ思ふ樣な行動ができず、加へてショールなどで耳を防いでゐるため、自動車などのサイレンが聞えなかつたりして事故を起します、道路も規則通り歩道を左側通行していたゞけば事故も起らないのですが中には車道を、ひどいのになりますと四つ角の所を斜にわざ〱遠道して横切つたりするのを見ますが、まことに危險な事で、道路を横切るにしましても、できるだけ短距離の路を選んで素早く横切り、できるだけ交通事故を防ぎたいものです

菊池寛氏の半生

高師を追はれ明大を退學一高から京大へと曲折を極めた學生々活から文壇に出る迄の自叙傳『[illegible]』新年號にあり、小說以上の興味！

空箱で立派な 安樂椅子

文化住宅の多い大連では應接間にソーフアを多く備へてゐるのですこのソーフアも家具店に注文いたしますと高い費用が掛りますがこれも工夫次第では廢物を利用して立派なソーフアが出來ます、好みの大きさの空箱を四つ程とゝのへ各箱の上部を一枚取り去りますと四隅に足が殘りますからこの足を鉋で削りこの上好みの色でペンキを塗りこれを上下にひつくりかへして四つを並べ動かないやうに釘で打ちつけます、この上に同面積の寸法で、お蒲團を拵へておきます、この箱の周圍も足を一寸覗かせる程度に蒲團と同じ布で包みます、この箱の周圍の布も上部は天鵞絨か何かの安い布で被ひますと安く出來上ります、周圍が出來上りましたら上に前作つたお蒲團を乘せますと立派なソーフアーとなります、これに薄い藁蒲團を拵へその上に例の蒲團をのせますともつと心地よいソーフアとなります

アサヒノボル
中野しんいち作　河野さとし画　（十三）

㊀ドウカ ムカフギシ ノ ラマベウ ノ 一バン トシトツタ ボウサン ヲ ヨンデキテ ト イフ
㊁ボウサン ニ ヒトコト「スロコトヌサホナボッシ」ト イツテ ミヅウミ ヲ オガンデクダサイ
㊂シンセツナ タイチャンハ ラマベウ ト イハレタノデ キフニ アーンアーント ナキハジメテ
㊃キナクナツタ オウチノモノヲ サガシ ニ ラマベウ ヘ ユク コトヲ コヒニ ハナシタ

冬期の婦人服と子供服（下）
永井ツル

子供服

次に男女子供服は既に洋服に改善されて居りますので、改善された洋服が何れだけ價値附けられて居るかと云ふことを、保護者教育者或は子供自身の立場から

イ、子供の發育及び自由活動に適するか
ロ、衛生的及經濟的であるか
ハ、服裝の持つ教育的價値があるか

以上の見地から考へます時、遺憾ながら洋服の價値を裏切る多くの點を見出すのであります。

イ、子供の發育の爲には子供に合つた服を着せることが第一要件であります。小さくなつて窮屈な洋服、大き過ぎて中で體が踊る樣な洋服が共に子供の精神に及ぼす影響を無視して、只經濟のみを氣にする母親自身の立場から不知不識に子供の發育を害して居るのは歎かはしいことであります。窮屈な着物の害は既に世人に注意されて居ますが大き過ぎる害の方は考へられて居ない樣であります。之は小さ過ぎるのと同じ程度の害を子供の精神に及ぼし、常に袖か、丈かと子供の意識を支配して自由な活動を害する事が少なくないのであります

ロ、衛生的經濟的方面にも考へ方見方選び方に洋服の價値を無視する點があると思ひます。夏服とは高價で然かも一二ケ年で小さくなるから洋服は不經濟だと云ふ人がありますが日本の母親は左程でもありませんが冬服などは子供を飾り過ぎるのではありますまいか。店頭に表現される婦人の好みは多くの色を取り合せた美服で（最近大部落付いた色になりましたが）染色とか色の配合等を考慮しないのと多いのに驚かされます。生地や色を心配して破れる迄も洗濯を扣へる爲に清潔といふ點からは全然無價値です。高價な美しい人目を引く洋服を着せて子供の自由活動を壓迫しながら、美しいとか可愛らしいとかの讃美を浴せることを此の上なき誇りと考へる日本の母親—前掛代り上張り代りの安價な生地で子供に似合つた小ざつぱりとした手製の服を幾枚も用意し、良く洗濯とアイロンのかゝつた服を着せることを誇りとする歐米の母親—此の兩者の大きな相違を認めると同時に、後者こそ洋服を最もよく價値づけて居ると云ひ得られはしますまいか

ハ、服裝の持つ教育的價値も、小學校乃至は中等學校の服裝制定に依つて最も大切な時代に大部分阻害されて居ると云ひ得ます 婦人の洋服が最も時代に適した服裝として廣く研究され實行されて居るにも拘はらず其の發達の遲々たる原因も、比の制服制度に尠からず影響されて居ると思ひます。婦人の洋服と同じ樣に子供服にも個性を生かす爲に子供自ら質、色、型等の選擇をなす必要があります。

酷寒の

滿洲の學生の戶外運動着としては私は男女共に冬着の上に下はニッカース式のパンツ厚毛糸編の靴下を用ひ、上は半コートにキヤツプ、必要に應じては襟卷も使用させ、地質等は各自生活範圍に於て自由選定さし必ずしも一定する必要はないと思ひます。それから酷寒に對する身體の鍛錬の外に長時間の戶外運動に向つての保溫の準備も爲さるべきでありませう ニッカースに半コートと云へば、其の外觀はハイカラとか生意氣だとかの慣習的な異議がありませうが、要は只如何に輕快に樂しく戶外生活を爲さしめるかにあると思ひます。餘りに學生の服裝統一に重きを置き過ぎて、經濟的衛生的或は教育的方面の損失が見逃されつゝあることは誠に惜い事と思ひます。古い壁を破つて新しい方向に進む事は難事でありますが、進まなければ勿論何等の進歩も期待も出來ません。故に子供を持たれたる母親も教育者も服裝改善に就いてもつと深い考察と研究を重ねて欲しいと希望して止まないのであります。

新年懸賞寫眞募集

課題 『新春』 滿蒙を背景にしたもの
印書 入切以上（臺紙に貼附せず裏面に畫題住所姓名撮影場所を明記）
締切 十二月二十日限り
宛名 本社編輯局（應募印畫は返却せず）
賞金 一等一名五拾圓、二等一名二十圓、三等六名五圓
滿洲日報社

滿日各地版

戰歿五勇士の葬儀 涙と共に執行さる
沿線各隊の代表者も出席して 英靈を永久に送る

奥村少尉　嘉納曹長　小林伍長　齋藤伍長　安藤上等兵

【鐵嶺】馬家塞の激戰に陣歿せる五勇士の遺骸は既報の如く十六日鐵嶺守備隊將校集會所に安置せられ同夜凱旋せる上田中隊長以下將校戰友市中官民有力者多數列席して涙の通夜を營んだが十七日は午前十時より納棺式を行ふ事となり愈々最後の別れを惜む事となつて奥村少尉夫人を嘉納曹長近親者（夫人は妊娠中なるを以て缺席）將校戰友等の手によつて鄭ろに納棺された何れも新しい軍服に卷ゲートル軍靴といふ軍裝で面部の白布を取れば在りし日の面影其まゝ上田中隊長も愛しの部下を喪つた苦惱に堪へずしてか兩眼に一滴二滴玉の雫並居る者も愁然と面を伏せた斯くして納棺を終り黑布に覆はれた五つの棺は正面に安置せられ香煙室内に流れ燈火搖ぎ各宗僧侶の讀經も高調を帶びて涙新たなるものがあつた、午後二時より軍隊内部の告別式があり沿線各隊代表者出席しめやかに營まれた、式場には關東軍司令官を始め守備隊司令官各方面から供へられた花環五十餘對に達した、午後三時營門を出て火葬場に運ばれ火葬に附した

涙を集める奥村少尉の遺兒
涙多き夫人の胸中

【鐵嶺】馬家塞の戰鬪に參加し壯烈なる戰死を遂げた五勇士のうち小林伍長、齋藤伍長、安藤上等兵は何れも獨身であるが奥村少尉は昨年五月結婚せる夫人ズヱ子（二三）さんとの間に本年六月出生の一子孝成さんがある今回の悲報に接した夫人は流石に武人の家庭に生ひ立つたる雄々しさを失はず自若として一糸亂れず誠に軍人の妻らしい態度であつた、孝成さんは今が可愛盛り近親の人達も夫人の雄々しさを見るにつけ孝成さんの愛らしさにつけ少尉の死を悼み同情の涙を絞つてゐる家庭を訪問すれば近親者多數が詰め切り孝成さんを愛撫し夫人を慰めてゐる、夫人の希望は主人の遺骸をたゞへ一夜でも自宅に安置し心ゆくばかりの冥福を祈りたかつたが軍人なるが故に其希望も容れられず其胸中嘸かし涙多きものがあつた事であらう

嘉納曹長の家庭
夫人は妊娠中

【鐵嶺】嘉納曹長の家庭は夫人ミキ子（二三）さんとの間に長女淑子さん（四つ）二女政子さん（二つ）との四人暮しであつたが夫人は現在妊娠し本月は分娩月であるといふ父なる人の親も知らずに生れ出る愛兒の運命に知る者も知らぬ者も同情の涙を注いでゐる、二人の愛孃も父の死を知つてか知らずか平素と變りもなく無邪氣に興じ愉快に笑ひお正月の來るを樂しみ同僚の夫人連を泣かせてゐる夫人は妊娠而も臨月の事とて絶對安靜し家庭には夫人の妹さんと叔父さんが來てゐるが夫人は武人の妻として常に今日ある事を覺悟してゐたるらしく平素と變りなく夫の冥福を祈つてゐる、戰死せる曹長は昭和四年四月着任したが資性温厚頭腦明晰憲兵隊内部の事務は一切引受けてゐた關係上氏を喪つた分遣隊は手足を失つたやうなもので事務の上に支障が少くない、氏は昨年末以來禿頭病に罹り一時頗りに苦にしてゐたが最近は概癒れして成行に委せてゐた爲め頗る珍妙な頭となつてゐたが今日それも思ひ出の種として涙を誘つてゐる

守備隊告別式

【鐵嶺】鐵嶺守備隊では戰歿五勇士に對し十七日軍隊内部のみの告別式を執行したが近く期日を定めて公式の葬儀を執行すると

奥村少尉略歴

【鐵嶺】大正八年十二月徴兵として歩兵第三聯隊第十二中隊に入營▲同九年十一月二十二日一等卒、同日上等兵▲同十年十二月伍長勤務▲同年十二月任伍長▲同十一年十二月二中隊附、▲同十一年十二月任軍曹▲昭和二年十一月陸密第四六四號に依り獨立守備歩兵第一大隊に派遣を命ぜられ同月三十日着任▲昭和三年五月十九日より十月三十一日まで支那事變に關する勤務に從事す▲昭和四年三月任曹長第二中隊附、同五年八月獨立守備歩兵第五大隊附を命ぜらる▲同五年十月二十日特務曹長、同六年十二月十五日任歩兵少尉

嘉納曹長略歴

【鐵嶺】大正六年徴兵鹿兒島に入營▲同九年六月憲兵上等兵▲同十二年十二月旅順憲兵分隊附▲同十五年四月任憲兵伍長▲昭和三年十月任軍曹▲同四年四月長春より鐵嶺に轉任▲同六年十二月十五日任憲兵曹長

今度の事は何も聞いて下さるな
上田中隊長苦衷を語る

【鐵嶺】十六日夜在鐵市民の熱狂的な歡迎を受けて凱旋した鐵嶺守備第三中隊に上田中隊長を訪へば納棺式直後の哀愁に滿ちて面持で左の如く語る

今度の事は何にも聞いて頂きたくない語るに苦しい私の胸中を察して頂きたい、今回の戰鬪が多數の犧牲者を出したといふ事は上陛下に對し奉るは勿論熱誠な後援を頂いてゐた市民各位や遺族に對して誠に申譯がない、馬家塞の現場は小さな丘が起伏してゐて誠に攻撃の不利なところ、從つて今度は徹頭徹尾苦戰であつた、馬家塞部落に多數の匪賊が在る事を知り丘を占領して高きに據り部落を攻撃が有利と見て部落前方の丘を攻撃した譯だが敵は丘上より釣瓶討ちに猛射を浴せ而も積雪深く地上は凍結し斜面を登る我軍の苦戰は言葉に盡せぬ、我隊は極めて勇敢に戰つて斃れた殊に戰傷者は私の前に運ばれて來ても尚まだ戰へる〳〵と絶叫しつゝ白雪を血潮に染めて後送されるを殘念がりこれを見る私の胸は將に斷腸の思ひがした……と後を語らず暗然たるもので中隊長の胸中又察するに餘りあるものがあつた

負傷者の氏名

【鐵嶺】馬家塞の激戰に負傷せる八勇士は目下衞戍病院に收容手當中であるが重傷二名あり彈丸を撃ち拔かれ顏面右半部敵彈の爲めに削られて鮮血に塗れ正視するに忍びざる重傷ではあるが何れも生命に別條なき模樣であるは何より喜ばしい事である負傷勇士の原籍氏名左の如し

宮城縣伊具郡大内村伊平大久保 上等兵 加藤圭太郎
宮城縣桃生郡重來村大曲字下臺 一等兵 相澤吾右衞門
宮城縣伊具郡櫻村字佐倉 一等兵 小野寺誠
秋田縣雄勝郡幡野村八幡字前田 一等兵 小野崎武治
宮城縣名取郡愛島村笠島 二等兵 松浦茂平
新潟縣蒲原郡浦村字内詔 二等兵 長谷川由太郎
（以上鐵嶺守備第三中隊）
山形縣置賜郡屋代村字竹森 二等兵 二階堂綱男
秋田縣雄勝郡駒形村字八面 四平街一中隊一等兵 山田富助

尚右の外憲兵分遣隊より嘉納曹長に隨行した馬丁孫振玉も足部に貫通銃創を負ひ收容されてゐる

事變以後奉天の人口、物價の動き
人口は甚だしく減少

【奉天】時局以來政治、經濟的に直接間接多大の影響を及ぼしてゐるがこの時局で最も動搖してゐる沿線その他内地よりの奉天署管内奉天轉入轉出、小賣物價につき調べて見ると左の如き狀態で事變突發の九月中は八月末人口四萬五千七百三十五人に對し六百八十五人減じ十月は九月末人口四萬五千六百五十人に對し實に千二百四十四人減少十一月は一段落して十月末の四萬三千八百六人に對し十人增加を示し又小賣物價は事件直後昂騰する模樣があつたがその筋の取締り宜しきを得て上騰の氣配も下押となり現在では完全に維持されてゐる尚九、十、十一月における人口、小賣物價の移動、騰落の狀況は左の如くである

人口

九月中は日本人九十九人、鮮人廿六人、支那人五百廿人、外人二十人減少し十月は更に轉出者增し日本人九十五人、鮮人九十二人、支人九百九十八人、外人四十一人となり十一月は支人三百卅一人、外人九人減少に對し日本人二百四十一人、鮮人百十四人增加してゐる右三ケ月共支那人は減少あるばかりで十一月日本人の增加したのは内地その他より轉入多く、鮮人は主として奥地その他より避難民である

小賣物價（平均値段）

品目	九月	十月	十一月
白米（滿洲）一叺	一四八〇	一四七〇	一四五〇
麥粉百匁	〇四五	〇四四	〇四五
牛肉ロース百匁	二九〇	三〇〇	三〇〇
豚肉上百匁	三二九	三三三	三二一
鷄肉百匁	五二一	五三三	四八〇
鷄卵十個	一三〇	一三六	一六五
鹽鮭百匁	二〇〇	一九四	一七五
椎茸十匁	一九〇	一八五	一八一
白鶴一升	七九〇	七八三	七七〇
キリンビール一本	三三三	三〇〇	三〇〇
牛乳一合	〇七〇	〇七〇	〇七〇
撫順塊炭一噸	一〇四五	一〇四五	一〇四五
石油一罐	二八〇	二七〇	二六〇
金巾白三巾上一尺	一〇七	一〇七	〇九七
モスリン白一號一尺	二三四	二六〇	二三五
毛糸一封（内地もの）	一九六六	一九一〇	一八四二
眞綿十匁	三三〇	四〇〇	四四〇
半紙一帖	〇六八	〇七五	〇八〇
燐寸羽鹿一袋	〇五〇	〇四六	〇四六

旅順商工協會第一回協議會

【旅順】旅順商工協會第一回評議員會は十六日午後一時から民政署食堂に於て開催出席者十六名委任狀八名、缺員一名にて會長就任承諾の挨拶あり直に副會長の選擧を行ひたるが協議の結果詮衡委員を以て決定することゝなり右詮衡委員は四名とし連記無記名投票の結果矢幡謙治（十八票）齋藤辛次郎（十四票）村上信二（十二票）古澤董治、島村彌太郎、西野菊次郎（各十一票）となり年長の故を以て西野氏を擧げ矢幡齋藤村上西野の四氏に於て協議の結果輸入組合理事宮田仁吉氏を擧げ滿場拍手にて贊同夫れより議事日程に入り

一、本協會設立を各方面に通達の件
一、商工人名錄作製の件
一、旅順商工實情調査の件
一、商工青年團設立の件
一、商工に關する座談會及講演會開催の件
一、華商公議會と連絡を計る件
一、管内各村落との商工取引を促進する件
一、會費徴收方法に關する件
一、顧問推薦の件（關東廳殖產課長、旅順市長）

等はいづれも積極的に實施する事に決定し、以上の外全滿商工會議所聯合會加入の件は尚調査の上可否を決定する事又臨時會報を發行し、事務員任用の件は當分署員を以て充つる事と決定したが協議事項中最も主要なる

一、購買會に對する件はいづれも意見を戰はした結果不取敢日常必需品のみの品種限定を嘆願する事に一致し
一、旅順に於ける大連其他商人の出張販賣の對策に對しては最も各自の意見が交換された結果先づ第一には經營の改善、顧客の購買心理を了解せしむる一方出張販賣者の場屋の點に就ては切に遠慮を希望する事も意見の一致を見同四時半散會した

そんな運動など
……と、忘年會等中止提議を 斷つた旅順市役所の惱み

【旅順】關東廳の整理沙汰や軍司令部以下在旅部隊の戰線出動にすつかり凋落しきつてゐる今年の旅順の歳末は、もう關東廳のお役人を初め大體ボーナスも渡つてしまつたのに時局柄とは云へまだ忘年會の聲も聞かぬし、かと云つて正月の買物に出る人足もなく全くさびれ切つて今年ばかりは一向歳末らしい氣分もない、と料理屋や市内の商家何れもこぼしてゐる折も折關東廳や民政署では市役所を中心に時局柄だし此際忘年會や年末年始の贈答品も一切之を中止したらと提議した、そこで例年ならオイソレと直に贊成した市役所もあんまりの寂れ方にこの上そんな運動でもしやうものなら旅順の商人いよ〳〵上つたりと云ふので折角お上からの御相談だが體よく斷つたとは笑はれぬ旅順歳末のナンセンスである

消費組合撤廢請願書提出

【奉天】消費組合の撤廢を叫んで起つた奉天商店協會ではその撤廢に關する請願書を携へ代表者がヤマトホテルに内田總裁を訪れ之を手交した後宇佐美奉天事務所長と會見し詳細に亙りその理由を說明して引揚げた事は既報したが不況に喘ぐ在奉商店の救濟策は消費組合の撤廢を措いては他になしとし今後共運動を繼續することに決定したと尚その請願書は左の如し

請願書

在滿邦商は時運の進展に鑑み益々努力し互助繁榮を企圖致居候然るに滿鐵社員消費組合は只々在滿邦商を重壓するのみにして既往に於て再三、再四之が撤廢を希望したるも目的を達し得ず此の現狀にて推移せんか來るべき滿蒙經濟發展には遺憾ながら不覺を來すべく我國運上誠にこの上もなき遺憾を感じ申候我等在滿邦商の擧つて消費組合の存在を否認する根據は徒に眼前の小利を趁ふに非らずして我滿蒙植民の特異性に立脚し國家政策の見地より絶對的相反馳するものと確信仕候即ち協會は臨時總會の決議文を作成し總裁の御裁斷を仰ぐ次第に御座候

大石橋でも撤廢運動

【大石橋】當地商店協會に於ては去る十四日午後六時より協會長山口氏宅に於て滿鐵の消費組合撤廢に關し協議會を開催した結果撤廢請願文を起草關東軍司令官宛請願書を提出した

伊通懷德兩縣の馬賊團歸順
要所の警備に配置

【公主嶺】公主嶺を中心として伊通懷德兩縣の各部落を橫行暴威を逞しうし放火掠奪殘虐を極めた惡鬼の如き頭目全勝、天恩、鎮山紅、雙龍、双盛等の率ゆる馬賊團は討伐隊の追擊をうけ各地に移動頑強に抵抗南方戰雲に乘じ大活躍を演ずべく兵匪と合同待機中であつたが賊團は討伐隊の包圍壓迫に彼等は逐日不利となり寒氣と飢餓に堪へず去る十三日懷德縣自治執行委員會に歸順を申出でた頭目卅名は長銃三百挺とモーゼル拳銃百五十挺を有する大馬賊團なので執行委員會は現今の狀勢に鑑み協議の結果歸順後における諸般の交渉を遂げ公主嶺支部町の同會に於てこれを許容し歸順式を擧行正規兵として要所の警備に配置することになり本秋以來特產物の出廻りを阻害し當市の經濟界に少からず打擊を與へつゝありし伊通懷德兩縣の街道における危險は除去され特產その他の物資も近く順調に搬出が見られるのであらうとのことである、しかし目下當地の西方百二十支里懷德八屋方面に移動暴威を擅ひ殘虐の限りを盡してゐる前記賊團と分離せる伊通縣東北陸軍歩兵第八連の逃亡兵三百餘名の殲滅を見るまでは不安を一掃したとは云はれぬとのことである

馭車を倒し馬車を掠奪

【長春】十六日午後八時四十分頃長春東三條郵便所前附近に於て一支那人が客馬車（五八號馭車張玉山）を呼び城内へ行くんだと命じたゝめ馭車夫は東二條通から領事館前に出て右折して中通りを城内に差かゝる暗がりの地點に差かゝるや二名の怪漢が現はれ車上の支那人と三名で馭車夫を棍棒で毆り飛ばし馭車夫の昏倒するのを見すました三名は馬車を御し城内へ逃走したが多分匪賊が馬を掠奪のため演じた行爲であらうと見られてゐる

怪支那人逮捕

【鞍山】鞍山憲兵分遣隊では數日前より立山方面に潜入し立山西方前托部落にて不審なる支那人三名を發見し引續き行動監視中の所馬賊が農民に變裝して居るらしき形跡あり、吉村伍長は彼等の潜伏せる民家を確めたので守備隊に應援を乞ひ、村瀨、大井兩上等兵を派遣し守備隊山ノ内中尉以下二十名と共に十七日午前五時貨物列車にて立山に向ひ、同六時半現場に到着、豫て目星をつけて居た民家二戸を守備隊兵士が包圍し兩上等兵が屋内に侵入し踏込み襲ひ難無く逮捕、所持の長銃一挺を押收し同十一時引揚げた、右三名は高維儉（七）關級林（三）關維一（二）と云ひ引續き憲兵分隊内に留置取調中である

撫順附屬地に八人組匪賊

【撫順】十七日前十二時附屬地楡林堡に長銃所持の八人組匪賊現れ同部落張某方の長子（二）を人質として拉去し急報に接した撫順署では即刻杉町警務主任は倉田司法主任繩田保安主任坂本警部補以下三十餘名を引率し機關銃三門と各長銃にて武裝現場に急行老虎窟楡林堡の三部落より包圍交戰の末内四名を逮捕した殘り四名は日官憲の討伐を感づき早くも渾河を渡り前甸子部落に逃走したので警察隊の主力は之れを追跡一部は同午後二時頃歸署した、管外の匪賊騷ぎは珍しくもないが附屬地内の事件のこととて撫順署でも根こそぎ打盡の方針らしい

長春の特產輸送旺盛を極む
前年よりも五萬噸增

【長春】十一月末までに於ける長春驛新穀發送數量は六萬八千四百六十四噸で前年同期の二萬四十四噸に比し四萬八千四百二十噸の激增振りである、之は勿論長春驛自發送のみの數量で東支線及吉長線の連絡南行を加算すれば異數の增加であるこれは氣候の關係上取入期が早かつたこと、時局のため不安及農村疲弊とで輸送賣込みを急ぎそのまゝ附屬地に避難したこと特產商が資金難からその資金回轉を急ぎだることゝ等がその最大原因をなしてゐるが今後尚各地方は兵匪は益々跋扈する恐れあるため特產輸送は依然として旺盛を極めつゝあるの狀態である

沿線往來

▲森守備隊司令官 十六日來奉
▲内田滿鐵總裁 十七日夜歸連
▲大谷旅順要塞司令官 十七日朝來奉
▲增田金州民政署長 事務打合せの爲十七日旅順往復
▲倉賀野關東廳種馬所長 所要の爲十七日金州往復
▲細矢榊吉氏（遼陽熊軍分會長）十七日奉天往復
▲小野寺鞍山地方事務所長 十七日來遼各所歷訪新任挨拶

長春

祈願祭を執行

長春時局後援會では十七日午後一時から地方事務所會議室に於て國威宣揚在滿將士武運長久祈願祭執行の件について協議したが、時日は今十九日午前十時より長春神社に於て左の次第で擧式することに決定した

開扉、獻饌、祝詞奏上、玉串奉奠、撤饌、閉扉、天皇陛下萬歲三唱、在滿將士萬歲三唱

商議役員選擧

長春商工會議所では十八日午後三時半よりヤマトホテルに於て會頭及び副會頭の役員選擧を執行の筈であるが一時は島名福十郎氏出馬説も傳へられてゐたが長春取引所信託專務に永原岩雄氏が來任したので同氏の出馬を各方面から懇望するところあり結局全會一致で永原氏の就任を見る模樣である、尙副會頭二名中彼末德雄氏が失言問題で辭任したゝめ同氏としては絕對に望みなく、岡田小太郎氏の再任は信ぜられるも彼末氏後任の副會頭問題は一般から頗る興味を以て見られてゐる

公主嶺

年末の商店界

當市の歲末市況は例年の如く十五日より各商店は一齊に年末大賣出しを開始した店頭の裝飾意匠になる商品の陳列等に景氣を添へ千客萬來を競つてゐるが時局に緊張した各家庭とも迎春用の諸品はなるべく質素にといふ向きが多く昨今は氣迷ひ的買溢りにまばらの商內さであるが、二十日後ならでは歲末氣分に油が乘らず荷動きはそれからであらうと呉服店は他店に比しボーナスによる婦人連の春衣に相應の繁昌と見られてゐるが噂ほどではないと貸餅は昨年と大差なく注文殺出とあるが食堂其他に雨詰皿盛の注文はまだ早いが申込みは運々と押し詰つても大したことはあるまいと料亭飯館の打擊は忘年會の激減と新年宴のつけこみの如きは皆無であらうが一般を通じ不況の折から殊に時局の歲末として杞憂に囚はれたほど引締つた商內を見ず各商店とも相應の賑はひを呈するであらうと

奉天

婦人團協議會

全滿婦人團體聯合會奉天本部では廿日午前十一時から滿鐵社員俱樂部に於て左記議案につき緊急協議會を開催することになつた

一、在滿軍隊のため「兵士ホーム」を開設すること

二、鮮人同胞及中國人のため隣保事業を開設すること

三、每週金曜日全滿婦人克己デーとして制定の件

四、出席者の旅費に關する件

五、會員徽章制定の件

六、聯合會員相互の聯絡機關として會報發行の件

新年行事廢止

滿洲醫大排酒會、海望社學生聯盟支部、基督教青年會では左記事項を提唱し目的貫徹のため猛運動をなすことになつた

一、忘年會、新年宴會の廢止

二、禁酒斷行

三、年末年始の贈答廢止

四、門松、メ繩の節約

撫順

スケート場

撫順全滿一の撫順永安臺スケートリンク開きは十七日午後華々しく行はれた練習に多數を包擁し得る二重コース廣々とした中央のアイスホッケーリンク且つ夜間滑走に適するべく二百燭光の投光器を七ケ所に備へ付けた事及び場所が永安臺街の中央にあるだけその至便なる點に於ても從來のそれと斷然選を異にする、是れからは銀盤上を馳驅する勇姿を朝に夕に同リンクで見得るであらう事は撫順の大衆スポーツ振興上喜ばしい事である

安東

鮮人墓地問題

在安鮮人間に多年の懸案となつてゐた七道溝鮮人共同墓地問題は最近に至り解決の曙光を認め十六日多田地方事務所長は山田地方係長と共に現場の視察を爲す處あつたが地方事務所に於ては近日中に諸規則を作製しこれが承諾を與へる見込である

遼陽

時局委員會

遼陽時局委員會では十八日午後一時半から滿鐵社員會俱樂部に於て委員會を開き左記事項につき協議した

▲第二回收支決算報告の件▲第三回經費支出方法の件▲軍隊宿營費處理方法の件▲時局委員會業務報告の件

大石橋

守備隊の演習

當地守備隊に於ては來る二十五日午前十時より瓦房店熊岳城鞍山の各〇〇も參加せしめ練兵場より盤龍山の假設敵陣に向ひ大隊演習を擧行する本演習は普通の演習とその趣きを異にし北滿チチハル等に於ける實戰參加と同樣防寒具及新武器（重火器）を使用の計畫なれば一般市民も時局柄參考の爲め多數觀戰あらんことを希望してゐる

避難鮮人救濟

當地小學校に於ては兒童の遺失物今尙絕滅の境に至らず之れが矯正に關しては父兄と協調し兒童の所持品に對しては必ず姓名を明記する事に依り此の弊風を除去せんと努めつゝあり然れども一週間每に遺失物を蒐集するに於ては其の數僅少ならず之れが處分に萬全を盡しつゝあるも尙昨年來の遺失物ビール罎二杯もあり此の際職員會議の結果に基き鮮人窮民に之れを贈ち救濟の一端に資せんとする計畫ありなほ兒童一名宛五錢以下の金錢を其の學用品中より節約せしめつゝありとの事なるが此の節約のみにても十五、六圓の金額には上るだらうと

熊岳城

警備特別演習

白雪皚々滿天地を包む十二月十六日暮れてまだ暇なき六時三十分馬蹄の音あわたゞしく東奔西走、砲の響き附屬地の一角に起これるよと聞き耳を立てる間に東西相呼應して響く機關銃の音さながら豆をいるが如くこれに混じつて小銃絕え間なく連發さる、雪の曠夜を走る散兵の黑影、戰線は次第に迫つて市街戰となる、傳令は飛ぶ給與班、救護班、收容班の自轉車は飛んで警羅すべき各家庭の招集に忙し、銃聲砲聲又一しきり鳴りが止ますすわ事起れりと胸をとゞろかす中國人に深夜特別演習であると云ふ事が判明したのは八時近くであつた、東海林第一中隊長は今より先午後二時よりクラブに在鄕軍人義勇團員の不時招集方を分會長に命じ今夜六時卅分より九時迄の間に於て假想敵（錦州方面の敗殘正規兵六百餘名鷹家屯西海岸に上陸熊岳城を突かんとす）守備兵來襲するを以て熊岳城義勇團員之れを防備すとの假定の下に實戰同樣の段取りにて演習にかゝつたもので

警備團本部を熊岳城驛待合室に置き警備團長石原正規以下十名收容班長津島勝以下十名、救護班長山下公醫同看護婦以下十名給與班長久武兼靜以下五名此の特別班を小隊長寺田愼一統制、其他各義勇隊第一小隊第一分隊は鐵道線路ガード東側第二分隊は溫泉道路實習所第三分隊電燈會社附近より岡島農園一帶第四分隊附屬地北界煉瓦窯附近より西北第五分隊小學校方面より萬秋園一帶第六分隊本部附と云ふ配備にてかゝつた敵は遂に守備隊北西方より附屬地に迫り練兵場電燈會社附近に於て激戰數時雪明かりにまろぶ軍服姿雪の暗夜の砲火等暫しは實戰其の儘の物凄さであつたが守備隊兵士も義勇團員も此の嚴寒にもめげず實に勇壯な演習を終つた

瓦房店

慰問金品寄贈

滿洲事變以來軍隊及警察官に對し慰問の意味を以て金品を寄贈せらる、向多かりしが瓦房店警察署に於て取扱ひたる分左記の通りである

▲金十圓宛瓦房店常盤町內會及平康里事務所より瓦房店警察署▲菓子一箱佛敎婦人會より同警察署▲金卅圓瓦房店工友會より關東廳警察官へ▲金七十圓工友會より關東軍へ▲林楓一舘廣瀨駒男氏より瓦房店警察署へ▲金一圓廣島縣御調郡山中村元熊岳城千葉進方店員高丸政市氏より瓦房店警察署へ▲防寒靴下熊岳城婦人會より瓦房店警察署へ▲林檎一籠許家屯驛佐藤善作氏より瓦房店警察署へ▲金廿圓熊岳城石原正規氏より關東軍へ▲金十圓同氏より關東廳警察官へ▲金十圓瓦房店觀音講員より關東軍へ▲金二十圓同觀音講より關東軍へ

少年諸君萬歲

▲軍艦三笠の大模型▲北極探險大双六▲熊狂野球盤▲日本一大畫報▲少年美談讀本▲漫畫愉快文庫の六大附錄つきで少年俱樂部新年號はタツタ六十錢、早く〳〵御覽！

金州

荒井所長招宴

荒井地方事務所長は十七日午後六時より守備隊及警察署の幹部を料亭筑紫館に招待し懇親會を催した

諸工事一段落

金州における關東廳直轄工事たる民政署廳舍の增築、南山官舍家屯の種馬所分場、土木官區宿舍等は十七日工事竣工し增田關東廳技手の檢査を終へたが今年の諸工事はこれで全く一段落を告げた

軍事費を獻納

金州警察署勤務の獸醫稻葉勇夫氏は十六日民政署稅務係を訪れ軍事費として金三十圓の獻納方を申出でたので民政署では獻納金の取扱ひ規則に依りこれを受納したが、金州に於けるこの種獻金は氏を以て嚆矢とする

小學校學藝會

金州小學校では來る十九日午後一時より講堂に於て全校兒童の學藝會を開催する筈

朝鮮部隊の負傷兵歸鮮

【安東】北滿の曠野に於て兵匪さ寒氣と戰ひ戰鬪を續け不幸敵彈又は公傷にかゝり涙を呑んで戰線を退き遼陽奉天の病院に收容されてゐた朝鮮部隊の將士六十餘名は江藤一等軍醫正に伴はれ十六日午前七時列車で安東着同五十分發南行したが安東官民有志各團體は寒氣身を刺す朝まだき驛ホームを埋め列車到着するや第一回の戰傷病兵の送迎の如く至れり盡せりの慰問を爲し驛頭は日本國民ならでは見られぬ劇的シーンを展開し發車ベルと共に萬歲の聲に送られ送る者も送らるゝ者も目に感激と感謝の涙をたゝへ列車は徐々に驛ホームを離れた

第二の反抗（107）

三宅やす子　阿部金剛畫

女同士（十二）

「お父さんからのお話なんだけどね」

母は、いつもよりもつと、もつとやさしい聲で

「急にさしせまつて入用のお金が千圓許りあるんで、それを、あんたに都合してほしいと仰しやるのこんな用をたのんでほんとにお氣の毒だけど、佐枝さんの一存で何とかしてもらつてほしいんでれえ」

「……………」

「無理かもしれないけど、都合して貰へまいか」

「え、それは——」

「出來るのかえ」

「出來ますわ」

佐枝子はさう云つてうつむいた。

（わざ〳〵來て、生みの親に金を無心する……）

女にした動機が、讓る子のない太吉の財産めあてだつたさいふことを、今では、明瞭に佐枝子は察しることが出來るのだ。

「でもれ、数衛さんといふ人があるんだから、お金の事は、却て、以前ほど、らくに考へられないんだよ、佐枝さんにしたつて、却つて、佐枝さんの自由にならない道理もあるんだからね——でも、佐枝子だしたら、何とか都合がつくだらうと思つて、いはゞあてにして來たんだけど」

親は、太吉から彼女が讓り受けた財産のことを、もう、あてにしてゐるのだつた。

「現金でなくてもいゝでせう」

「え、千圓だけ出來るやうなら……」

「ぢやあ、すぐに、送りますわ」

母はまた云ひ續けるやうに

「お父さんも、明後日にせまつて困つてゐるんだからね」

「まあ」

「それでね、二三日のうちに、何とか延ばしてもらふ方法はつくだらうけれど——」

「それ、無理の無理を重ねてまで、お父さんは困つてゐらつしやるんでせう」

「ほんとに、そんなに急に入用なら、佐枝子は、言葉がつげなかつた。

「そりやあ、無理に無理を重ねたらね、千圓位なかつたら、お父さんの顏も立たないのだよ」

「さう、それでやつと安心した。母は晴れ〴〵と、急に調子を變へて元氣になつて

「此間から、そのことで、お父さんは、とても御心配で——それを見てゐるのも、ほんとに辛かつたよ。一體なら、佐枝さんの名義の財産はお父さんが使つてもいゝのだが、わけてある筈だつたさうだし、何でもそれは、現金ではなくて、此の前困つた時に、お父さんが擔保にいれておしまひになつたんだそうで」

「……へえ、そんなこと、あつたの？」

「さあ、それも、家に、あなたに云つておいた方がいゝつて、お父さんが仰しやるのよ」

「さうでもいゝわ、そんなことより早く家へ歸らなくちや、お父さんが御心配なさるんでせう」

「いゝえ、すぐに歸るからね、ほんとにすまないけれど」

通俗醫學誌より抄釋す

放つて置けば一命に關はる 痔疾に對する注意と其治し方

醫學博士　小田義雄（談）

冬季に於ける慢性病中最も怖るべきものゝ一つとして痔疾を擧げることが出來る、寒氣は鬱血を助成し、苦痛を增大すること甚だしいものがあるからである、病者も治療を怠ならば最早一刻と躊躇すべきでない筈である。小田博士の説に聽く所以である。（係）

まづ素因を知れ

疾病の原因を知ることは、豫防を講ずる上に於て必要缺くべからざる事で、原因が判明すれば自ら豫防法となるからである。痔疾も又その例に洩れない。

便通後五十倍の硼酸水を溫めて洗滌し、後よく乾燥せしむるとよい、又痔核は外部の刺戟を防ぐ必要があるから脫脂綿にて被包するがよい、又根本的治療法としては外科手術、腐蝕療法、結紮療法、燒灼療法等があるが、何れも一長一短を免れない、一般に注射療法として推奬すべきは藥療法であつて、中でも外用藥を用ひるのが安全且有効なるものである。

痔疾の治療法

局部を清潔にし常に便通を整へることが第一である。

藥物選擇の標準

しかし市販の藥物には多く一時的の麻痺劑が多く、これ等の藥には瞬間的の効果はあつても根本的の効果は全然缺除してゐるから、輕症の者ならば兎も角少しでも重症の人がうつかり連用してゐると後悔しなければならぬ場合が少くない。余は古き歷史と驚嘆すべき効果を有する「小松の藥」を第一に推す。何故ならこの藥には鎭痛、止血、收斂、消炎、防腐の各作用及び痔疾藥としての特殊の作用を有し、且つ今日までに數十萬人に愛用されて、その効用に驚嘆的に動かすべからざるものであるが故である。

市營單一制により 市場改組解決
愈よ小川市長乘出す

大連中央卸賣市場の改組問題は杉野市長以來石本、田中と三代の市長を經て未だに解決せず市政運用上の一大癌として殘された重要問題で市民は小川新市長に期待する處多大なものあるので市長就任以來鋭意調査研究中であつたが右問題の合理的解決には如何にしても市場行爲取締に關する廳令公布を先決問題とするので十七日既報の通り赴旅、關東廳と種々打合せた結果大體に於て諒解を得たのでいよく改組問題の解決に着手する事となり、小川市長は十八日午後三時より會議室で理事者會議を開き從來の經緯を聽取し更に既成の諸案につき檢討したが、何れも一長一短あり、可否決し難く論じ盡された問題なので結局小川市長は田中市長案として殘された市營單一制を最善の案として採用しこれに纏をかける意味合から多少の修正を加へるらしい、而して小川市長は當業者達の意嚮も尊重し滿鐵市の卸賣人たる事を辭退した所謂脫退組も踏み止まつた市の卸賣人同樣に取扱ひ補償金額の如きも田中市長案よりは多少増額し飽くまで合理的に解決せんとするものゝ如くである

優秀爆撃機と病院機製作
國民の奬勵寄附金を以て
滿洲に送つて活用

【東京十八日發】陸軍當局が一般國民から受けた學藝技術奬勵寄附金は十七萬圓に達したが、陸軍當局は内十二萬圓を以て研究用飛行機二機を作製し愛國第一、二號機と命名して滿洲に於いて實用に供する事となつた、一號機はコンカース・ケー・三十七型爆撃機價格十萬圓、乘員三名、爆彈約五百キロ搭載し約千キロを行續し得寫眞撮影、無線通信の外前方後方三方に向つてする射撃能力を備へる優秀機二號機は川崎造船所寄贈ドルニエメルクール型陸上機價格五萬圓に二萬圓の改造費を投じ患者輸送に使用する筈である

全日本學生の氷上競技大會

【東京十八日發】全日本學生氷上競技大會は一月三日から八日まで今年も赤青森市外高松池で擧行、十二校六十六試合、競技種目はアイスホッケースピード、フイギュアで興味の中心となるのは早大の

營口水源地を馬賊襲はん
警官隊急行し警戒

田莊臺に馬賊の一團入り込み水源地へ向け渡河する形勢ありとの報に接したので警官三十名は水源地保護のため急行した【營口電話】

在滿軍隊の兵士ホーム開設
全滿婦人聯合會協議

全滿婦人團體聯合會では來る二十日午前十一時奉天滿鐵俱樂部に於て第二回協議會を開催すべく十六日附にて各地の婦人團體聯合會に對し決議權を有する代表者各一名以上を出席せしむるやう通告を發したが協議題は左の如くである

一、在滿軍隊のため「兵士ホーム」を開設する件

二、鮮人同胞及中國人のため隣保事業を開設する件

三、毎週金曜日を全滿婦人克己デーとして制定の件

四、出席者の旅費に關する件

五、會員徽章制定の件

六、聯合會及會員相互の聯絡機關として會報發行の件

丁抹體操講習

滿鐵地方部學務課では來年一月五日より九日まで五日間奉天學校體育場に於て教育擴張論及び滿鐵地方部體育係沿線初等教育指導者にニールス・ブック氏を講師として丁抹式體操講習會を開くこととなつた

五道溝の同胞燒死
兵匪の放火で

十七日夜五道溝襲擊した兵匪は鮮人部落十五戸に放火燒拂ひ同胞二名燒死した、興隆街支家屋五戸も燒かれたが公場は警官隊の應援により平穩に歸した【奉天電話】

朝鮮愛國婦人會員同胞慰問

【京城特電十七日發】愛國婦人會朝鮮本部及各支部役員會員有志は在滿鮮人同胞が事變勃發以來苦境に陷り且現下の嚴寒の慘狀に對し滿腔の同情を表し謹てこれが同情金を集めつゝあつたが取敢ず別途金一千七百七十一圓十六錢を社會事業協會を通じて寄贈することになつた

公太堡からの歸途
學良の別働隊に毆らる
警官を輸送した支那人運轉手

十八日午前七時公太堡の匪賊討伐應援のため現地へ赴く重利警部補以下十名の警察官を乘せた自動車は空車で歸途、公太堡を離るゝこと二里位の地點において突如約二百名の學良別働隊の包圍を受け支那人運轉手は所持金一圓八十錢を強奪された後隊長の前に引出され爾後日本軍のために働くと命はないぞと脅迫された上さんざんに毆打され命からく午後三時頃逃げ歸つたがこれをみても奉天附近に如何に學良の別働隊が集結してゐるかが窺知せらる【奉天電話】

鄧演達に死刑

【上海十八日發】鄧演達は昨日南京軍法會議で死刑の宣告を受けたと發表された

體育聯盟で慰問法協議

滿洲體育聯盟常務委員會は十八日正午より敷島町基督教青年會特別室に於て福田常務委員以下各委員參集の上軍隊慰問方法について協議したが慰問使派遣は派遣軍駐在地の各支部役員を以て慰問することゝなり軍司令官、各警察署長、滿鐵總裁等に慰問狀を送ること決定、なほ慰問金の使途に關しては軍部の意嚮を聞きたる上それに從つて使用することになり午後一時半散會した

社外線社員に正月を贈る
慰問金から支出して

實戰場に馳驅して激務に服しつゝある第一線の滿鐵從業員に對する各方面の同情漸次熾烈となり名古屋市民慰問團の二千圓を始め滿鐵東京支社員、東京赤坂區會議員、東京家政女學校、東京肥料協會、普臘店日本婦人會や東京松澤村勤勞同志會の血汗の結晶である三圓二十錢の寄附等を合せて總計二千八百餘圓に達してゐたが、之が保管に當つてゐた滿鐵人事課では有意義な使途に就いて種々苦心研究中であつたが差當り右の内より約九百圓を支出して社外線勤務社員六百名に對し正月餅、屠蘇、鯣、蜜柑、鰹節、酒等を配給し各方面の滿鐵社員に對する篤き同情を徹底せしむる印刷物を添へて至急配付することゝなつた

軍隊慰問金

連鎖街カフエー日輪の使用人杉原初次君は顧客の落して行つた金數百圓在中の蟇口を拾得しその筋に屆け出で落し主から謝禮として貰つた金十圓を軍隊警官の慰問金として十八日市役所へ寄贈かた申出て來た、また大連洗染業組合は金百圓を

討伐軍、懷德に入城
飛機で逃亡兵匪搜查

懷德縣における匪賊討伐軍は十八日午前九時十分頃完全に入城したもの如くである、十七日夜から十八日拂曉にかけ兵匪との戰鬪はわが軍に何らの損害なく敵の損害は判明せざるも大激戰に至らず兵匪は逃亡したる模樣である、なほ長春飛行隊は逃亡兵匪搜查中である【長春電話】

九州部隊は廿三、四日頃出發
門司から乘船渡滿

【門司特電十八日發】滿洲軍補充部隊小倉野戰重砲第○聯隊、久留米混成第○大隊の將兵は山本少佐指揮官となり二十三、四日頃門司乘船渡滿の途に就く筈

名古屋から選拔衞生隊渡滿

【名古屋十八日發】名古屋豐橋濱松靜岡三島岐阜の各地より選拔された衞生部隊○○名は十九日名古屋驛發渡滿する

橫須賀先發隊

【橫須賀十八日發】橫須賀○○○聯隊は十八日滿洲方面出動命令を受けた、先發隊高田中尉以下○名は十九日出發する

派遣隊鐵道輸送
宇品から乘船渡滿

【東京十八日發】滿洲派遣部隊の鐵道輸送は十八日左の如く決定した

一、東京よりの部隊は二十二日午後零時五十五分品川發

一、千葉よりの部隊は二十二日午前九時四十二分千葉驛發東京部隊と合し午後零時五十五分品川出發

一、姬路よりの部隊は二十一日午前八時姬路發

一、岡山よりの部隊は二十一日午前九時岡山發

一、鳥取よりの部隊は二十二日午前八時鳥取發

一、松江よりの部隊は二十二日午前九時五十分松江發

各部隊とも宇品より乘船出發する

撮影中に卒倒
ポーラネグリ孃

【サンタモニカ（加州）十六日發】映畫王國に返り咲いたポーラネグリ孃は昨日羅府北方十五哩のルモサンタモニカ海岸で撮影中突然卒倒し昏睡に陷つた

どりこの評判

胃腸を丈夫にし、血色を良くする冬の滋養劑としては「どりこの」が一番だと、どこでも大歡迎です

今朝八雲來旅

軍艦「八雲」は十八日午後三時秦皇島を出發十九日早朝旅順港外着の豫定

有段者會役員

大連講道館有段者會では十七日午後四時半より評議員銓衡委員會を開催し左記幹事及び評議員を來年度役員に推薦したが山西會長の歸連を待つて決定することゝなつた

▲評議員藤森千春、前田久郎、山根福吉、井上新吉、小谷澄之、江頭仁三、關憲治、櫻井弘之、二宮宗太郎、福島平助▲幹事大野二郎、吉原政紀、小谷澄之

政務官の初顏合

（前列右から）内務政務次官松野鶴平、文部參與官山下谷次、鐵道政務次官若尾璋八、犬養總理大臣、司法政務次官熊谷直太、農林政務次官砂田重政、商工政務次官中島知久平（後列右から）外務政務次官岩瀨隆德、海軍參與官西村茂生、農林參與官今井健彥、鐵道參與官野田俊作、陸軍參與官土岐章、文部政務次官安藤正純、大藏政務次官堀切善兵衞、陸軍政務次官若宮貞夫、海軍政務次官堀田正恒、内務參與官藤井達也、外務參與官高橋熊次郎、内閣總理大臣秘書官犬養健

天然色カメラで滿洲を撮影する
來春ダグラスが來滿

【東京十八日發】さきに南米奧地の冒險撮影旅行の計畫を發表したダグラス・フエアバンクスは滿洲事變の勃發に續いてウイル・ロジヤースの渡滿に刺戟せられ急に豫定を變更して一行ルイス・マイルストン、ロバートフエアバンクス製作部支配人チヤック・ルイズ、ダイアローグ係ロバート・ベンチレイ外撮影技師の大勢で歐洲經由東洋方面への撮影旅行をする事になつた、出發時期は明春早々で經由の土地は北部アフリカ、スイス、シベリア、滿洲で歸路は日本を通過するからこれで彼は三度本邦を訪れる事になる譯である、撮影は天然色の撮影機をも攜帶する頗る大規模なものでありメリー・ピックフオードは行を共にせず留守中に主演映畫を西部で一本完成する事になつた【寫眞はダグ】

去る十五日當地で映畫撮影中突然倒れ急性腸閉塞の手術を受けたスクリーンの女王ポーラネグリ孃の容體は本日に至つて少しく見直した醫者は茲三四日が病氣の峠であると云つてゐる

賓ドライクリーニング

映畫の都ハリウツドに於て十五年間彼地の權威者に就て實地にクリーニングの研究を積んだ師岡登一郎氏は三年前歸朝すると共に東京市芝區濱松町に日本クリーニング學校を創設し文部省の認可を得て多數の子弟を養成してゐたが、本年八月滿鮮見學のため渡滿し、最近大連市彌生町三六番地（電話八三一六番）に定住し賓ドライクリーニング商會を開業した

乘組の山東省文登縣南石島張仁文（四二）外二名を救助そのまゝ引返したと

理研清酒 大和牡丹

理研清酒は普通清酒の純成分のみにより合成された芳醇佳良で衞生上最も安全で夏期に變、腐敗の虞れなく、冬期に凍結の憂なき良酒である大連市内名山屯の三共株式會社工場で製造し三共藥品販賣所を經て鐵谷商店で特約販賣されてゐる

安樂椅子

家を忘れたセパードの話、滿鐵社會施設係の岡田背高氏が日頃可愛がつてゐたセパードが數日前姿をかき消してしまつたので、岡田君血眼になつて探し廻りこの前の日曜の如きは迷子の迷子のセパードやアいで一日暮れた。

……◇……

所が不思議なことには勇士の遺骨がついた日に、のセパードが停車場に來てゐたのを見たものがある、それから遺骨が出發の時には埠頭に來て人混みの中をウロくしてゐた、どうやら家を忘れたセパード君は丈の一番高いのが主人だと云ふので人混みの中を探したらしい。

……◇……

それからこの迷子君は岡田君の知人である消防隊の某氏の家を一寸のぞいて見たらしいが主人が居ないので最後に思ひ出したのが電氣遊園、このセパード君は電園で訓練されたことがある鋒めかそれとも岡田君が電園の係であることを知つてか兎も角も電園事務所に駈つけたのが十七日の朝、これも愛犬の身の上を心配し萬一を憑んで電園事務所に來た許りの岡田君とばつたり會ひ、主從相抱いて泣いた？そうな【カットは首山驛の記念スタンプ】

戎克を救助

十八日關東州麗務帆船第一號萬榮丸船長橫田助次郎氏より當地海務局への報告によれば同船は去る十五日山東省沖合海場において遭難中の中國安邵戎克を發見乘組員と協力し戎克

全大連市民射擊大會
第一次小銃射擊大會

期日　十二月二十日午前九時開始

場所　春日池射場で

申込締切及び申込場所　同日午後一時までに射場事務所へ

射距離及射彈　二百米伏姿モーゼル式五發

射票料　二十錢（婦人學生半額）

射手制限　▲第一班在鄕軍人（旣教育者）警察官射擊會員▲第二班一般市民（滿十五歲以上の男子）▲第三班學生及び青年訓練生▲第四班女學生及び一般婦人

主催　大連市民射擊會　滿洲日報社

お正月の用意　内地から門松來る

曙の鐘 (143)

倉田潮
河野想多畫

紋首臺（一）

あけみは夕方大山商事會社から歸ると、疲れた體を自分の部屋のソフアに投げて輕く目をとぢた。
父剛太郎のなくなつた後、彼女は女手一つで商事會社を初め製藥工場まで、父の殘した事業をかんさくして、殆ど生前と同じ成績をあげてゐたが、餘り忙しいので家に歸つて來ると暫く何もする氣がしないのだつた。が、家にはまた澤山の仕事が彼女を待つてゐた。第一洋館の仲居達の始末をつけなくてはならない。お冬だけは先日大體先の持ち出した條件を入れて二ケ月後に屋敷を立ちのいて貰ふことに取りきめたが、後の仲居はまだ一人も身の落ちつきがつけて無かつた。特にその中でお夏とおよりは思ひがけない難題を持ちかけて來ることが大體豫想されてゐるのだつた。
十分も眼をつぶしてソフアに横になつてゐた後に、あけみは濃い茶に眠氣をさまして、家の跡始末の事務に取りかゝつた。と、女中がそこへ這入つて來て
「洋館のお夏さんが逢ひ度いて、玄關に來てゐます」
と告げた。あけみはきつと口を緒んで、強くうなづいた。女中はお夏を案内するために出て行つた。
あけみはストーブの前に椅子を並べて、その一つにやゝ反り身に腰かけた。そして、ひだのついた洋服の袂をまくつて腕時計を見た。もう六時だつた。立ち上つて電氣をつけて、不安らしく室内を歩み出したが、再び椅子に腰をおろした時は、既に心の動搖した表情はなく、輝いた瞳が強い決心を語つてゐた。
お夏がつつましやかに部屋に這入つて來た。豐麗な肉體を黒いお召につゝんで、白い襦袢の襟を試よく細い一線に見せてゐた。
彼女は顏をあげてあけみを見ると、やや恥じらつたやうに笑ひながら丁寧に挨拶した。
あけみはそれに對して鷹然とうなづいただけだつた。そして、お夏の長たらしい挨拶が終ると
「御用事は」
と冷やかに訊いた。お夏は云ひにくさうに躊躇してから
「實は……」と云つた。「實は旦那樣の生前に、私、遺言を頂いてですの。今迄何彼と御忙しいと存じまして、遠慮して御耳に入れませんでしたが、でも、近頃は大部御屋敷内も落ちついて來たやうですから、一度御話しておき度いと思ひまして……」
「その遺書と云ふのは、ここに御持ちですの」とあけみは冷やかに微笑しながら訊いた。「世間には遺書が本物だとか僞りだとか云ふ問題で長い出入りをする家も稀しくはありませんから、一應私が見ておき度いと思ふのですわ」
「御尤もで」とお夏は手にさげてゐた小さいバツクから、例の剛太郎の手蹟を取り出してあけみに渡した。「正しい證文の形にはなつてをりませぬが、確に旦那樣から頂いたものですわ」
「……」
あけみは熱心に其の書狀を見つめた。お夏も息をはずませてゐた。その間に、壓しつけられるやうな無言の時が流れる。その涯にあけみは書狀をお夏に戻して
「間違ひありません」ときつぱりと云ひ切つた。「確に父の書いたものですわ」
「……」
無言にお夏は鳥渡小腰をかゞめて、包み切れない喜びを顏に浮べた。あけみがすなほに遺言を是認するとは、今の先までお夏は思つてゐなかつたのである。是認け是認である。遺言の效力はつひに發生するのだ。彼女はもうそれでよいと云ふやうに、いそくと書狀をしまひ初めた。冷やかに其の樣子を眺めてゐたあけみは、お夏が椅子から離れようとするのをとゞめて
「お夏さん、御待ちなさい」と口を横にまげて云つた。「あなたはそんなに財産なぞほしがつて何うするのですの。財産を受けない中に、絞首臺に立たればならないあなたではありませんか」
この一言にお夏は雷にうたれた人のやうに青くなつて顫えあがつた。

新年俳句川柳募集

◇俳句 課題「新年雜詠」五句以內、東京市牛込區若松町八一島田青峰氏宛（滿日俳句と朱書の事）
◇川柳 課題「編」五句以內大連市能登町十高橋月南氏宛
◇締切 十二月十五日
◇賞金 俳句川柳とも天五圓、地三圓、人二圓づゝ

滿洲日報社

柳壇

高橋月南選

『皮肉』

浮世など皮肉つて暮より五十年 山形 都筑 羽陽
小姑もさきくく嫁に皮肉られ 旅順 猪俣 辱雄
骨ぬきにされて皮肉の案は消え
逆うらみ又も皮肉の宣傳し
灯を消せば皮肉にも兒が目を醒し
手を切つてからも皮肉な長い文 大連 水島 淑朗
豐作でも矢ッ張り食へぬ世とはなり
友愛を唱へてモガは賣れ殘り
○
皮肉家といはれ世間へ巾が利き 高橋 月南
特價品符帳を替へてちと儲け

『面子』

一應は面子の手前考慮をし 大連 水島 淑朗
判官の前では面子物言はず
聯盟へ朋友面子持ち廻り 大連 林 子禾
もう和がぬ面子阿片へ言懸り
擠がれた面子へ暗い網代笠
暴君は自分の面子ばかり立て 大連 水野 黨
損もせず面子も立てるいゝ手際
双方の面子を立てる一苦勞 奉天 新谷 白雲
拜まれて義理に相手の面子立て
虎の威を藉りた面子の伊達姿 遼陽 阿 伊怒
花のやう散つて武士道面子立て
振れても又振られても厚面子 大連 山元 不動
面子など立てゝ三々九度になり
代表は妥協で面子やつとたて
網笠へ面子を捨てた人の群 大連 上河邊紫浪
學良は面子も立たず身も立たず
宣傳に面子を上げた支那の國
大ホール面子が着てる五つ紋
或る時は面子を支那は金に代へ 旅順 上倉 都一
晩酌へ無理を列べて押す面子
校長の苦い面子にニックネーム 大連 福田 阿呆
面子故身をしばり行く盆と暮 大連 佐伯 一軒
なけなしの財布をはたく面子なり

時事吟

プリアンが三つの面子もて餘し 大連 藤富 淀月
馬占山一夜明くれば面子なし
施肇基の是を非にかへて面子立て
差押へ大家へ面子汚される
寄附帳へ心にもない面子立て
未亡人佐氣に裏で仕立物 大連 水島 淑朗
釣錢のことで揉めてる紳士風

時事吟

幣原が面子潰して強くなり 山形 都筑 羽陽
燠良も泣き出しさうな面子なり
外相も思つたよりは面子揚げ
○
聯盟の面子を立てる惱みあり 高橋 月南
十錢の献金へ面子立てる意氣

お斷り

「面子」を子供がもつて遊ぶ「メンコ」と解釋して投句されたものが澤山あつたのは甚だ遺憾である。これは出題者が惡ひので今後は必ず註釋を入れることにするが投句者も注意されたいものである。

新刊紹介

▲同性愛の研究（守田有秋著）同性愛の歷史は實に古い今より數千年前の作であるホーマアの「イリアス」の中にはアキリイズの如き勇士を初めとして、幾多の勇士が同性愛に陷つてゐる、本著者は同性愛といふ變態的な行爲に對して深い同情と理解とを以て研究し世界的性科學者である博士の文獻を參考して著した本である、この種著書の一權威であらう（價一圓三十錢、千葉市白寒川二五四人生創造社）

▲明日の滿蒙（久村五郎著）旅順に旅ける若きヂャーナリストたる著者が滿二十八の秋を迎へて世に送つた最初の著書である、時恰も滿洲事變に際會して滿蒙の野に惡戰苦鬪する忠勇なる兵士達にも贈る意圖を有し止むに止まれない著者の氣持から出た熱烈な意氣を含んだ著書でもある、目次は一、明日の滿蒙近代的國家風景を何處にも見出すことの出來ない憐むべき狂態の中華民國に對して痛烈な批評を下し、滿洲事變に際して滿蒙獨立國、新政權の確立に對して日本政府が一切不干涉主義を採つてゐるにも拘らず明日の滿蒙は眞理の前に正しく、より合理的に日本に働きかけやうとして居り、呼びかけやうとしてゐると結び、二、國防上からみた日本の陸海軍備（列強陸軍現勢、日米果して戰ふか？）三、眞相實記北滿馬賊物語はその眞相を暴露したもので、從來の馬賊物語の如き空想的物語でない事は著者の誇りとして充分だ、四、日滿戰爭秘聞軍事探偵向野堅一五、馬賊の群にも排日熱、六、東洋鬼の旅、七、滿蒙邦人事業と活躍の人々はこの滿蒙に於ける邦人の事業並に活動狀態の研究に適切なものである（價一圓大連市浪速町大阪屋號書店發賣）

▲晴虚集 尾上柴舟氏の主宰する「水甕」の支社として南滿各地に散在する同好の人々を糾合してひたすら斯道に精進しつゝあるあかしや會の短歌第一輯である、採錄歌は大體に於て水甕に發表された歌から嚴選されてゐて、一字一句おろそかにしない同人の眞摯な態度がはつきりと全卷に現れてゐる、題材はほとんどそのすべてが滿洲を背景にして生れたものであるからいづれも滿洲に住む我々に親しみ深く、又卷末に附せられてゐるあかしや會創立滿三年のその歷史を辿ることも短歌を志す者には興深いだらう（四六判總絹製美本、定價二圓、發行所大連市大和町四一あかしや短歌會）

▲どんつき（石森延吉著）滿洲兒童の世界に、昨年出版された滿洲教科書編輯部石延男氏著の「まんちゆりあ」は出版以來兒童間に多いに歡迎され、擴く讀まれてゐる、氏は滿洲童話界の權威者で滿洲童話界を絶えず一歩先へと指導してゐられ本紙の家庭欄にペンネーム、旗野二郎で「製作」及「野生の花」を發表好評を博したが氏は兒童の日常生活に近い生きた材料を提供し、同時に或る何物かの意義ある暗示を、兒童はかりでなく大人にも讀んだ後に與へずにはおかぬのである、この意味において氏の近作「どんつき」は美麗な裝幀とともに川野想多、京之介兩氏の挿繪と相俟つて兒童界への一大福音である（價一圓八十錢大連市浪速町大阪屋號發賣）

▲綾歌集（一）（萩原眞咲著）人名、地名といふやうなものを巧に織り交ぜて創作したもの綾歌であるが、非常に面白いと共に奇想天外の創作に一驚する「神ながら武きみわざや天てらす皇御心、尊さかけけり」（卷頭一首）の如く綾歌は單なる歌としてゞなく精神修養の一方法でもある（價一圓五十錢大連市文化臺一三九番地同文舍發行）

けふの放送

大連 JQAK

十二月十九日
▲午前七時 ラヂオ體操
▲午後六時五十分 ニュース
▲獨逸語講座（テキスト第二十九課）大連語學校講師萩榮
▲ピアノ獨奏（イ）ゲーザーリング「フラワース、コンサーン作」（ロ）蟋蟀の跡「レルマン作」（ハ）イーコース、フロム「ザ、ボール、ルームギレット作」大連高等音樂學院栃內和子
▲防火宣傳劇（火の用心）曾我廼家五九樂
▲浪花節（勘忍の德木村重成）有明亭龍月
▲職業紹介事項
▲天氣豫報
▲ニュース

東京 JOAK

十二月十九日午後六時卅分
▲講演（未定）理學博士長岡半太郎
▲運動競技（布哇選手送別拳鬪試合狀況）「日比谷より」
▲長唄（山田一等兵〇大坪利三郎作詞、中澤錦水作曲（中澤錦水）

滿洲日報
發行人 鈴木…　編輯人 …　印刷人 …
發行所 大連市東公園町 株式會社滿洲日報社
定價 一ヶ月 金一圓二十錢 郵税 金十五錢 一部 金五錢
廣告料 普通一行 金一圓三十錢 特別一行 金二圓六十錢 場所指定 二割以上加算

我軍錦州攻擊に決す
陸軍省けふ聲明書を發表

（東京十八日發至急報）帝國政府は錦州攻撃に決し十八日陸軍省は張學良の暴虐を摘發せる聲明書を發した

榮臻、錦州軍に攻擊令
張學良の命令によって

【天津特電十八日發】張學良は錦州の榮臻に對し次の如く命令した
一、なるべく速かに日本軍に總攻擊を行へ
二、馬占山と連絡し奉天奪回を早めよ
三、敗れた時は政府を灤州に移し事を策すべし
これにより東北軍の關外出動は二、三日來頗る活潑となつた、なほ榮臻は昨日錦州軍に攻擊令を發したもの、如く軍事行動を開始した

錦州軍前線に增兵

錦州軍はその後益々積極行動に出てゐる白旗堡に從來ゐた正規兵三百であつたのが十七日には八千名となり、大官屯（新民の東南方）には二千名增兵してゐる【奉天電話】

山海關の邦人引揚

【天津特電十八日發】錦州方面の形勢再び險惡となりつゝあるに鑑み山海關在住邦人は全部當地に引揚げることゝなりこれが聯絡のため本日當地警察より內藤警部が同地に急行した

張學良の後任に張作相任命
南京政府近く發表

【北平十八日發】南京政府は張學良の後任として張作相を東北邊防司令長官に任命するに決し一兩日中に發表の筈

馬占山は副司令

【北平十八日發】張學良は東北邊防司令長官を張作相に讓るべく南京國民政府に通告すると共に各軍に對し右の通電を發した、なほ邊防副司令には馬占山を任命した

駐支英公使北上活動

【天津十七日發】目下南京にある英公使ランプソン氏は十五日張學良に時局相談のため北上したし、貴下所有のフォード飛行機を南京に向けられたいと旨電報した、學良は即日南京に同機を送つたがこの英公使の活動は注目されてゐる

張學良辭職通電要旨

【北平十八日發】張學良の辭職通電の要旨左の如し
奉天事變發生以來既に三月、東北の山河滅びて之を回復する途なく、學良の罪は萬死に値する今日迄恥を忍んでとゞまつたのは何とかして大勢を挽回し罪の萬分の一を償はんと思つた爲めだが、總て事志と違ひ今や施す術もない、今辭職を申し出たのはこれに依つて責任を免れんが爲めではないが、この上一日躊躇すればそれだけ害を殘すべく宜しく天下の耳目を一新し以つて國家存亡の危急を一擧に廻轉せしめんとす、この上とも余は國家に對し力を盡して奉公する決心である

張學良の辭職不許可

【天津十八日發】國民政府は張學良に對し綏靖公署主任の辭職願に就いて許可せず、新國民政府が現在の東北軍を保持して國勢の挽回に努むるを以てその任に當る可しと電命した

財政部長は孫科氏が有力

【南京十七日發】蔣介石氏の下野に次ぎ宋財政部長も辭表を提出したが後任には孫科氏が有望視さる

犬養政友內閣評
上海言論界の論調

日本の政變に對して南方支那人が如何なる關心を持ち合はしてゐるか、絕え間なき國內政治の紛糾にウンザリさせられてゐる彼等には外國の政變など、どうでもよさそうなものの、やはり日本政變による日支關係の將來については大いに重大視してゐるようである、最初政友會單獨內閣說の傳はつた際は（十二日）上海一の新聞「申報」は日本が國難來に當つて協力內閣を組織せんとすることは總べて國事を以て前提とする所の精神即ち黨を輕んじて國を重んずるの精神に基くもので、吾人の深く欽佩とするに足るもの、顧つて顧るに吾國は如何?國難日に迫れども寧漢合作は未だ成らず北輯南轅は今尙軌道を異にす、國民も亦意見紛々として目標各々異り、恰も國外の大敵を忘るゝもの、如くである、嗚呼今日にして醒めずんば何時か醒める日あらんや
と天下に警告する所あつた、次いで大命犬養總裁に下り、政友會內閣出現の報あるや申報は犬養氏は曾つて孫文先生の革命運動を援け、孫文先生の移靈祭の時は遠路わざ〳〵臨席した、而も氏は日支關係の改進について若干の關心を持つてゐる、併も犬養氏が曾つて孫先生の友人であつたからとて、氏の對支政策に樂觀的期待を持つことは出來ない、何となれば氏の政治的背景は政友會であり、氏の任ずる所は政友會總裁である、抑々政友會の歷史と最近の外交宣言によつてもその一貫して民政黨よりも積極的であることが判る、かの軟弱外交の非難ありし民政黨內閣にして尙且つ滿洲を武力占領したではないか、況んや對支積極政策を主張する政友會を背景としての犬養氏に對し單なる孫先生との私交關係の故を以て、日支關係改造の幻夢を抱くべけんや、元來政友會なるものは財閥、大地主、軍閥を背景となすもので、その主義とする對外侵略は引いて東亞の風雲をより險惡ならしめるであらうと評してゐる、一方共產黨方面は如何といふに、彼等は例によつて日本の政變はソウエート同盟に對する進攻と支那侵略の陣容を整へる爲めであると宣傳してゐる、要するに政友會內閣の出現に對して支那人の總てが大いに氣味惡がつてゐることは事實で、恐日病がなほ益々激化して行くことは爭へない事であらう、尙南京政權は今や國內民心の離反によつて末期的恐慌に在るが、此時に當つて南京政府權力の前途を益々悲觀せしめ、政府の對立を目論んで失脚した王寵惠一派は此時機に乘じ、親日を標榜して新活路を打開せんと策しつゝあるとも傳へられてゐる（一二、一五、上海にて日森生）

北平の政治的地位
蔣氏の下野に伴ひ重大となり
公使館南遷は立消え

【北平十七日發】張學良の新地位につき外交團方面の觀測は之により學良の勢力範圍は東三省を除く黃河以北の北支那一帶に擴大され山東の韓復榘に對しても壓力を加へて一層基礎鞏固となるものと見て外交々涉も從前通り學良を相手とするに變化なく北平の政治的地位却て重大となり各國公使館の實質的南遷も北平に復歸すべしと

陸軍首腦部の異動觀測

【東京十八日發】陸軍では閑院元帥宮を參謀總長推戴に內定し一兩日中奏請に決したが、武藤教育總監の辭任は來年まで保留され、參謀總長更迭に伴ふ異動豫想は臺灣軍司令官陸軍中將眞崎甚三郎氏が參謀次長に、第四師團長阿部信行中將が臺灣軍司令官に、二宮參謀次長が第四師團長に、第三師團長川島義之中將が教育總監本部長に、杉山陸軍次官が第三師團長に、小磯軍務局長が陸軍次官にそれぞれ親補される模樣である

關東長官に軍部は南大將を推す
各機關を統制のため

【東京十八日發】陸軍では今後の滿洲建設のため關東軍、關東廳、滿鐵の統轄機關につき研究中だが關東廳官制によれば
一、關東長官ハ南滿洲鐵道株式會社ノ業務ヲ監督ス
一、陸軍武官關東長官ニ任ゼラレタルトキハ之ニ關東軍司令官ヲ兼ネシムルコトヲ得
とあるので、荒木陸相は同長官に南大將を推擧する意向である

地方長官の異動
けふ閣議で決定發表

【東京十八日發】地方長官異動は各方面の注文山積し一時混亂狀態に陷つたが十七日午後より夜半に至り漸く成案を得十八日の閣議で決定發表された

內務都市計畫課長	大島辰次郎
任衞生局長（二等） 前廣島知事	白根 竹介
任兵庫縣知事（一等） 元警保局長	橫山 助成
任京都府知事（一等） 前神奈川警察部長	豐島 長吉
任栃木縣知事（二等） 前臺灣總督府警務局長	大久保留次郎
任千葉縣知事（二等） 前熊本知事	齋藤 宗宜
任大阪府知事（一等） 元愛知縣知事	小幡 豐治
任新潟縣知事（一等） 內務省社會局勞務課長	君島 淸吉
任茨城縣知事（二等） 內務省地方局長	三邊 長治
任宮城縣知事 內務省社會局課長	齋藤 樹
任奈良縣知事（二等） 和歌山縣知事	安井 英二
任內務省社會局部長（二等） 土木局長	丹羽 七郎
任社會局長官（二等） 社會局長官	大野緣一郎
任地方局長（一等） 宮城縣知事	湯澤三千男
任土木局長（一等） 元靜岡縣知事	長谷川久一
任東京府知事（一等） 元三重縣知事	遠藤 柳作
任神奈川縣知事（二等） 元千葉縣知事	宮脇 梅吉
任埼玉縣知事（二等） 元岐阜縣知事	金澤 正雄
任群馬縣知事（二等）	

南京市中の和平氣分
廣東代表入京し

【南京十七日發】廣東代表孫科氏等一行百餘名は午後三時三十五分特別列車で賑やかに南京入を爲した、市內の空氣は學生團の騷擾依然續き本日も中央黨部に押かけ數名の更員を袋叩きにして重傷を負はしめ市內で示威運動をなす等險惡であるが、廣東側の入京で漸く石に和平氣分濃かで市內各所に廣東側代表歡迎のビラが貼られ俄に蘇生の色あり暫くは廣東派萬歲の時代續くものと見られる

孫氏邸で晩餐會

【南京十七日發】首都に入つた廣東代表一行は中山陵に詣でた後蔣介石氏を訪問した、今夜は孫科氏邸で晩餐會あり、蔣介石氏を初め南京、廣東要人出席した

不安の新民（商民は表戸を閉して休業）

新滿蒙建設を研究
近く滿蒙視察の南次郎大將談
總督に推されたなら大にやる

【東京十八日發】陸軍一致で滿蒙總督に推薦されてゐる軍事參議官南次郎大將の視察は單に軍事行動が行はれた現地を視察するに止まらず事變發生後の滿蒙の治安狀態、產業狀態、各鐵道の狀況その他滿蒙の現狀に就き全般的に詳細に視察する豫定でこの視察報告を待つて滿蒙總督問題並にその制度組織等の研究が飛躍的に進展するものと期待されてゐる、南大將は十七日夜陸相官邸で語る
滿蒙における作業としては大體一段落の緒に就いてゐると見る事が出來る、從つて之からは如何に建設するかの問題であるがこの建設如何が直ちに我國の死活問題に影響するのであるから今迄よりも寧ろ一層の愼重さと努力とを以て之に臨まなければならない、之につき自分としては皆の意見と違ふかも知れないが一個の意見は持つてゐる、この意見を基礎として如何に新滿蒙を建設するかにつき充分研究して見たいと思つたのが今度の旅行だ、自分が滿蒙總督に推されてゐるかどうかは何も知らぬが國家國民が是非お前にといふなら老骨ながら微力を致さないものでもない（寫眞は南大將）

黑龍江省の兵備配置

【チチハル十八日發】黑龍江現在の兵備配置は次の如くである
省防第一旅（拜泉駐屯）旅長苑崇穀、第一團長劉宏賓（兵力二千）第二團長趙春林（六百）
省防第三旅（海倫駐屯）旅長馬占山、騎兵第一團長徐寶山（五百）步兵第五團長李青山（六百）
步兵第一旅 旅長張殿九、第三團長孫鴻玉（八百）
步兵第二旅 旅長蘇炳文、第四團長吳書莊（九百）
步兵補充團 團長陳祺（八百）
步兵衞隊團 團長徐寶貝（五百）
騎兵第八旅 旅長程志遠（塔哈爾河駐屯）
第五十四團長徐全勝（八百）
第五十二團長朱鳳陽（富海、寧年站駐屯）
第五十三團長周作霖（泰安鎭、齊齊哈爾駐屯）
騎兵第一旅 旅長吳松林、第三團長克鎭（泰安鎭、齊齊哈爾駐屯）
總兵力四千

前閣僚に賜餐

【東京十八日發】天皇陛下には若槻首相以下前閣僚御慰勞のため十八日午餐の御陪食を賜はつた

若槻中心主義で總選擧等に善處
民政黨の方針決定

【東京十八日發】民政黨は總裁の選擧問題を繞つて種々の噂を生んで來たが、若槻總裁の決心意外に强硬で、總務を始め黨幹部所屬議員に對して明春早々行はれる總選擧には粉骨碎身必勝を期し黨のため盡瘁し國民の期待に副ふ覺悟を述べ、黨の將來に對する決意を示し黨においても此際總裁の引退は黨の動搖を招來し憂慮すべき事態を惹起するので若槻中心主義で一切の陣容を整へ民政黨更生のため院外役員及び總選擧その他總ての準備を整へることゝなつた

關東軍統治部陣容
愈よあすから事務開始

關東軍司令部內設置の統治部は十九日より事務開始の筈で過日公會堂に移轉した參謀部第三、第四課跡にて執務すべく部長以下左の通り決定した

部長	駒井德三
顧問	
行政課長	松木俠 囑託
交通課長	久保田 囑託
財政課長	森 主計正
產業課長	松島 鑑
交涉課長	森島領事又は河相關東廳外事課長

【奉天電話】

失業救濟策急速に方針決定
經費は追加豫算に

【東京十八日發】新內閣は前內閣が決定した失業救濟事業五千五百萬圓の當否に就いて意見を異にする處から暫く之を明年度總豫算より省き再考慮の上追加豫算として計上する事に方針を決定した、新內閣も厖大なる失業群の救濟が緊下の急務たる事は認めるが
一、前內閣の計畫せる事業が失業救濟に適當なるや否や
一、鐵道特別會計の千五百萬圓は普通建設事業公債とする方がよくはないか
一、一年度限りの目算で場當り的に樹てられてゐるので、半恒久的と見らるゝ失業者の救濟に適當なるや否や
一、金額は一般會計は百二十萬圓鐵道は千五百萬圓だけで適當なりや
等幾多の疑問の節があるので更に案を練り急速に新計畫を決定する方針である

大審院長後任

【東京十八日發】牧野大審院長の辭職の結果後任には東京控訴院長和仁貞吉氏に內定したその後任には小原司法次官が內定してゐる

內田總裁歸連

奉天出張中の內田滿鐵總裁は杉本秘書役、鈴田囑託を同伴十八日午前八時着列車で歸連した

各派交涉會
民政は五氏出席

【東京十八日發】衆議院は十九日午前十時から議長官舍で各派交涉會を開き六十議會における議席並に各派控室、常任委員の割當等の件につき協議することゝなつたが當日民政黨側の出席者は木村三四郎、工藤鐵男、佐藤正、中村繼男、平野光雄の五氏に決定した

蛇角

天皇陛下、在滿鮮人救恤の爲め金二萬圓御下賜、萬民感泣。
◇
南大將の言、滿蒙建設の如何が我國の死活に關す、萬人異議無し何卒宜敷。
◇
英公使ランプソン、態々學良の飛行機で北上せんとす、外交團方面の消息に、張の地位却て固くならんと云ふのと照合すべし。
◇
何を相談する積りだつたか分らないが、張は既に辭職通電を出して居る。
◇
伊藤述史君は國聯の事務、新に法學博士となる。

東北地方民に南米移民を獎勵

【東京十八日發】東北凶作地方の罹災民救助に關し更生の拓務省では、此際特に積極的に同地方に働きかけることに決定、南米移民募集を行ふ事となり海外興業會社に實情調査方を命令した、即ち本年度渡航費補助の豫算は百七十萬八千七百餘名の移民を送る計畫の處現在漸くその半數に達しただけなので之を以て凶作地方の罹災民の南米渡航を獎勵し該豫算を殘額にして不足の場合は更に第二豫備金から支出してもこれを行ふ方針である

起草委員會報告書作成終る

【パリ十七日發】支那調査委員問題に關する聯盟理事會起草委員會は十九日報告書の起草を終り直にこれをジュネーヴの聯盟事務局に提出するはずであるが、その內容は茲二週間內は發表されることはないと云はれてゐる

獨委員候補

【パリ十七日發】對支調査委員ドイツ委員はシュネー氏選ばれん

東亞の謎（152）
國枝史郎　插畫 伊藤順三

戰ひ（三）

可成り大きな平屋建であつた。その中に負傷した數人の兵士が女達の手あてを受けてゐた。洋子も居れば小夜子も居、二人ながら働いてゐた。次郎も懸命になつて働いてゐた。此處は大丈夫と思つたからであらう、たゞ三人の國民黨の兵士が形式ばかりに詰めてゐて、戰鬪の用意は出來てゐなかつた。其處へ突然襲はれたのであつた。女達は悲鳴を上げて、持つてゐた物を擲り出したり、介抱してゐた負傷兵達を、思はず捨て、逃げ出さうとした。
「大變だ！」と次郎は思はず叫び、窓へ飛んで行つて外を見た。パラ〳〵とその窓へ彈丸が注がれた。
「あッ」と叫びながら次郎は飛び退さつた……「敵だ！攻めて來た！えらいことになつた……兎に角戶口を……早く早く！」喚きながら戶口へ走つて行き、扉の前へ椅子だのテーブルだの、重さうな物を積み重ねた。
「敵ですつて、次郎さん、何うしやう！」顫えて、今にも仆れさうに、ヨロ〳〵しながらも甲斐々々しく、洋子は次郎の手助けをした。これも眞蒼に蒼ざめながら、小夜子も次郎の手助けをした。
が、兵士が一人窓へ飛んで行つた。が、彈丸に擊たれたのであらう、丸太ん棒のやうに仆れて死んだ。血がパーッと床へ流れた。負傷兵達は起き上がらうとした。
「窓へも何か！」と次郎は叫んだ。

潛行して來たその一隊の、將校宿舍の攻擊は、突然でもあれば急激でもあつた。
也速該の方から云ふ時は、しかし尤も計畫的のもので、也速該は何うあらうと小夜子と洋子とを、此方へ奪はうと思ふのであり、賊は看護婦として、其處に働いてゐることだらう、だから其處を急に襲つて、二人を此方へ奪はなければならない。
——その點から此處への攻擊が、潛行的に行はれたのであつた。
この一隊の中には武村もゐた。武村は黃精の頭分であり、也速該の部下の兵士や將校の中には、黃精の會員が相當にゐ、この一隊が夫れであつた。つまり武村俊三が、黃精に屬してゐる一隊を率ゐ、この方面へ向つて來たのであつた。
たゞし武村は如何に少數であらうと、兵を指揮するといふやうなことは出來なかつた。軍事に關する智識の一片さへ、知つてゐなかつた。彼では無いのであるから彼は要するに也速該の命で、小夜子と洋子との二人の女を、掠奪する爲めにこの一隊の中に、加はつて來たに過ぎないのであつた。
先づ小銃の一齊射擊が行はれ、つゞいて突貫が行はれた。宿舍の外側には形ばかりの、障礙物が設けられてあつた。それを踏み越えて彼等は進んだ。そうして直に宿舍に迫つた。宿舍は泥と石と木と、さういふ物で蒙古風に——泥小屋のやうに作られてゐて、出入口には扉があり窓には硝子が篏められてゐた。

懷德縣城の兵匪を包圍し 今曉來總攻撃を開始
長春から飛行機も出動して 徹底的に剿滅する

排日、抗日、侮日の本據、學良の別働隊として新政府に反對しつゝある懷德縣城の兵匪討伐に出動中であるわが第〇〇旅團隆下の主力部隊は十七日正午入城のところ城内民家一圍に潜伏中であつた無數の兵匪抵抗しこれがためわが討伐軍は城内を包圍し十八日拂曉より總攻撃を開始した、なほこの攻撃には小黑林子で騎馬匪賊七十名と遭遇し賊二十名、馬十二頭を殪して殊勳を樹てた長春守備隊百名及び公主嶺からの騎兵隊も參加してゐるが、主力は長春に待機中であつた混成第〇〇〇旅團の野砲〇中隊、歩兵〇大隊で徹底的に剿滅される筈だといふ、なほ長春飛行隊では十八日拂曉より剿匪の飛行機を以て爆彈投下のため出動したが十八日は幸ひに前日の吹雪もカラリと晴れて絕好の飛行日和である、因に懷德縣城の兵匪はわが討伐軍を感知して一部は夜陰に乘じ農安街道及び長嶺街道方面に遁走した、然し大部分は城内に潜伏してゐたやうである【長春電話】

月明の雪道を追撃して 馬車の上で射撃戰
歸途再び馬賊に遭遇して交戰 勇敢なる長春署員

十七日午後七時頃長春市内東五條通において二名組の馬賊現れ客馬車を強奪すべく馭者を毆りとばし路上に昏倒させその隙に乘じ馬車を強奪

逃走 した、附近にゐた客馬車三臺は直に北六條派出所に届け出でたため居合せた志田、大圓二巡査は右三臺の馬車に分乘直に追跡、急を聞いた本署では田畑司法主任以下刑事、巡捕はサイドカーで出動、追跡中の二巡査は後から來る應援隊のため馬車を途中に置いて追撃方向の目標となしつゝ前進一里半餘の雪に埋まつた田舍道を月の光を賴りに馬車で逃走中の

賊を 發見しこゝに猛烈なる射撃戰が馬車の上で彼我の間に行はれ遂に關山堡部落入口で一名を殪した、これに勇氣を得た二巡査はなほも殘る一名の賊を追撃、三名は月と雪明りの中に死力を盡し亂射撃の大爭鬪を行つたが賊は叶はじと馬車を棄て部落内に逃走行方を晦ました、この時應援隊の到着を得大々的に搜査を行つたが發見するに至らず同九時頃賊の

死體 をもつて本署に引揚げた、ところが賊を追撃中市内三笠町の總督府純齊方へ四名組の馬賊が押入り見張中の賊を警邏中の警官がこれを發見し逃ぐる賊を單身追撃中折柄關山堡より凱歌を奏して引揚げ中のわが刑事隊と出會せ約二十發餘を浴びせかけたが賊も逃走しつゝ應戰負傷したまゝ逃走、馬車で城内に入込むところを巡警に

誰何 され手負ひのため逃げられず逮捕され、東洋病院に擔ぎ込み手當を加へたが十八日午前五時死亡した、三名は逃走したがこの馬賊騒ぎ中に驛構内木工場に火災を發しそれ火事だと出動、一夜に三度の事件が連續的に起つたので長春署は零下二十四度の寒夜に總出動の騒ぎで奔命に疲れた態であつた、なほ關山堡において賊を殪した大圓、志田二巡査の

沈着 なる態度に對し武波署長は金一封を贈つてその功を賞した【長春電話】

在滿鮮人に御救恤金を下賜

【東京十八日發】天皇陛下には滿洲事變發生以來在滿鮮人の被害少からざる趣き聞召され右御救恤の思召を以て中央朝鮮協會に對し十八日金二萬圓御下賜の御沙汰あらせられたので同會理事馬場鍈一氏は阪谷會長に代り午前十時宮内省に出頭宮相より拜受退出した

軍縮全權晴の出發

來春二月ジユネーヴで開催される陸軍々縮會議へ派遣されるわが全權一行は十五日午前八時二十五分外務省より自動車廿七臺に分乘し東京驛に到着ホームには犬養首相以下各大臣を始め陸海軍關係その他朝野の名士の盛大な見送りを受け晴れやかにも午前九時發列車で鹿島立ちした、寫眞は列車より見送人へ答禮する三全權、右から永野海軍全權、佐藤大使、松井陸軍全權

林家臺驛襲撃さる
交戰撃退し二名死傷

十八日正午林家臺南方に匪賊の大部隊來襲し、そのうち約十五名は山上より驛を襲撃した、このため驛員、警察隊協力交戰撃退したが驛支那人一名流彈に當つて即死し一名は重傷を負ふた【奉天電話】

指導員が中心となつて一應プランを立てゝから着手しやうと思つてゐる

黑田侍從歸京

【東京十八日發】天皇陛下の御内意を奉じて北海道、青森地方の凶作地の實地調査に赴いてゐた黑田侍從は十八日午後二時歸京同日午後三時頃陛下に拜謁を賜はり持參の東北窮民の食料品その他を天覽に供し伏奏の筈である

奉天龍江間の直通列車時間

廿日から實施される奉天、チチハル間の直通列車は奉天、四平街間の滿鐵第二十七列車をそのまゝ四洮線に入れ四洮線の第三列車に代るものであつて發着時刻は次の如くである【奉天電話】

奉天發一六時二〇分▲四平街着二一時五分▲同發二二時▲龍江着(チチハル)一七時三〇分▲龍江發九時▲四平街着六時三〇分▲同發七時四〇分▲奉天着一二時五分

全國失業者 四十二萬 最高レコード

【東京十八日發】内務省社會局發表 九月一日現在全國失業者推定數は四十二萬五千五百二十六人で近年の最高レコードである

消費、購買組合の政治的解決を圖る
各地輸入組合員が中心となり 近く陳情書を提出

在滿小賣邦商は近年、不景氣の深刻化につき窮迫の度を高めて行つたが、利害關係上、對立する滿鐵消費組合や關東廳購買組合に對しては、既往幾度か改廢運動を起したにも龍頭蛇尾に終つたゝめ、新たなる運動を起す氣力なきかに見えたところ、たまく滿洲事變が勃發したので軍部方面に對し「消費組合が蟠居するため兄弟墻に鬩ぎ邦人の滿蒙發展を阻害する」といふ方面を強調し、政治的に問題を解決せんとする機運が頓に釀成された、この運動はその後漸次各都市に波及し各地輸入組合員が中心となり各地と連絡をとつて具體的解決方法を講究中のところ、輸入組合聯合會理事並に各地輸組理事においても大勢を察し内々對策を研究してゐたが、大體において成案を得たので、輸組評議員らが議したる「問題解決に關する陳情書」を輸組理事の手により滿鐵並に關東廳首腦者及び軍部方面に提出するといふ形式をとりたる上、これが具體的解決方法は各理事に一任するといふことになつた

解決案の大綱

具體的解決を一任された理事はこれまでに大體講究してゐる案につき各地商工會議所方面とも意見の交換をなしたるのち滿鐵に對し懇談的に問題解決をはかることになるであらうが案の大綱は目下のところ大體左の如きものとみられてゐる

卽ち消費組合並に購買組合は全廢する、小賣販賣は專ら市中小賣商が當るが仕入合理化のため輸入組合は滿鐵より現に融通を受け得る資金を以て(約二百萬圓)各地組合勘定において組合員の仕入額を纏め輸組聯合會において更にこれを單に綜合仕入れて配給の任に當る、而して販賣の公正をはかるためには輸入組合においても賣値標準を指定しこれが勵行を期するため陳列による價格表示その他の方法を講ずる一面滿鐵社員の便宜並に華商の侵略防止をはかるために滿鐵社員や官吏には各商店につき傳票掛賣りと月給差引制を持續する、なほかくの如くするも滿鐵社員の買値は從前より約一割の割高ならざるを得ないので滿鐵においては消費組合が從來配給し來つた生活必要品年額を五百萬圓とみてこれが一割五十萬圓を社員につき增給するといふことが一つの根本要件になつてゐる

理窟を離れて 霍田輸組理事談

本問題が起るのは種子が蒔かれてゐる以上已むを得ない勢ひであらう、然し解決は專ら滿鐵側が自發的に動かれゝば本當でない、この意味において我々は理窟をはなれ專らお願ひして懇談的に研究した、と思ふ、五十萬圓見當の增給といふか?これは突飛のやうに聞へるかも知れぬが、組合を全廢すれば滿鐵社員は以前より相當不利益になるから、これが是非とも必要だ、でなければ我々の案は骨抜きになるし、また滿鐵としても大局高所から見て、是非とも援助願ひたいものだ

根本方針から 中村常務理事談

この問題については意見を述べられない、抽象的にですか?元來滿鐵としては一方に輸入組合を助成しながら、反面消費組合を援助してゐるところに根本方針上の矛盾があると思ふ、なぜなら小賣邦商をもりたてゝやらうとしても消費組合が節約し大部分の購買力を別物扱ひにしてゐるからです、從つてこの問題もこの見地から具體的に愼重に研究する必要があると思ふ

吉林長春縣下に不思議な風土病
幼兒の間に流行する

吉林東洋醫院長から滿鐵衛生課長への通信によれば吉林、長春兩縣下方面に不思議な風土病が流行し益々猖獗の兆あり一日五十名もの患者が東洋醫院に押しかけてゐる該病は主に幼兒間に流行し死亡者も相當にある、特徵は腮部淋巴腺がはれて腫脹大となり四十度位の發熱がある、耳下腺には關係無いが下顎骨上行枝に固着した腫瘍あり全く例のない奇病である、なほ昌圖方面の猩紅熱調査のため同縣指導員の外に滿鐵地事及び衛生技術者から成る調査員を派遣した、千種衛生課長は語る

吉林方面の奇病については何とも斷じ得ない、蒙古診療の時なども得體の知れない風土病に遭遇することがよく有るが今度のもよく研究した結果を聽かなくては判らない、昌圖の猩紅熱は調査員をやつたからその結果に基いて防疫を講ずるが從來の例に見ても一般民衆が理解しないため飛んだ誤解を招き防疫が行はれない場合がよくあるのである

少女間に大流行

少女倶樂部新年號には和裝洋裝どちらにでも面白く衣裳を着かへさせられる人形が附録について少女間に大流行です、少女倶樂部はぜひ御覽下さい。

ドン底に喘ぐ四家族
大連署保安係の貧困者調査で 薄幸な人達が判明

病氣、失職のため餓と寒さにふるへながらドン底生活を送つてゐる憐めな人達にせめて正月だけでも溫かい年を迎へさせるといふので大連署保安係では此程各派出所に命じ管内貧困者調査を行つてゐたが十八日までに判明した貧困者は左の四戸で、何れも涙なくして見られない薄幸な人達ばかりであるので同署ではこれ等貧困者に對し各方面の篤志家から寄贈あつた金品を適當に分配する筈である

◇

市内日出町二番地川上シゲ(三七)さんは夫卯八(四三)が本年四月朝鮮近海に出漁した際暴風のため遭難、船と諸共押流されて行方不明となつた、爾來シゲさんは長男福長(一二)を頭に二人の子供を抱へ辛うじて生活中いて自分も産後の肥立ちが惡く目下入院中で、殘された子供三人は食ふに米なくこの寒さにふるへつゝ附近の人の情にすがり悲慘な生活を送つてゐる

◇

市内臥龍臺六番地中村ミツ(三九)一家は昭和三年八月主人死亡後長男の秀男(二二)が通信局に勤め細々ながら一家の生計を立てゝゐたが、本年十月杜と賴む秀男は某重大事件に連坐して入所し、次いで長女(一七)もフトしたことから詐欺罪で拘引されてより、一家は忽ち轉落、母は次男十四歳と三男十一歳を抱へて働くに職なく餓と寒さに喘いでゐるのを見兼ねた方面委員福田熊次郎氏の援助と家主井藤氏の義俠で家賃無料で辛うじてドン底生活に息づいてゐる

◇

老虎灘會西口漁村居住の中橋眞藏(五七)は妻と長女十一歳を頭に六人の子供を抱へ、働かうにも職なく、人の情けで干魚の行商などをしてゐるが到底一家八人の口を糊するには足らず、文字通り赤貧洗ふが如き生活を送つてゐる、三人の子供は現在嶺前小學校に通學し辨當、筆、紙等の給與を受けてゐる

◇

市内汐見町六番地森口松一(五六)妻ナミ(四九)といふ老夫婦は松一が去る九月多田工務所を解雇されて以來、妻が附添婦となり生活を立てゝゐたところ、昨今の不況で傭手もなく夫婦は徒食し家賃の如きも本年一月以來滯納、家主から立ち退きを強要されてゐる

少年團員が行商獻金
街頭で饅頭を

「これは私達が行商して儲けた金です兵隊さんに暖かいものを買つてあげて下さい」と十七日午後小崗子署へ少年團服を着た數名の少年が十圓三十四錢を持參して來たが、この少年達は大連少年團の伏見隊鳥居班の班長桒野和夫、原忠夫兩君の外次長木村好二郎、増子邦一、大地半三、高田朝友、木下實、小松保彥君等で約一週間前より各自二十錢三十錢と小使錢を集めあつてそれを資本金として同班の木下君方が饅頭商であるため同家より饅頭一袋六錢にて仕入れそれを十錢で暖かい饅頭を街頭で賣り歩いて得た元金取りまぜたものを悉く持參したものでこの涙ぐましい可憐な少年達の圖を思ふ純情さに同署の門脇警務主任もホロリとさせられた

吉敦線は旅客列車全通

吉敦線は十七日正午旅客列車のみ全通した、貨物列車は未だ復舊しない、蛟河を襲撃した馬賊は東北方に逃走したので敦化警備の支那兵四百は賊團の再襲撃を防禦するため威虎嶺に出動した【長春電話】

本郷區慰問使

東京市本郷區在住者をもつて組織されたる本郷區兵事義會では駐滿軍隊慰問のため同會理事松脇正雄氏同溝輔重男氏を慰問使として特派され兩氏は十七日入港宗港丸にて來連、十八日日本橋小學校長越智末一郎氏帶同のもとに本社をはじめ各方面に挨拶に廻り十九日奉天に向ふと

革工場爭議暴動化 姫路署員負傷

【姫路十八日發】姫路市外花田村北中野の革工場では豫て爭議中であつたが十七日午後七時頃爭議團員が爭議報告演說中一辯士は過激な言辭を弄したので警官が禁止した處聽衆村民が騒ぎだしこれに警官と村民の間に大衝突が起り遂に大暴動勃發し姫路署の宗久警部補以下十數名重輕傷を負ふ姫路署では飾磨、龍野兩署員の應援を得て目下市外市川を挾んで双方對峙中で鎭靜の見込なく慘憺の氣漲つて居る

外人密輸者保釋願 許さぬ意向

紳士を裝ふて多年に亘り滿洲を横行し麻醉劑密輸を行つてゐた外人密輸業者は大連署の活動で主謀者と見られる數名を檢擧、目下大連檢察局高井檢察官係で取調中であるが、彼等外人團の家族は寺島(辯)米岡、相川、澁田の各辯護士に保釋方を嘆願してくれと泣きついて來たので、各辯護士は十七日午後四時來連中の安岡檢察官長と面會、家族の意を傳へ放還方を嘆願した

しかし司法當局では多年に亘り我警察權を無視して日本人を表面に踊らせて裏面で巨利を博しつゝあつた不敵な密輸巨頭連であり、殊に遺族達は相當の生活餘裕を持つてゐるものばかりで逃走の虞れもあり司法當局では容易に保釋を許さぬ意向で去る十六日川畑豫審判官の令狀で引續き拘留してゐる

天潮丸遲る

十八日天津より入港豫定の天潮丸は汐待その他の關係で十九日入港に變更を見た

沙河口署司法主任轉勤

沙河口署司法主任豐増彥吉氏は十七日附を以て長春署轉勤を命ぜられ廿一日午後九時三十八分沙河口驛發列車にて赴任することゝなつたが後任には長春署より加藤俊秀警部補が來任すると

時局講演會

嶺前三區住民主催の下に十九日午後六時より嶺前小學校において實戰講話時局講演會が開かれ獨立守備隊歷戰將校の實戰談並に小川順之助、大内成美氏等の時局講演がある筈

永昌號判明

既報上海を出帆したまゝ行方不明と傳へられた永昌行所有永昌號について當地代理店より十八日午前の通報によれば同船は山東省石咀子に寄港してゐたものだ

金氏結婚

新大陸社の金三民氏は今回吳松江孃と婚約成り二十日午前十一時電氣遊園登瀛閣にて結婚式をあげ引き續き披露宴を開くと

天氣豫報

十九日 西の風 晴一時曇

各地溫度

	十八日午前十一時	十七日最低
大連	零下七、三	零下一一、一
旅順	同 四、六	同 一一、〇
營口	同 一〇、三	同 一七、五
奉天	同 一二、七	同 二〇、五
長春	同 一七、三	同 二四、〇

けふの小洋相場(正午)

金百圓は一八三圓九〇錢

暗流阿修羅館 (275)

生田蝶介　挿畫 藤井耕達

海へ（四）

「それで何と云ってくれた」
「あゝ、周太郎なら疾くに死んだと云ってやった」
「莫迦にしてゐる」
と周太郎は云って
「要は、それでどうした」
「そんな筈はない。と顔をひねってゐた。俺は、それでも、本當に死んだんだから、田沼に歸ってさう云へと云って追ひかへしてやった」
「ひどい、[illegible]」
「これ、[illegible]けるかな、陸上も、これでいよいよお見限りだ。どうだ一緒に來ないか。面白いぜ、尤も、一生俺をつけ狙ふのなら、當然ついて來るだらうが、今時、そんな實直な、馬鹿もあるまいけれど、そんな問題は別にして、もっとのんきな氣持で海へ來ないか」
「俺には女房もあり子もあるでな」
「そのことなら安心せえ、木母寺裏にゐたのだらう、俺が疾くに引取っておいた。だが女房子とえらさうにいふが、俺をつけ狙ってゐる間は、一度も家を省みなかったであらうが」
「田沼の殿の方からちやんとしてゐて下さるとのことで安心してゐた」
「馬鹿だな、田沼が何一つするものか。貴公は木母寺の焼けたことも知らぬだらう」
「焼けたか」
「恰度焼けた時、貴公の家へ居合せてな」
「ふうん」
「さあ」
と、新左衛門は立ちあがって帯を締め直すと身ごしらへをして
「貴公も用意したらどうだ」
と云ひながら障子をあけた。
「おゝ、降ってゐる降ってゐる。眞白だ。咫尺も辨ぜぬ程だ。美しいな、もう暮れるに間がないであらうのに、この明るさはどうだ。降れ、降れ！何物も埋めつくしてしまへ！」
と、さも心地よげに云った。
周太郎は、これも用意しながら
「したが、兄貴は何者なのだ」
と、心から不敵さうにきいた。
「石田治部輔三成の七代の孫、石田五郎成友。二代の祖氏成は母と共に父のあとを慕って、大阪から奈良の八木へ出て、初瀬、三本松を通って、伊賀國に入った頃は、關ケ原の戰も濟んでゐた。名張の町に落着いた時、この母子は、はっきり、大阪方の敗北を耳にし、治部少輔が伊吹山の麓で捕れたことも耳にした。が、京都に行かうにも、調べが嚴しくて滋賀にはどうしても足が踏み入れられなかったので、津の方へ出て、其所で暫く隱れてゐる積りが、母が旅の疲勞や心勞で發病されて十二の少年氏成は、そこで一人ぼっちになられた。津は港である。こゝで船大工の家に救はれたが、長ずるにつれて、徳川を呪ふ紹は燃えつのった。あとはくだ〳〵しい想像でわかるであらう。呪ひつゞけて七代目だ。が、その時分から海を相手の仕事だったが俺の三代前から一人前の立派な海賊になってゐた」
「海賊！」
「さうだ。音戸の五郎成、飛龍丸ともいふのだ」
「あの有名な飛龍丸！」
「飛龍丸、蒼雲丸と云はれてゐる藏のことだ。長崎の丸山で知り合ひになってな、同じ海賊同志、今では兄弟のやうなものだ。あれも一と芝居打って後は、飛龍の島に行ってゐる。金はそっくり、田沼に取られるのが嫌さに仕組んだ芝居。これも飛龍の島にある。海にもちと飽きたから、一つ天下を取ってやらう、それには七代の恨みも晴らさうと思って江戸へ乘り込んで見ると、もうすでに三宅島を領する宇喜多の一黨が江戸へ入込んで、天下を覆さうと計ってゐるらしいので、もともと同志見たいなものだから、俺が取るにも奴等が取るのも同じこと、暫くこっちで傍觀してゐると、船頭が多すぎて・・・・だらしのない許りか、遂には同志と同志で火のやうな爭ひをして到底このまゝでは百年たっても物にならぬばかりか取返しのつかぬ醜態を釀すので、これはいけないと、不憫とは思ったが俺が殆どを殺してしまった。中で正田能員と琴世、里路の三人はなかなかの人物ゆゑ生けてある。宇喜多の家寶であり、主權實である七個の夜光の珠もいまは皆俺の手にある。三宅島の宇喜多家も、これでいまは飛龍丸の領する所となってしまったのだ。さあ行かう」
飛龍丸は、雪の庭に飛び降りた。
と、わーッと起る捕方の聲、眞白く降る雪にそれとはっきり見えぬが、家をつゝんで無慮七八十人ちらちらと雪の奥に黒い影が近づいた。
「何だ！」
云ふなり、飛龍丸はさッと抜いて見構へた。（完）

武門血笑記

下村悦夫作　工藤義正挿畫

十九日夕刊から連載

作者の言葉

古いものが行詰った後には必ずそれに取って代るべき新らしいものが猛烈な勢ひを以て現出展開する。その大轉換期に臨んだ人間の態度や生き方！これは大きな興味であり問題であらねばならぬ。

そこで私は今からそれに就いて、明治維新の風雲を孕んだ幕末といふ大革命大變化期の舞臺を借りて、武士階級に屬する三人の若者を登場させ、彼らがその大轉換期に臨んで如何なる態度をとり、如何なる生き方をしたかを書いて見ようと思ふ。即ち、この一「武門血笑記」一篇である。

而も、この大きな興味と大きな問題！これは、幕末といふ遠い過去の話だけではなく、今以て生々しい現實性を有ってゐる問題であり興味である――と考へられる。御愛讀を祈る次第である【寫眞は下村悦夫氏】

キネマと演藝

常盤座の正月プロ　SPと提携

晝夜四回の大衆興行をなしつゝある常盤座では新春を期して陣容を一新し飛躍を試みるべく過般來小泉友男氏が上阪して活躍の結果、愈々SPチェーンと提携しメトロを除くSP封切洋畫を以て元日よりクラング發聲機により全發聲興行をなすことに決定し正月プロは左の如くである

▲第一週　パ社超特作品全發聲映畫エルストン・ルビッチ監督ジャネット・マクドナルド嬢ジャク・ブキャナン氏主演「モンテ・カルロ」十卷及びパ社提供コロムビア映畫特作品日本版發聲映畫田村幸彦氏翻譯ポール・ホフラー博士總指揮「アフリカは語る」十三卷

▲第二週　獨逸アファ社製作トービス社全發聲映畫山の巨人アーノルド・ファンク博士撮影總指揮レニ・リーフェンシュタール嬢主演「モンブランの嵐」十卷及びパ社全發聲映畫ウイリアム・ウエルマン監督チャールス・ロジャース、ジーン・アーサー嬢主演「若き翼」九卷

第三週は未定で時局の成行きを見た上でレヴュウ上演の計畫が進められてゐる樣子である

河合映畫　滿洲支社　支社長峯島氏

河合映畫九州支社では今回滿洲支社を開設することゝなり、支社長に峯島一郎氏を推薦し過般來九州支社顧問菅原義男氏が交渉中のところ、この程峯島氏の快諾を得て明春一月一日を期し營業を開始し積極的に滿洲進出を試みることゝなり峯島支社長の手腕が期待されてゐる

常盤座の正月興行のプロが第二週まで決まった、第三週は天下の形勢を見極めた上と愼重な態度をとってゐる▲不二映畫は日活配給が傳へられたので帝國館が上映の噂をなしてゐたところ▲今度はSPを通じて常盤座上映が豫想されたところ▲今朝歸連した峯島一郎氏の傳へるところによると愈々松竹で配給することに決定し▲滿洲は松竹大阪支店が配給するから當然中央館に上映されるものだと▲また月形プロは滿洲配給權を歐米映畫九州支社が持ってゐるが、これは双方の交渉が纏まれば常盤座に上映されることにならう▲さて正月興行の入場料であるが、從來の如き高率は先づ明春から影めなくなるだらうとお互に肚のさぐり合ひをやってゐる

本社特選　新棋戰（其四）

平手香交　五段▲齋藤銀次郎
先　四段△樋口義雄

【圖は七五銀迄の局面】
▲齋藤氏「持駒」角歩歩歩
△樋口氏「持駒」角歩歩

▲五五歩●　△六七金右
▲八六歩　△四六銀●
▲八七歩　△同歩
▲八八歩　△同銀
▲五六歩　△同金
▲四四歩　△七七金左

【土居八段講評】▲齋藤君は桂を利用して中央より攻撃準備を圖らうとの心算の下に五五歩と突出したのは經策である（其時樋口君は敵桂の働きを妨げ五筋を輕く豫防の目的で譜の如く四六銀と上ったのであらうも敵歩を殘し置くのは危險である。極力防ぎ切って指切り模樣にしやうとの方針の下に五五同歩と取って敵の仕掛けを待つ處である。

金輸出再禁止に際して謹告

今回突然の政變に際し、新内閣が財政々策の第一着手として金輸出の再禁止を斷行せられましたことは、時節柄止むを得ない事と存じますが、之に伴ひ諸物價が自然騰貴いたして參りますことも、また當然の趨勢として止むを得ない所と存じます。然るに當店におきましては目下歳末に際し、平素より豐富なる商品を擁して、從來値段の儘只管歳暮年始の御用意に萬全を期して居ります。今後と雖も、在庫品は申すまでもなく新規仕入品に就ても特殊の異變なき限り、飽くまでも在來の當店獨特の低廉なる價格を以て出來得る限り御奉仕をいたす覺悟で御座いますから、何卒御安心の上一層の御引立を賜りたく玆に特に御願ひ申上げます。

昭和六年十二月
大連　三越

1931年の大連經濟界を顧る……(2)

七月以降低落の一途 先安を見越して越年

滿洲事變や銀價の奔騰等に (中) 祟られた特產界

次いで九月、天候不良に早冷たる氣配強き折柄ハルビン安を入れたると、又官商筋の賣氣強で頓に軟勢に傾き、これに銀高、外商の賣浴びせ、南支筋の投物等が拍車を加へて各限何れも初旬以來安値に推移した、かゝる折柄十九日滿洲事變の勃發次いでイギリスの金本位制停止による磅爲替の激落で銀價は俄然五十三圓臺乘せの猛騰で一氣に十錢乃至十三錢方の慘落を示したがなほも金融難や出廻り懸念なしとの觀測から一般賣長に決河的慘落を遮つた、十月に入るや大勢安を賣られたる反動と奧地は匪賊の跳梁で出廻りが懸念せられ案外手堅かりしも、歐洲向商談渉々しからず、一方南支排日深刻化に日本船忌避せらるゝ等、これ等弱材料の續出に落潮滔々として當限は五圓二十三錢と一段安を示し大正十四年十月以來の安値に辿り落ちた。

……◇……

越えて十一月、外輪一服と奧地安を入れ、時局惡化の報に銀價の行先區々の觀測あり、又產地は匪賊の掠奪を恐れて出細り傾向より商談の圓滑を缺き取引の減少を來した、月初以來漸騰の一途を辿れる銀價は十一月五十八圓八十錢の高値に躍進したるため十一月限は四圓九十錢と五圓臺を割るに至つた、しかも輸出の不振と豆油の暴落で上値淋しく、且つ農家は換金急ぎのため、安全なる沿線近郊よりの搬出數量增加等の安材料を織込み、四圓七十六錢と去る大正十三年六月の安値四圓八十五錢に比し尚九錢方を下廻つた、十二月に入るや銀價の軟化で大體氣配も挺かりし、一高一低を呈せる折柄、果然若槻內閣總辭職、犬養新內閣成立、續いて金輸再禁止等矢繼早の材料で銀價は猛騰又猛騰、高値六十四圓臺を示現したるに拘らず極めて冷靜に十一日の如きは匪賊横行による賣物薄や南支筋の買長で却て強調を辿り變態相場を呈したが大勢は先安を見越されてゐる

……◇……

高粱、客臘來軟弱裡に越年したが初立會一月限三圓二十五錢に發會し、環境無材料に人氣添はず、商內も極度の閑散で昭和三年九月以來の不振を示した、一方銀價の暴落による金建運賃の割高で賣買の過半は輸送費に要する關係から奧地の賣控となり相場は案外手堅く、二月に入るも依然特異なく、只出廻り薄を氣構へて強調を辿り二十三日に行過ぎの反動として十錢以上下放れ九月末大保合を呈した、次いで三月中旬、山東筋の現物買で小旋せしも何分仕向地その他一般買作さて需要なく多くは大豆に伴れて進退し、中旬以降漸落を辿つた、四月上旬中は殆ど焦付商狀なりしが、月央頃邦商の買氣に上伸せるもアト買氣失せて材料薄で氣配もボンヤリした

……◇……

五月に入るも何分需要不振で凡調を辿り、六月初旬は銀安も無關心に軟調を示し、環境無刺戟に殆ど釘付商狀に推移したが、月央山東地方の小麥豐作の報を入れて、人氣は一段と離散し、下旬更に銀高と大豆の暴落に伴れて漸落した七月初旬依然大豆に伴れて奔落をみたが、月末上海、漢口地方の水害を入れ又奧地の旱天續きに作柄を懸念して一氣に奔騰した、然るに八月に入るや、奧地の降雨を入れて作柄案じも拭ひ去られて一時保合を呈した、アト長江水害を思入れて頓に硬化したが爾後仕手關係で下旬央まで浮動商狀に推移した、次いで九月初旬又復長江水害を強材料として強調をみたるも、その後大豆に伴れて一進一退あり二十一日奧地事變を入れて、四、五錢方上伸したるも、實需不振に加へて肝腎の南支向需要が受許期待薄となり下旬に至り漸落歩調を辿つた。

……◇……

更に十月に入るや水災地長江沿岸の需要は小麥粉の海外輸入等により補給の途あり同地向引合も期待外れとなり擱て加へて大豆の不勢に慘落を呈した、その後中旬迄通び相場となり、下旬大豆高に氣を得て各限とも一氣に十錢方上伸せしも月末軟化、十一月に入るも依然氣配緩く時恰も新穀季に直面し埠頭には月初三百車より漸增して月末六百車以上を算し、前年に比すれば約五倍の在荷であり、需要の不振と大豆安に伴れて低落の一途を辿り廿八日十一月限は二圓五十五錢と一段安を示し昭和二年七月安値二圓八十四錢を下廻ること二十九錢であつた、十二月に入るも需要思はしからず大體起伏商狀ながら出廻り薄のため金輸再禁止による銀價の猛騰を無關心に比較的冷靜を持しつゝある、今試みに一月より十一月に至る大豆、高粱先物出來高を示せば左の如くである。

	大豆(車)	高粱(車)
一月	一六、五〇五	一、三四〇
二月	一二、一二四	一、一二六
三月	一一、〇六〇	一、七二九
四月	八、五七五	一、二五一
五月	一〇、二三二	一、四七三
六月	七、六五八	一、一六六
七月	六、四三二	一、一六九
八月	六、六〇五	一、八四七
九月	九、七九二	一、六九一
十月	八、六二四	一、七〇四
十一月	九、三一四	一、四二六

特許制度を設けて 金製品輸出を取締る

近く省令公布 申請の細目

【東京十八日發】大藏省は金輸出禁止に伴ひ金製品輸出の特許制度を設けて金地金の合法的輸出を取締る事となり三、四日中にこれに關する省令を公布する筈で金製品輸出特許申請の細目は左の如くである

一、金を主たる材料とする製品又は金の合金を輸出せんとするものは次の要項を詳記した許可申請書二通を作成、所定積出日より二週間前に輸出港稅關を、又小包郵便により輸出せんとするものは最寄の稅關を經由して藏相に提出すべき

二、輸出せんとする製品又は合金の種類數量見積價額及び合金にありてはその正文に輸出者の住所氏名は商號

三、輸出先の地名及び荷受人の住所氏名又は商號

四、豫定の積出年月日

五、積出港

六、積載船名

七、輸出を必要とする事情、小包郵便によるものは前記四、五、六にかへるに差出局名豫定差出年月日に前項の物品、輸出せんとするものは輸出申告又は郵便物差出の際輸出局所を稅關又は郵便局に提示する事を要す

八、旅行者の携帶する手廻り品身邊裝飾品は乘船前現品を稅關より係に提示許可を得くる事を得

上海の綿糸布を滿洲で投賣

明年二月ごろまで續けば 相當脅威を受ける

日支事變後上海における日貨排斥の結果は財界各方面に重大なる波動を及ぼしたが、當地以來捌口を失つた在上海紡績業者がその後引續いて綿糸綿布を滿洲においてストツクしダンピングを行ひ在滿紡績會社に多大の脅威を與へてゐるに掲げられた綿糸綿布の昨年本年各月數量の對比を示せば左の如くである(單位梱)

	九月	十月	十一月
▲綿糸 昨年	三三〇	一三三	一四一
本年	四一八	一、一四六	二、七三〇
▲綿布 昨年	六七二	三五七	三三〇
本年	八二三	一四八	一、九一〇

即ち右の表によれば大連陸揚高綿糸十一月の如きは昨年に比べて數十倍、綿布も八倍餘に上つてゐるこの數量の大差に就いては本年は

上半期 の上海よりの綿糸布類輸入高は綿糸は五割、綿布は六割いづれも減少してゐた爲め當然下半期に至つて昨年より增加する數量も含まれてゐるが又排日の結果從來營口揚げにしてゐた貨物が大部分大連に廻つた增加數をも含まれてゐるからこの本年の輸入數量全部をもつてダンピングの

州內に 在る福州紡績會社、內外綿花はその製品を內地に送るもので特惠關稅によつて保護されてゐるので現在のところこの脅威から免れてゐるが、このダンピングの脅威を受けるものは滿洲紡績、奉天の紡紗廠である、試みに九月以降の上海仕出大連港

影響とは斷じられぬが、多量なるダンピングは事實今日まで續いて州外の紡績業者に脅威を與へてゐるもので、このダンピングの影響に よつて圓爲替下落以前には滿洲における綿糸相場は一割五分方下つた、右に關して奧田東洋棉花大連支店長は語る

本年は滿洲の紡績業者は早くストツクを捌きましたから今のところ大した損は受けてゐませんがこの上海のダンピングが來年二月頃まで續くやうなら脅威となりますれ、今もなほ上海のダンピングは續いてゐるやうです州內紡績會社は內地向のものですから問題はないのです、相場もこの爲めに一割五分方下落しましたが今は爲替の關係で恰度戻つたことになります

米國から 金塊逆輸入

【東京十八日發】九月二十一日英國金輸出禁止以來我國の米國への金流出額は三億三千四百萬圓に達し一匁五圓そこ〳〵の金が六圓二、三十錢に跳上つた折柄、十七日横濱入港の秩父丸で紐育ベーカー商會から東京某銀行宛八十三萬七千六百圓の金塊が逆輸入され到着と共に大藏景氣のお陰で十六萬圓儲かつた

五百萬元で 農產物買上

省內農民救濟で

支那側情報によれば臧式毅省長は省內農民救濟のため官銀號より五百萬元を支出し農產物買上げをなすと【奉天電話】

東新拂込徵收

一株十二圓半

東京株式取引所では昭和七年三月一日限東新株に對し一株につき十二圓五十錢の拂込を徵收すること

米國の金輸禁 我銀行方面懸念

【東京十八日發】市中銀行方面では日本の金輸出再禁止に伴ひ米國でも最近の產業不振、スチール株暴落、オランダ、カナダ等の再禁止說、輸出不振で遠からず再禁止斷行の懸念擡頭し警戒氣味である

製鋼所問題で

期成同盟會代表、伍堂理事訪問

滿洲時局問題を轉機として再燃した昭和製鋼所問題は政友會從來の方針より犬養內閣出現の今日、新義州にその敷地を決定するならんとの說專ら流布されてゐるので小川昭和製鋼所期成同盟會々長並に恩田委員は十八日午前十一時滿鐵會社に伍堂理事を訪問しその眞否を確めるところあつたが伍堂理事はこの質問に對し

曾つて政友會內閣當時山本滿鐵總裁は新義州を第一候補地として擧げたが當時より見れば時代は大分變化してゐる、依つて現內閣としても當時の山本案を必ずしも固持しないであらう、自分としては此際意見を述べる事はなるべく避けたいと思つてゐる

と餘り多くを語らなかつた模樣である

圓爲替軟調

【ニユーヨーク十七日發】本日のニユーヨークにおける圓爲替は軟調を呈し最終相場は四十二弗七十仙で前日最終相場より四十二仙安を演じた

東株市場 立會開始

愈よけふから

【東京十八日發】東株市場長短聯合委員會奔走の結果、いよ〳〵本日から立會を開始する事に決した なほ市場再開後の激動性に鑑み十七日長期取引委託及び本證據を變更增額し十八日から實施する事に決定した

大連商議に拓相から返電

既報の如く去る十六日大連商工會議所よりの秦新拓相に宛て拓務省存續方要請電を送つたが、十八日午前十一時半秦拓相より大連商議會頭に宛て左の如き返電あり、拓務省存置の確定を報じて來た

御祝電を謝す、拓務省は存置に決し拓務行政の中樞機關たる機能を發揮すべきにつき御協力を切望す、貴地諸君に宜しく御傳へを乞ふ

入江滿電專務 新任挨拶へ赴城

滿電專務入江正太郎氏は同社が新義州電氣會社に投資してゐる關係上監督官廳たる朝鮮總督府外關係方面に新任挨拶のため十八日午前九時發急行で京城に赴いた

支那地方財政 紊亂の例證(上)

浙江省財政狀態を觀る

茲に掲げたものは支那地方財政紊亂の一例證として、在上海某財政通調查にかゝる浙江省財政狀態である、最も富裕といはるゝ同省にして斯くの如くであるから他は推して察知されるわけである

浙江省 の財政狀態は民國五年(一九一六年)以來漸次歲出は歲入に超過するの趨勢にあつたと雖も、尚財源に餘裕を存し財政困難と言ふを得ざるのみならずこれを其他の各省に比し財政の基礎は却て鞏固なるものがあつたが民國十六年(一九二七年)國民革命軍の北上し來り國民政府を南京に定めたる以後特に浙江財閥の支持を受けたる蔣介石が政權を掌握して以來、浙江及び江蘇の地方財力を擧げて中央財政の犧牲に供したので、忽ちにして富饒を誇りし浙江省の財力も

窮迫を 訴ふるに至つた 而して張靜江が浙江人の浙江を標榜して省政府の主席たるに及びその抱懷する急進的積極主義を以て短時日內に浙江省を全國の模範省區たらしめんとしたるため省の財政は著るしく膨脹すると共に困難も加はつたが張靜江が省主席たりし間は、省の財政は中央より請求せらるゝこと比較的少かりしのみならず、往々國庫收入を地方の建設費に流用する事さへあつた、然るに蔣介石は張靜江が動もすれば中央の要求を拒絕するのみならず浙江財閥を使嗾して對宋子文關係を以て中央を抑制せんとするを忌み

張靜江 を全國建設委員會に祭り込み之に代ふるに老朽無能の湖北出身張難先を(現省主席)以てしたので「浙江人の浙江」を標榜するものは陰に陽に張難先に反對するに至つた而して、財政廳長には腹心の王澂瑩を任命したが、これ浙江省の財政を中央の欲する所に吸收せんとするにあるので、十八年二月張難先王澂瑩等が就任するや、浙江省の財力は殆ど

中央の ために、吸收し盡され、財政は日々に困難に趨き浙江省の地方稅收入に未だ借款の擔保に提供せられざるものは僅に地租收入を餘せる狀態に陷つた、而も地租收入さへ短期前借或は地租收入による償却を目的に借款をなし居れば借款の擔保に供せられずといふも程度問題にして唯河南省等の如く數年或は十數年後の地租收入を前徵せざるのみである、

塵

◇…黃金萬能の時代は愈々終焉に近づきつゝあるがその後に來るものは物の世の中となるべく世界の金本位制は今や斷末魔の悲哀にもがきつゝある。

◇…米國の金輸出禁止說について日本銀行當局は米國の金輸出禁止は對外的にはその必要を認めないが對內的に產業振興のため國內物價吊上策として考慮されるだらうと云つてゐる。

◇…しかし對外的には金流出の懸念は薄いとしても戰債賠償金が入らず貿易關係において不利な立場になるとこの儘では行けまい。

◇…ある外紙は日本の金輸出再禁止は世界的金平價切下げのトツプを切る前提なりと評してゐるが全く來るべき問題は國際的平價切下げであらう。

◇…更にその後に來るべきものは金銀複本位制の復活といふ順序になるのではないか。

◇…無論そこに到達するには未だ相當紆餘曲折を經ねばなるまいが現下の世界經濟行詰りを打開するにはこれより外に途なきかと考へられる。

市況(十八日)

特產 銀高を眺めて 豆と油軟調

今朝の定期は銀高を眺めて大豆、豆油は軟調を呈し豆粕高粱は保合を辿り賣物薄で取引は頗る閑散であつた

◇定期前場(取組)

▲大豆(軟調)單位厘 限月 寄付 高値 安値 大引 十二月末 一月末 二月末 三月末 四月末 [illegible] 出來高 百八十七車

▲普通大豆 出來不申

▲豆粕(保合)單位厘 限月 寄付 高値 安値 大引 一月限 二月限 三月限 四月限 [illegible] 出來高 五萬二千枚

▲豆油(軟調)單位錢 限月 寄付 高値 安値 大引 一月限 二月限 三月限 四月限 [illegible] 出來高 八千箱

▲高粱(弱保合)單位厘 限月 寄付 高値 安値 大引 十二月末 一月末 三月末 四月末 [illegible] 出來高 三十一車

▲包米 出來不申

◇現物前場(錢鈔)

	寄付	大引
混保大豆(袋込)	四八〇〇	四七六〇
出來高	八十車	
普通大豆(袋物)	四七一〇	四七二〇
出來高	十車	
豆粕	一六九〇	一六七五
出來高	三萬枚	
豆油	一一五〇	一一四〇
出來高	二千箱	
高粱	二七六〇	二七六〇
出來高	二車	
包米	出來不申	

定期喰合高(十七日)

		日對比前
大豆	四六九三車	△一五四車
高粱	一一一三車	三四車
豆粕	三六四二千枚	九七千枚
豆油	四一九〇百箱	四〇百箱

錢鈔 爲替安なれど 當市上げ澁る

今朝日米四十一弗四分一と(四分の三安)米日四十二弗六十二仙と(一弗三十八仙安)を入れたるも當市安人氣行はれゐたると標金強保合のため上げ澁つた、海外銀塊は區々、米英四十五仙四分の一(同事)滬申七十四兩三〇、滬洋七十兩八五、大洋百圓丁度

◇定期前場(單位錢) 寄付 高値 安値 引値 期近 [illegible] 出來高期近 五百五十八萬圓

◇現物前場(單位錢) 銀對金 銀對洋 金對洋 九時 十時 十一時 十二時 [illegible] 出來高(銀對金)五十四萬圓(銀對洋)三萬三千圓

株

東新の蓋明けは百六十圓十錢に寄りアト八九圓高を入れ當市は前日同値の百六十八圓五十錢に寄つた▲前日東新は閉相場乍ら當市は全國に魁けして立會を開始したがピツタリ今日の相場に合致したのは全く不思議な位の人氣の一致である▲當市の取引人は金儲けは下手だが相場をみるのは全く上手だ▲五品も昨今一日平均五百圓程からこの調子で續けば半期七萬圓程度の手數料收入を擧げてゐる年六七分は樂に配當が出來る勘定であるがサテ永續性があるかどうか

豆

今朝賣物薄ながら銀高を眺めて大豆は凡調を呈した▲賣細りの折柄とて取引は非常に少なく場面も閑散であつた▲渤海沿線の匪賊跳梁は幾度もいふことだが甚しくて出廻りも不振を呈してゐるらしい▲內地の農產物輸入關稅の引上げは新內閣で中止になるかの如く東電は傳へる▲實現すればこれに越したことはない內地の特產協會等呆倫せずと早速反對の陳情運動を起すべきでないか

銀

前日後場引際南京政府の金解禁說に標金高となり當市鈔票もこれにつれ軟弱氣配となり▲本日前場も安寄りしただ引際堅調に轉じた▲支那の金解禁說も何だか怪しいがよし解禁しても銀安材料と考へるは早計である▲理論的に言へば金高材料だが支那では金解禁により金の流通性が自由になつて初めて銀貨の需要が起る譯だから寧ろ銀高材料とみるべきであらう▲それに上海では今後圓賣りの弗買ひで標金と弗爲替の鞘は漸次縮小して行くから標金を基準として鈔票相場を考へてはならない▲東裕莊では首藤君の二千圓を筆頭に三崎、常深、山本君等四五百圓を軍其他に獻金し店員一同合計一千圓の赤十字加入を申込んだ▲儲けるだけが能でない良い心がけだ

糸

米棉情報は初め實需買ひに依り初め高かつたが其後株安と反動狙ひの賣り物で引緩んださあり▲現物變らず先二四ポイント安を示し印棉は三留比高大阪三品は各限二三圓擱安と反落を入れ▲當市は反動安見越しで小口新規賣りと利喰ひで相當手合をみた▲綿糸は金再禁止による訂正相場も一段落となり依然たる實需不振から早くも反落歩調となつた支那問題の解決を俟たなければ本直りは期待出來まい

株式

內地株引反落 地場株保合

北濱定期の寄は大株九十錢安大新一圓七十錢高鐘紡七圓安鐘新二圓六十錢安と軟弱を示し東京短期の東新は百六十圓十錢に寄りアト百六十八九圓と昂騰し引際六十一圓臺に反落を入れ當市は大新一圓高東新寄同事引六圓安鐘新寄三圓二十錢高引七圓安滿鐵新四五十錢高五品は三四十錢高新豆錢鈔は保合であつた

前場 ◇定期 銘柄 當限 期 先限 新豆(寄/引) 錢鈔(寄/引) 五品(寄/引/歩) [illegible]

◇延取引(單位十錢) 銘柄 寄値 高値 安値 大引 五品 新豆 錢鈔 大新 東新 鐘新 滿鐵新 [illegible]

◇爲替及受渡日歩 五品 新豆 錢鈔 氷新 東新 鐘新 大新 滿鐵新 爲替 受渡 代渡 代引 [illegible]

滿鐵株(昂騰) 東短前場 滿鐵新株 三十圓五十錢 大阪現物 滿鐵舊株 六十一圓五十錢

株式後場延刻

株式出來高(十七日)

定期	一、一六〇枚
延取引	三、七二〇枚
合計	四、八八〇枚
早受渡手形	一、三五枚
金額	一一、八一五圓

商品

麻袋氣迷ひ 綿糸低落

●麻袋 產地情報は靑筋一留比安錢筋八分の五安對日爲替二留比高と市況軟弱を入れ當市は氣迷ひ見送りの態で閑散

銘柄	約定期	値段	梱數
錢筋	一月限	二四、二	一〇
同	三月限	二三、五	一〇

出來高 二萬枚

●綿糸 米棉保合印棉三留比高大阪三品は當限同事なるも中先限一二圓安と低落しアト當限二圓八十錢安中限小一圓安先三三十錢安に引け當市は反動見越しで小口新規

埠頭在庫貨物

12月12日 (單位噸)

品目	本年ノ本日	昨年ノ本日
大豆 混保	209,3[illegible]5.4	99,[illegible]74.8
非混保		
白眉豆	13,887.9	6,4[illegible]6.7
青豆	6,639.4	6,458.0
合計	228,8[illegible]2.7	112,189.5
小豆	6,042.8	5,761.2
吉豆	1,[illegible]07.0	1,240.8
高粱	21,326.5	8,8[illegible]8.[illegible]
包米	4,438.0	4,328.9
大米	2,503.5	1,558.3
小米	536.5	438.8
麥子		4.4
蕎麥	877.2	403.9
芝麻子	391.4	29.4
大麻子	200.3	12.[illegible]
小麻子	973.8	414.[illegible]
蘇子	1,0[illegible]8.0	765.1
落花生	6,037.5	4,445.2
雜穀	1,[illegible]58.0	1,587.0
豆粕	64,045.6	27,5[illegible]5.9
雜粕	868.1	271.6
骨	127.6	208.7
豆油	1,497.4	1,158.8
其他ノ油類		
麥粉	2,758.1	3,529.6
燒酎	7.4	
セメント	1,221.1	3,529.6
鉄子	291.3	456.0

各地特產發送高

▲開原 大豆 一〇車 高粱 ― 豆粕 ― 雜穀 ―

▲四平街 大豆 一車 高粱 五車 豆粕 ― 雜穀 ―

▲公主嶺 大豆 三車 高粱 一車 豆粕 ― 雜穀 ―

▲長春 大豆 一三三車 高粱 ― 豆粕 ― 雜穀 五六車

大連埠頭到着高

大豆	一四五車
高粱	一〇車
豆粕	一四車
雜穀	六一車

奧地市況

錢鈔 奉天(現物/先物) 奉天大洋票(現物/定期) 開原(現物/當限/先限) 安東鎭平銀(當限/先限) 哈爾濱(大洋)(現物) [illegible]

特產 ▲大豆 寄付 大引 開原 哈爾濱 ▲小麥 哈爾濱 ▲高粱 長春 [illegible]

爲替相場

鮮銀(金勘定) 倫敦向電信買 紐育向電信買 上海向電信買 同 賣(銀買) 日本向電信賣(同) 同十五日拂買(同) [illegible]

手形交換高(十八日)

金 九三二枚 [illegible]
銀 四九〇枚 [illegible]

上海標金

寄付	六六六兩〇
高値	六七四兩五
安値	六六二兩〇
大引	六七二兩七

市場電報

銀塊及爲替

倫敦銀塊 同先物 紐育銀塊 孟買銀塊 スチール アナコンダ 英米爲替 米日爲替 米支爲替 [illegible]

棉花

●米棉 現物 十二月 一月 三月 五月 七月 十月 [illegible]

●印棉 ベンゴール ブローチ [illegible]

大阪期米 東京期米 神戸期米 大阪株式 東京株式 大阪綿糸 大阪棉花 横濱生糸 印度麻袋

[illegible]

賣りと手仕舞物があつた、

銘柄	約定期	値段	梱數
綿助	二月限	一一七四	二〇
同	三月限	一一八二	二〇
同	同	一一八〇	四〇
同	四月限	一二〇〇	一〇
同	同	一一九六	四〇

出來高 百三十梱

上海爲替情報

【上海十八日發】標金は現物の減少と中央銀行の買に昨日暴騰のあと押目買人氣にて寄昇高かりしも海外添はざるため爲替の氣配變らず弗一月三十四八分の一より三十三十六分の十五、磅十一片四分の三見當、一部銀行筋投機筋賣り、弗と標金の鞘三十兩以下に縮小したので福昌、大連筋の賣りに押したが中央銀行の買に再び上げた、中央銀行は弗賣り標金好く買つた

(明治四十年十二月五日 第三種郵便物認可)

滿洲日報

蘇家屯を目標にして東北軍進擊を開始す

打虎山に本據を有し張學良の參謀榮臻に指揮される强力な黃顯聲の率ゐる部隊は愈々榮臻の命令を受け該部隊を第九路に分け第一路より第四路までは北寧線北方を進擊、第五路以下は北寧線上東南方に向つて進擊を開始した、一路は三千乃至四千名の部隊で蘇家屯を襲ふて日本軍の後方を攪亂し一擧に日本軍を擊滅すべしと目下進擊開始中である【奉天電話】

我軍は治安の維持上遼西地方の匪賊討伐

わが陸軍當局聲明の內容

【東京十八日發】陸軍では北平にある張學良が日一日錦州方面に兵匪を集中し、其間兵匪と便衣隊を使嗾し滿鐵沿線を脅威し無辜の帝國臣民に對し危害を加ふる事頻出し抗日行爲を續けるので軍本來の使命に鑑み愈々之が徹底的排除を決意し、本日左の如く張學良の暴虐行爲に對する暴露聲明をなしたが、陸軍當局は左の如く語つた

滿洲各地における匪賊を多大の犧牲を以つてせる我軍の討伐行動により一時鎭靜に向はんとしつゝありしも、その後帝國軍が平和を顧念し錦州方面支那軍との不幸なる衝突を回避して忍び難きを忍んで一時遼西方面に對する討伐を自制中止せるため、該方面に殘存せる有力なる匪賊は舊政權に屬する錦州政府と相通じ最近に至りその活動は計畫的にて直接我南滿洲鐵道沿線を脅威攪亂する事を目的とし居るが如し、今や我軍は已むなく全般的に亘り特に遼西地方の匪賊討伐を決行せざるべからざるに至つた

錦州軍に對し關內へ期限附き撤退を要求

受諾せざる場合斷乎排擊

【東京十八日發】陸軍では十八日滿鐵沿線攪亂の匪賊討伐聲明を發すると共に本庄軍司令官に指令を發したので、本庄軍司令官は自由裁量で張學良に對し錦州方面支那軍の關內撤退を一週間乃至十日內に期限を附し要求する事になつた、若し支那側にして之を受諾せざる場合は直ちに之を排擊する事になり事態は重大化して來た

學良、錦州固守を命令

【天津十八日發】北平よりの確報に依れば張學良は錦州の榮臻に對し左の命令を發したと 日本軍の錦州襲擊は單に時日の問題である、日本軍來襲せば省政府を灤州に移し軍を以て飽くまで錦州を固守せよ

錦州學良軍の兵力

【東京十八日發】陸軍省着電によれば、奉天十七日發、錦州附近の狀況左の如し

錦州方面の部隊は正規軍三萬五千、軍砲三十二門、加農砲十六門と推定さる、その旅數は增加しないが旅の編合內の部隊數を增加し、或は部隊內の兵員機材を充實する等秘密裡に實力增强に努めてゐる、即ち獨立十三旅の六千は十一月末に一萬餘となつた、十九旅の衞隊連は團に擴張された、騎兵第三旅は三個團編成を六個團に擴張した、各部隊に最近迫擊砲を增加し關內より飛行機二臺を增加したが、故障の爲め使用に堪へぬ模樣である、通遼及びその西北方地方地區に活躍してゐる馬賊二千は最近遼北に進出した

閑院元帥宮殿下を參謀總長に奉戴

來る廿一日親補式

【東京十七日發】金谷參謀總長は十五日辭意を表明し近く後任の決定をみる筈だが南前陸相は假令交涉があつても絕對受諾せずと而して現下の時局は滿洲問題を中心に極めて重大だからこの機會に一層部內を一致團結鞏固にするため大參謀主義を執り閑院元帥宮殿下を推戴し奉ることは陸軍部內一致の希望だが荒木新陸相は十七日午前九時お召しに依り閑院宮邸に伺候し殿下に拜謁、退下したが殿下には右御親補を御承諾されたるやに承る

【東京十七日發】荒木、金谷、武藤三長官の懇請に依り閑院宮殿下には十七日午前九時半宮中に荒木陸相を召され參謀總長御就任の御內諾あつたと承る、依つて荒木陸相より陛下に奏請し廿一日左の通り親補式行はせらる

補參謀總長 元帥陸軍大將 載仁親王

免本職補軍事參議官 參謀總長 金谷範三

錦州軍の兵力十萬

【東京十八日發】張學良は盛んに兵匪馬賊を改編し目下滿鐵沿線及びその以西に約二萬三千、義勇軍約五千、純馬賊約五、六千あり、而して通遼西方には騎兵約八千名あり、更に錦州及び大凌河以東の正規軍、保安隊等五萬八千、計十萬である

少壯將校別働隊指揮

【天津十八日發】榮臻の希望により張學良は別働隊の指揮に當らしむるため在北平東北軍少壯將校下士を每日數十名錦州に送つてゐる、又張學良は無線電信機二十臺

犬養首相より滿洲派兵上奏

【東京十七日發】犬養首相は十七日午後五時半參內滿洲派兵の理由及び經費に就き詳細上奏した

か錦州、山海關、灤州その他の要地に增設軍隊を指揮してゐる

蔣介石氏下野經緯

【上海十六日發】蔣介石氏が下野通電を發するや當地公債市場は一時立會を中止し相場も多少低落したが後引戾して昨日と大差なく引けた、之は浙江財閥と廣東側との間に現狀で推移するにおいては學生運動を始め反政府運動は何時終熄するか見當がつかず、內政、外交共打開の途無し、依つて兎に角蔣氏の下野を實現し可及的速かに政情を安定するにしかずとの意見一致し右の旨浙江財閥から蔣氏に通じたのと一方上海南京の實力を握つた陳銘樞氏が最近廣東派の側に立つに至つたので形勢愈々非と觀て蔣氏も遂に投げ出す肚を決め愈々廣東派の南京入りに依つて內政は一應安定し且廣東派が政權の中樞を占めれば從來の關係からみて對日關係も多少好轉するであらうとみたため爲替市場でも政情不安に依る銀强氣分も薄らいだやうである

學良を中心として北方は獨立の形態

南京に對し一大敵國

【北平十八日發】張學良を中心とする軍事、政治、財政三委員會は兩三日中に成立する事となつた、委員は張學良、蔣介石の外、山東、山西の實力派及び安福系を加へ更に教育財界巨頭を網羅し北方要人全部を打つて一丸とし、黃河以北の北支全體に及ぶ權限を以つて完全な北方獨立の形態を整へて居り、南京政府に對する一大敵國を意味するものである

東北政治分科會昨日北平にて成立

北支那各省を統治

【北平十七日發】東北政治分科委員三十三名は昨夜推薦されたが張學良を委員長として明日成立する事に決定した、統治區域は河北、山西、山東、綏遠、察哈爾、熱河で尚右の外國民政府分會並に北方各政委員會も設置されるに決定した

學良も下野通電起草中

【天津十七日發】某方面の得たる最も信ずべき情報に依れば張學良は新に任命された北平綏靖公署主任を辭退する旨國民政府に電報すると共に下野通電を起草中である

滿洲總督制を布き初代總督に南大將

三長官會議を經確定

【東京十七日發】滿洲事變の一段落を機會として政府は滿洲總督若しくは滿洲都督制度を實現する方針を定めてゐるが陸軍では初代總督に軍事參議官南次郎大將を推すことに三長官會議を經て確定してゐる、南大將は二十日若しくは二十一日東京發滿洲に向ひ來月十日歸京の豫定である

【東京十七日發】南前陸相の渡滿は滿洲軍慰問旁々觀察を爲すとともにこの外陸軍中央部の重要使命が託され今後支那の新政權樹立に伴ふわが國の滿洲建設を如何にするかについて今回事變勃發以來責任者として擔當して來た同大將を煩はし觀察せしめんとするもので南大將の滿洲行は注目されてゐる

林森氏執務

【上海十六日發】南京來電、林森氏は本日午後三時國民政府第一會議室に各院、部、會長及び國民政府委員を召集し就任挨拶の茶話會を開き正式國民政府事務を執る事となつた

蔣介石歸省

【南京十七日發】蔣介石氏は午後三時二十分飛行機で鄕里奉化に向つた

政務官の初顏合

(前列右から)內務政務次官松野鶴平、文部參與官山下谷次、鐵道政務次官若尾璋八、犬養總理大臣、司法政務次官熊谷直太、農林政務次官砂田重政、商工政務次官中島知久平(後列右から)外務政務次官岩城隆德、海軍參與官西村茂生、農林參與官今井健彥、鐵道參與官野田俊作、陸軍參與官土岐章、文部政務次官安藤正純、大藏政務次官堀切善兵衞、陸軍政務次官若宮貞夫、海軍政務次官堀田正恒、內務參與官藤井達也、外務參與官高橋熊次郎、內閣總理大臣秘書官犬養健

九州部隊は廿三、四日頃出發

門司から乘船渡滿

【門司特電十八日發】滿洲軍補充部隊小倉野戰重砲第○聯隊、久留米混成第○大隊の將兵は山本少佐指揮官となり二十三、四日頃門司乘船渡滿の途に就く筈

錦州に在る外國武官

支那紙の報道

◇支那の新聞に左の如き錦州見聞記がある

◇只今錦州に居る外國の觀察員は佛獨英米伊の公使館書記官武官領事等で十人ばかりだ適當なホテルが無いので東北交通大學に宿泊して居る省政府も此中に設けられてゐる

◇觀察員等は北寧沿線の溝帮子、錦朝支線の北票、營口支線では大通支線あたりをあちこち視察し政府は人を派して彼等の接待員が北平からも來て大に歡待して居る

◇觀察員が隊長に所懷を質すと彼等はきまつて我等は命によつて日軍とは敵對行爲を執らない若し攻めて來たら退讓する退いて退くべき時なきに至れば已むを得ず戈を執つて自衞する假令日軍が進擊を停止しても我々は前進せず極力衝突を免れる筈だと答へる

◇觀察員は極めて熱心に各方面を視察し一々筆記し公使館に送る佛國の觀察員が最も熱心で書記官航空武官領事の三人が來て居る

閻、馮兩派に南下慫慂

【天津十七日發】支那側の情報によれば國民政府は徐永昌、宋哲元氏等に宛て蔣、張既に下野せるを以て北方善後處置に關し協議の要あり至急南下せよと打電して來た而して閻、馮兩氏に對し汪精衞氏より廿一日の第一次中央執監全體會議に出席方懇望し來り近く南京に赴くべく準備中なりといはる、然し一般では閻、馮兩氏は多分代表のみを派遣すべしと見てゐる

去るは寂しい

林總領事談

十七日歸朝命令に接し愈々ブラジル大使に榮轉となつた林奉天總領事はこの報を齎した往訪の記者に對し「それは意外だ」と前提して左の如く語つた

ブラジル大使になるなんて全く初耳だ、また何時もの新聞辭令だらう、自分自身としてはこの時局多端の折柄滿洲を離れたくはない、ブラジルといへば大變遠いところだ、滿洲と緣を切るやうになれば餘程寂しい氣持がする

滿洲に强い執着を持つ樣子が窺はれた【奉天電話】

樺太長官更迭

【東京十七日發】閣議決定事項

任樺太長官(一) 岸本正雄

樺太長官 縣忍 依願免本官

政府の豫算案に民政黨反對

庶民生活の脅威と

【東京十七日發】犬養內閣で決定せる豫算大綱に關し民政黨では十七日永井幹事長の名を以て左の反對意見を發表した

政府の豫算編成方針は前內閣の計畫した國民負擔の不均衡を公平にする意味の稅制整理を破壞し社會政策的意義を有する增稅を一擲する等恒久的財源を無視しその缺陷を公債に求め一時を糊塗せんとする政策を採りたるは驚くべき欺瞞政策にして財政の基礎を破壞したるものと云ふべく然かも公債政策に依ることのみを標榜して同時に減債基金の繰入れ中止を行ふが如きは必ずや公債の暴落となり且つ募債條件の不利益となり惹いて國民の負擔を增加し增稅以上の惡結果を招來するは火を見るより明かである、斯くの如き放漫なる財政と巨額なる公債の發行とは直ちにインフレーションを激成し金輸禁止の政策と相俟つて物價を暴騰せしめ庶民階級の生活を脅威し國際貸借を著しく惡化せしめ國民生活を危殆に導くことは必然である

帝國の重大立場上大決心を以て臨む

軍縮會議は半歲位かゝらう

門司にて 松井陸軍全權談

【門司特電十八日發】軍縮會議に臨む永野海軍中將、松井陸軍中將兩全權(佐藤全權大使は近くシベリア經由渡歐の筈)一行五十三名は諏訪丸で神戶から十八日午前十一時二十分門司に着いた、關門北九州各市長その他官民多數の出迎へをうけ午後四時からは門司クラブで盛大なる歡迎會が開かれる筈である、松井全權は語る

今度の會議は必ずしも陸軍が主といふ譯ではないが、特に陸軍が奮鬪しなければならぬものが多い、われ等の東京出發以來到るところで非常な歡迎と熱誠な見送りを受けた、それだけ國民の

期待する ものが多い事を察し、われ等の責任の重さこそを痛感してゐる、これまでも軍縮といふことは經濟關係から國內的にも叫ばれたこともあり、且つ日本は島國であるからこの島國を護るだけの軍備さへあればよいと考へた國民も多數あり外國でも左樣に思つてゐたのである しかるに今度滿洲事變が起つてわが國民の生命線が滿蒙であることこそを國民が自覺し列國もまたこれを認めたのである、しかも滿洲事件についてわが國の相手國は支那ばかりではなくロシアも陰に陽に策動して

相手國と なつてゐるが、わが國の相手國は支那、ロシア二國だけではない、滿洲事變について獨、英、佛、米その他國際聯盟の世界各國が嘴を容れてゐるではないか、即ち日本の相手國は世界列國となつたのである 日本の軍備もこれだけの覺悟を要する譯である、空軍問題も會議の重要なるものとなるであらうが、日本の空軍はもつともつと擴張しなければならぬ、こんどの會議には日本の立場が前述の如く世界的であるだけ非常な決心をもつて臨まなければならぬから相當迂餘曲折をれ

半歲位は かゝるだらう、無論滿洲問題も引合ひに出るであらうが、われ等は偏へに國民の非常な決心と辛抱强い熱心なる後援とを賴みとして奮鬪努力する決心である(寫眞は松井全權)

社說
奉天廣東兩派と北支反張派
北支の政權に關して

北平を中心とする十七日北平發の政局電報を玩味すると、頗る興味がある。第一に東北政治分科委員三十三名が、十六日夜推薦されたとある。誰が推薦したのか、電文では明白でない。南京政府の發表によるか、奉天側の發表によるかも、不明である。併しながら張學良氏を委員長とする點、及び同日附別電によりて、張學良氏が陸海空軍副司令を免ぜられて居る點等より見て、奉天派が南京政變に對する政策として、其の政治的勢力を北支に支持するを目的とするものであると察せられる。統治區域は、河北、山西、山東、綏遠、察哈爾、及び熱河と定められ、現在張氏の勢力の直接又は間接に及んで居る地方である。東北三省を除いてあるのは何故であるか。張氏はまだ此地方の治權を斷念したわけでもあるまいから、意味不明である。且つ之れが公的のものか私的のものかさへも不明であるのみならず、軍事的のものか政治的のものかも不明である。併しそれは支那のすべての事がさうであるから、敢て詮索するに及ばぬ。場合によりて、何れへでも向き得るものと考へてよい。畢竟此れは、奉天派の自衛策に出づるものと觀察される。卽ち此れは蔣氏の勢力と結合して新南京政府に對抗せんとするものと解せらる。

◇第二に張學良氏は、十六日陸海空軍副司令を免ぜられ、綏靖公署主任に任ぜられたとある。之れは南京政府からの公式命令に相違ない。但し此南京政府は蔣介石氏下野し、廣東派が乘り込むまでの臨時主席林森氏の主宰下にあるものである。蔣介石氏が下野した以上、陸海空軍司令部なるものも無くなり、總司令が無くなつたのであらうから副司令が無くなるのも當然である。辭表も出さないのに、寢耳に水だと驚くのは、奉天派の無理解である。支那では斯樣な場合には、だまつて居ても自然に消えて了うのが常であるが、それでは張氏の居場所が無くなるから、好意的に別に綏靖公署なるものを作つて之れに任じた。隨つて免任の辭令を必要としたのである。

◇但し綏靖公署なるものは、出し拔けに出來たもので、これこそ寢耳に水だ。如何なる權限を有するものか分らない。之れも支那では普通の事で、官署があつても官制のないものが多く、之れに當る人物の力量次第で權限が定まるのである。故に文官でも軍隊を持つたり、武官でも行政や司法を掌理する。而して別報によると、此綏靖公署の權限なるものは、邊防と剿匪にあるらしい。邊防と剿匪と云へば北平を中心とする中央地方の政權は無い。穿ちて云へば東北地方を取り返し、東北を以て匪賊跋扈區域と見做し、之を除去せよといふのであつて、學生連の請願たる、失地回復の重任を負はせたものとも云ひ得る。支那の事だから、それほど窮屈に解釋するにも及ばず、そこは實力次第の事だが、既に實力を失つた奉天派は、此くの如き解釋に壓せられざるを得ない。卽ち中央大官から地方軍官に貶ぜられたのであつて、且つ失地の失態を償ふ可く、罰を加へられたものと見做してよい。張學良氏が果して此の重任に堪へ得るや否やは疑問で、近く政府に辭意を出し、下野通電を出す筈だとも傳へられる。

◇第三には、北平に政治分會を設ける、準備中だとある。之れは廣東派の計畫で、廣東派の政府が出來てからの事である。政治分會なるものは、國民黨の中央集權的建前から見れば、變則的の制度であるが、支那の如き廣大な地域を統治するためには、寧ろ必要な制度である。且つ曾つて軍閥有力者が、各地に鎭座して居た事情の必要によりて、曾に此制度が採用されて居た。今度もそれを復活するのであらうが、其目的は、北方に一個の政治軍事の中心を置く事によりて（一）南北勢力の抗爭を緩和し（二）之れによりて張學良氏等の奉天派を壓迫し（三）南京の廣東派政府及び北平の政治分會派の聯合勢力によりて、蔣介石氏の勢力を壓迫する事にある。此電報によれば、政治分會設置は、擴大會議派（之れは汪精衛氏の改組派を主となし、鄒魯氏の西山派を加味し、天津で策動して居る）をして北方政局を收拾せしめる目的を有し、閻錫山氏を主席と爲すものである。

◇閻錫山氏は曾つて、改組派、西山派、馮玉祥派及び廣西派と結びて、北平に新政府を作つたそれが張學良氏によつて倒されたのである。且つ今度出來上る南京政府は、廣東派に改組派、西山派及び廣西派が、合流したものであるから、前述の如き成行きになるも自然の數である。序ながら目下別に段祺瑞氏を主腦とせんとする一の運動がある。之れは主として舊安福系の策動する所で、閻氏には、山西派の背景がある爲めに、馮玉祥（西北派）吳佩孚（直隷派）韓復榘等巨頭を打つて一丸とする大同團結の盟主たるに適せず、しかも此等の北方勢力の大同團結あるにあらざれば、大軍閥奉天派を抑へる力が足りないのみならず、對日交涉に際しても、學生團の無理解な激昂を慰撫するに足らず、又共產黨の勢力を抑へる事も出來ない。故に此の北方勢力の大同團結の爲めに、段祺瑞氏を推戴せねばならんといふのであつて、南方の西山派や、廣西派及び廣東派にも、相當の諒解が出來て居ると傳へられる只汪精衛氏一派の所謂改組派との諒解は尚不十分だといふ事である。

奉天省政府は民意に基いて成立
列國との親善には努力する
臧主席記者團に語る

臧奉天省政府主席は十八日午前十一時省政府において日支その他外人の記者團に對し左の如き挨拶をなした

今回私が省長に就任して新聞社の方と色々お話をして見たかつたのであるが、就任早々多忙でお話をする機會がなかつた、今日は御多忙中わざ／＼來ていたゞき光榮と存ずると同時に一言お話したい、それはこの度省政府が民意により成立することになつて今後は全省民のため福利增進をはからねばならぬことを痛感してゐる、各國との國交に關しては最も和平的態度で國交を篤くし感情の融和につとめたい考へである、今日來られた新聞社の方々は何れも大きな新聞社で平日より敬服してゐる次第である、これまで支那側の各官廳はあまり新聞社の方と聯絡をとつてゐなかつたため紙上に報ぜられたことは事實と內容と異つてゐる點が多かつた、今後はこれらの方々と機會ある每にお話を聞き聯絡し公正なる指導をお願ひする次第である

なほ十八日擧行される筈であつた省政府の祝賀式は政府首腦者の顏ぶれ揃はぬため二十一日に延期された【奉天電話】

奉天省政府の首腦者決る
第二第三兩科長復活

奉天省政府の各機關の首腦者は臧新省長の手によつて人選中であつたが十七日左の如く決定したやうである

最高顧問　袁金鎧
省政府秘書長兼財政長　趙鵬弟
實業廳長　梁玉書

尚趙欣伯氏の奉天市長、最高法院長、丁鑑修氏の東三省交通委員會長兼瀋海鐵路局長及び吳恩培氏の東三省官銀號總辦は何れも留任因に省政府內部の第二と第三の兩科を復活し事務の擴張をなすことになつた【奉天電話】

對米債務徵收猶豫
米政府で決定

【ワシントン十七日發】アメリカ政府は本月十五日ヨーロッパ各國の對米債務が支拂期限に達するため債務國の要求有る場合は徵收を猶豫することに決定したが、右に關聯しモルガン商會代表は下院經濟委員會において

ヨーロッパの何の債務國も十五日に期限の債務支拂ひのため金を預け入れてゐない

と述べたが、イギリス目下の財政狀態に鑑みモルガン商會がイギリス政府の依賴に應じて支拂のための金を借すや否やは明言を避けた

米國際司法裁判所加入案

【ワシントン十六日發】アメリカ上院外交委員會は年末の懸案たるアメリカの國際司法裁判所加入に關する決議案を愈々上院に廻附賛否の表決を求むる事に本日決定した

江口副總裁風邪で引籠る

江口滿鐵副總裁は風邪で十七日午後より星ケ浦社宅に引籠り靜養してゐる

準備庫監理官袁金鎧氏兼任

東三省官銀號、中國、交通、邊業の四行共同設立に係る準備庫の監理官は事變後今日迄缺員であつたが今回省政府最高顧問袁金鎧氏が兼任することとなつた【奉天電話】

朝鮮苹果の上海進出

朝鮮產苹果の上海進出は他の地方產苹果より古く認められてゐたがその後凶作其他の關係で不振狀態を續け滿洲產及びアメリカ物に壓倒され氣味であつたところ本年は革命的大進出を計畫し排日貨の惡時局を打開せんと意氣込んでゐると

滿鐵幹部恒久性で社員會運動を開始
中央要路に要望電報

旣報の如く滿鐵社員會では從來から掲げ來つた同會のスローガンたる滿鐵首腦部の原則としての恒久性確立並に現下の滿蒙の重大性に鑑みて現正、副總裁の更迭を不可とし三萬社員の意思に基き具體的運動を起すべく十七日午後より社員俱樂部において本部役員會を開催、六十餘の各地支部の返電につき協議を重ねた結果社員會の名を以て左の如き要望電報を中央要路にそれ／＼打電し目的の貫徹を期することゝなつた

滿鐵幹部の恒久性確立と時局の重大性に鑑み滿鐵社員會は全社員の要望に基き此際現首腦部の更迭なからんことを切望し、右特に懇願す

右電報發送先（總理大臣、松岡洋右、山本条太郎、內閣書記官長、衆議院議長、淸浦奎吾、阪谷芳郎、貴族院議長、樞密院議長、鐵相、藏相、外相、陸相）

排日ポスター寫眞帖
來る二十五日本社から發行

「世界の文明進歩は宣傳なり」とのスローガンを遠慮とした國民黨の排外工作は遂に打倒日本となり排日、侮日となり滿洲事變を產み、本社は其等排日のポスター、傳單、書籍、雜誌の類を蒐集し展覽會を開催したところ各方面から是非廣く一般に知らしめるやう工夫して欲しいとの希望があり今回時局排日ポスター寫眞帖として本月廿五日から發行することに致しました、內容は四六倍、九十六頁に百八十餘種のポスタービラ書籍等の寫眞を優秀なる本社のオフセットで印刷にしたもので日本がいかに今日まで隱忍して來たかいかに日本は侮蔑を受けて來たかが判り時局記念として又支那硏究の資料として江湖の參考となることを確信します愛讀者に限り定價金三十五錢です

滿洲日報社

卸賣市場問題急速に解決
關東廳の態度決定

小川大連市長は十七日關東廳に三浦局長日下殖產課長を訪ひ、同市多年の懸案たる中央卸賣市場問題に關して熟議したが、その結果關東廳では今回斷乎實行の腹を決めた市當局の態度を諒として近く市場行爲取締に關する廳令を公布することゝなつた模樣である、從つて小川市長も今後卸賣人の保證金問題その他の內部的問題を急速に處理する筈であるが、ことゝ中央市場問題もいよ／＼實現近きにありと觀測されてゐる

勅令公布

【東京十七日發】樞府本會議は陛下御親臨の下に午後一時半開會、銀行券の金貨兌換並に引替に關する件御批准奏請の件を滿場一致可決、終つて陛下には午後一時五十分還御本會議は午後二時散會したので依つて政府は持廻り閣議で勅令公布の手續を採り卽日勅令二百九十一號を以て公布された

西園寺公小康

【興津十七日發】西園寺公は十七日午後二時勝沼博士の來診を受けたが熊谷執事は語る

風邪から氣管支加答兒を併發し一時發熱も三十七度（平熱三十六度二）に上り咳も激しかつたので憂慮されたが十七日朝から小康を得てゐます只今濕布をして靜臥中です

朝鮮各私鐵の買收は必要
大村鐵道局長語る

【京城特電十八日發】朝鮮鐵道局では交通體系の整備と私鐵の經營並に補助法に關し打開策を種々講究中であるが、私鐵買收費六千萬圓を七年度以降三ケ年繼續事業として計上し大藏省との交涉を重ねつゝあり、新內閣の積極的政策により或ひは實現するものと見られてゐるが右につき大村鐵道局長は語る

朝鮮における鐵道が國策の樞要地位を占めてゐて、私鐵は國鐵の不備を補ひ國は私鐵の買收を爲すべき使命を持つてゐる、私鐵從來の業績及び補助金から見て買收は刻下の急務である、その總投資額は八千八百萬圓に達して居れば全部の買收は不可であるが三分の二位の買收は止むを得ない、又一時に買收することは公債發行上困難であれば三年間に分つて補助期限の滿了期の近い線或は國鐵に併行接近線から順次買收の必要がある、私鐵補助は八分であり、買收による公債は五分で發行、六分の利廻りとみてもそれだけ國家の利益となる譯である今後或は公債が七分程度に騰り私鐵買收の價値が幾分減少する立場に至るやも計り難いが何れにしても私鐵の買收は必要である

趙市長放送

[illegible]民の出現、正式政府成立の立役者を演じた趙欣伯市長は十九日午後九時「奉天新政權について」と題して日支兩國民に對しラヂオを以て自己の忌憚なき意見を[illegible]

第一線に立つ滿鐵社員 (11)
今後展開する特產爭奪戰
十一日ハルビンにて　五百旗頭佐一

九日チチハルに入り、十一日足を轉じてハルビンを訪ふ、この間チチハルで國際の入江氏には時間の都合で會ふことが出來なかつたが、偶然の機會からチチハル驛館主任大貫與十氏に短時間ながら話を聞くことが出來、更にハルビンで國際の前田重雄氏に會つて一層この地方の動きについて色々な教示を與へられた。

◇齊克線、中東南部線共特產の出廻りを見始めるのは十一月末から十二月初めにかけてであるため今のところ時局から受けた影響は洮南、鄭家屯に比すれば非常に少い。從つてまた馬占山部下の手によつて行はれた齊克線鐵橋の破壞も直接經濟的には大した被害も與へなかつたが、十二、一の兩月に一年の出廻りの約七割を扱ふ齊克、中東西部兩線にとつては今後の時局の推移は相當重要な問題であらねばならぬ、勿論現在においては馬占山軍の不安定等から馬賊が相當に活躍し先日も滿溝において大擾亂を行ひ目下のところ西部線における持込も至つて閑散であり、齊克線また同樣の狀態で前年今ごろの泰安鎭には約二千貨車の滯貨を見たが今年は皆無であるといはれてゐる、然しこれ等は總て時局の一時的現象として當然のことであり時局の安定と共に更により鞏固な、より好い新政權の確立を見れば兩方面の農民達に舊に倍した好況をもたらすことは必然のことでこの點に關して同地方の特產商は新政權の成立に非常な期待を持つてゐる。

◇齊克線が泰安鎭まで開通し貨物の輸送を開始したのは昨年三月からであつたが前年度における齊克線出廻り特產物は克山、拜泉を中心として約一萬二千車、卽ち約三十六萬噸であつた、克山における特產物はその全部を泰安鎭に吸收されてゐるが、拜泉よりの出廻り品については昨年來中東安達驛と猛烈な競爭をつゞけてゐるのである而してこの齊克線の强敵中東西部線に持込まれる特產物は年約百萬噸に上つてゐるがこゝに最も注意を拂ふべきことはエキスポートフレープが同線持込で買込む大豆の殆ど總てはこれをシベリア經由の陸送によつて歐洲に運んでゐる事實で何れにしても西部線安達に持込まれた特產物で今春來南下したものは一輛もなく從つて齊克經て滿鐵に廻る貨物と、西部線に廻る貨物の爭奪戰を中心に開かれる滿鐵、中東兩鐵道の經濟戰こそ最も華々しいものでなければならぬ、然らば本年の出廻り最盛期においてこの拜泉を中心とした爭奪戰は何れの勝利に歸するであらうか、この點に關して其消息通は語つたのであつた「結局それは双方の政策如何できまるんだね」なほこの方面における取引は總て哈大洋によつて行はれてゐるため例の黑龍江省官銀號閉鎖は大した影響は與へてならぬやうだ。

◇ハルビンの油房は相當活躍をつゞけてゐる最近一日の製產高は五萬枚であるが各特產商共大豆の[illegible]內貨は相當に苦んでゐるやうだ安い廿六七圓臺次に買付け手當は三十五圓臺にまでなつて行つた、東部線一面坡方面はハルビンに比し豆價が一布度四五錢の安値を唱へる奇現象を呈してゐるため最近の東部線は[illegible]である

一錢運動を起せ
松村識

（投書歡迎　十行以內）

◇酷寒零下三十餘度の滿蒙の曠野に身命を祖國に捧げて暴戾なる兇匪に對し正義の利劍をふるふ日東男子の壯烈なる氣慨を憶ひひるがへつて不幸敵彈に傷き或は勇戰一心暴虐なる敵兵の膺懲を誓ふ一念に自己五尺の肉塊の存在を忘れたる餘り慘然骨を碎く寒氣の冒すところとなつて恐るべき凍傷にかゝり悲憤刻々肉塊をきざみ行く兵士の悲壯なる姿を見る時、誰か起つてこれ等勇士に一錢を捧げざる者あらんや。

◇一錢と笑ふ勿れ、日本國民九千萬のこれ等貴き犧牲者に捧ぐる一錢の力たるや正に九十萬圓と云ふ莫大なる金額となつて表れるのである、再び起つて生活の道にいそしみ得る兵士はこれを暫くおき、起つて再び生活の資を得る事得ざる重傷の軍人は現在のところ九千人を出すこと多くはないと思ふ。

◇重傷の人といへども其の境遇に現在將來の生活狀態を考慮してこれに配分する時、自ら其處に一人に對して少くとも一萬圓內外の金額を送る事が出來ると考へる。

◇如何に身軍職に在りて祖國を保護する義務を負へる軍人といへども、祖國と九千萬同胞に對し暴虐なる魔手を一指だも染めさせず、恐るべき危難より救ひたる血の樣な奮鬪力戰の果、更に過重なる傷害の負擔を、今後「名譽の負傷」として後半生を擔ひ行くのである、此の重荷の一端でも力をそへて輕減してやるのが吾々九千萬國民にとつて當然果たさねばならない義務であり、恩義を知る者の心とすべきではないでせうか。

◇而も吾等が果す力は一錢である、そして一人一人の此の苦痛ではない力が、實に九十名の貴い戰士の將來の生活を支持する偉大なる力を有するのである、大連人士よ、先づ起つて一錢を醵せよ、そして九千萬同胞の一人も殘さざる協力を叫ぶ烽火を擧げよ。

東北地方の凶作救濟策

【東京十七日發】農林省は東北、北海道方面凶作救濟の爲め七百萬圓の低利資金を融通する外別に非常手段として應急對策を施すべく目下調查硏究中である、その方法としては大體古米碎け米を安價に[illegible]て整理賣却するの方法を採るものと見られ農務局に於て調査を急いでゐる

中野東拓理事

朝鮮に駐在する東拓の理事中野太三郎氏は視察と要務のため十八日午前着連、中澤大連支店長の案內で市內各方面を歷訪挨拶する所あつたが氏は二十日當地滯在の筈

ばいかる丸船客

【門司特電十八日發】二十日大連入港豫定のばいかる丸主なる船客諸氏

關東軍囑託豫備少將岩井勘六、步兵大尉坂井豐吉、會社員中西延次、山崎義正、田山停雲

關東廳辭令（十六日付）

任關東廳技手　從七位勳七等　高木正七
敍正七位　越智繁男

人事

▲ギボンス氏（米國武官）十七日午後八時着列車にて來連ヤマトホテル投宿、十八日夜行にて日本へ奉天朝鮮經由にて歸
▲永井卯吉郎氏（陸軍大尉）ギボンス氏と同行同上

大觀小觀

こんどの政變に伴ひすぐ考へられたのは例の「滿鐵幹部恒久性」の問題だ▲いや單に「恒久性の問題」といふよりも其「恒久性」を具體化すべき「運動」に關する問題だ▲それについて奉天の「日本人會」と、そして滿鐵の「社員會」が早くもその第一聲をあげた▲中央各要路に對し「滿鐵現首腦者の不更迭」を電請したのが卽ちそれだ▲素より在滿邦人の大部分は「滿鐵幹部の恒久性」につき原則として殆ど反對はない▲したがつてこの「滿鐵現首腦者不更迭」の電請にしても無論「恒久性」を主張する人々の當然の措置として今更特に不思議は感じない▲しかもそれにも拘らずこの「滿鐵幹部恒久性」に關する「運動」なるものが具體的に果して何の程度の「確信」をもつて努力され、或は努力されんとしつゝあるかといふ事實に至ると甚だ疑問なきを得ない▲といふのは今の所この「運動」は未だ單に中央要路に對する「在滿邦人」の「懇願」といふ以上には出て居ない故かも知れない▲言葉を換へて云へばこの問題に對する「在滿邦人」若しくは「滿鐵社員」の所謂「總意」なるものが單に「無暗に動かされては困る」といふ程度に過ぎず▲若しその「總意」が時の政府に「無視」されるやうな場合、これに對して一體何う云ふ態度を執るか、といふ所まで行つて居ない故かも知れない▲今後果してこの「問題」がそこまで發展するか何うかそれも未だ疑問だ▲理論ではその「可否」が充分判つて居りながら具體的の「運動」となると實際却々難かしいのがこの「滿鐵幹部の恒久性問題」だ▲「この冬もつい無精すなり南寒法[illegible]」一多狂夫」か。

市況（十八日）

株式
滿鐵五品高
東京五品廿圓

東京市場の五品二十圓臺を入れて當市の五品も十三圓臺から十六圓臺まで昂騰したが引際東新安と利喰ひ押されて十四圓臺に引けた、新豆は九十錢高、東新は一圓高に寄りアト高値は三圓五十錢高の五圓臺をみせたが引際一圓臺に呆けた滿鐵は六十錢高の三十圓十錢へ新高値に止めた

後場

◇定期

銘柄		當限	先限
新豆	寄	—	一七五
	引	—	一七五
錢鈔	寄	—	一九九
	引	—	—
五品	寄	一三四	一三五
	引	一三五	一三七
	歩	一三五	一三六

◇延取引（單位十錢）

銘柄	寄値	高値	安値	大引
五品	一三三	一五〇	一三三	一四四
豆	一二三	一二三	一二三	一二九
鈔	一九七	二〇三	一九七	二一〇
錢新	九〇	九〇	七九	七九
大新	一六五	一六八	一六八	一六八
東新	九〇	九〇	九〇	九〇
鐘新	二九〇	三〇一	二九〇	三〇一
滿鐵新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

特產
依然銀高で大豆續落

後場の定期は銀價高に[illegible]したので大豆は續伴れて軟調に[illegible]合を示した

錢鈔
時局を案じ當市昂騰

上海標金は强保合を入れたるも錦州方面の形勢を案じて當市昂騰す

商品
麻袋弱保合
綿糸軟弱

綿糸　大阪三品大引は前場寄に比し當限三圓揃み安中先一二圓安を入れ當市は利喰物で小商內があつた

市場電報

大阪株式

銘柄	後場寄	後場引
大株	八五〇	八六五
大新	八二八	八〇一
紡新	一六〇〇	一一八〇
鐘新	一〇一六	一一九〇
糖	四六九〇	不申
日郵	四五七〇	四五七〇

神戸特產

銘柄	値段
大豆現物	四〇〇
大豆先物	三一〇
豆粕現物	一一三
豆粕先物	二四五
滿洲小麥	三八〇
豆粕現物	二〇〇

お正月のお化粧 ふだんの手入れが肝腎
それでは何うすればよいか ご注意を一つ二つ

▼…あと 十日あまりでお正月になります、お正月にはどなたも一般に盛裝に厚化粧を遊ばす機會が多うございますが、普段のお肌の手入が出來て居りませんでは到底立派な御化粧姿がいたしません、で日常皆様の御顔の御手入なり御化粧なりを見聞いたしまして氣がつきました點を二三申上げます。近頃は一般に水白粉をお使ひになる方が多くなりましたが、水白粉は長くお使ひになつてゐるうちにはすつかり水分がなくなつて底の方が練白粉のやうに濃くなります、すると大がいの方は又これに水を入れて瓶を打振つてお使ひになるやうですがお化粧から申しますとこれは

▼…禁物 で、寧ろ薄めないでそのまゝ襟におつかひになつて頂きたいのです、元來水白粉の中の水分は決してたゞの水ではなく有効な化粧水でとかしてありまして、中でも脂肪を除くためのアルコール分などは最も早く蒸發してしまひますから水でうすめたのではとても完全な効果はありません、ある方々を見ますと「私はこの練白粉が一瓶あると一年も二年も使ひますよ」と誇らしさうにおつしやる方もありますが、私から申せばこれは化粧を語る

▼…資格 のない方で半年も一年も經つてボロボロに乾いた練白粉を水溶きしてお用ひになるのでは到底白粉ののりのよからう筈もなく、あのザラザラした白粉で撫でまはされたら肌もいたむに極つてゐます、ですからあまり白粉をお用ひにならぬ方はなるべく最の少い小瓶をお求めになるやう、經濟だからといつて二年も三年もあるやうな大きな瓶をお求めになるのは却て不經濟でございます、白粉だけでなく石鹸も

▼…最初 のうちは大へん肌によいのですが長く空氣に曝されるうちにはいろいろな化學的變化を生じてお肌を荒すことがありますから、最初半分か三分の一位お使になつたらあとは身體や手足を洗ふのにお廻しになつた方がよろしうございます、タオルにしましても度々使用しますと次第に布の質が硬くなりますから、質のわるい薄い十五錢かそこらの安タオルにして時々新らしいのと取かへて頂きたいものです、御入浴は大變結構ですが

▼…お顔 をタオルでゴシゴシ擦つたりなすつてはいけません、それから毎朝の洗顔ですが、特別によごれてゐない限り美容上からは朝の洗顔を御とめしたいと思ひます、顔をあまり洗ひすぎますと却て脂肪の性があらくなつて肌をあらします、殊に冬あのつめたい水で顔を洗ひますとどうしても小皺がふえてきたなくなります、不精のやうでも口だけすゝいで油性クリームを顔中に塗りよごれた脱脂綿で拭きとり、更にあとを蒸タオルで丁寧にふきますと決して氣持のわるい事はなく皮膚が軟かに

▼…彈力 があつて所謂餅肌になります、で日常の御化粧としてはや、濃目の方は水白粉を何べんも何べんも塗つて仕上をなさいますとなかなか化粧崩れがいたしません、職業婦人や年増の方の化粧として中性クリーム(バニシング、クリーム)に粉白粉を少しまぜておつかひになるのもごく簡單で長もちのするよい方法です。(德永千代子さんの話)

新年懸賞寫眞募集

課題 『新春』 滿蒙を背景にしたもの
印書 八切以上(臺紙に貼附せず裏面に書題住所姓名撮影場所を明記)
締切 十二月二十日限り
宛名 本社編輯局(應募印畫は返却せず)
賞金 一等一名五拾圓、二等一名二十圓、三等六名五圓

滿洲日報社

子供に喜ばれる マシマロケーキ
斯うして拵へます

錦州軍の兵力增大して飽くまで皇軍に抵抗の態度を示して風雲嶮しく老も幼きも擧げて國難に殉じやうとの緊張した氣分がどこにも充ち滿ちてゐますが、しかし近づくクリスマスを前にして年に一度のメリー、メリー、クリスマスを待ちこがれてゐる嬉い子供たちを落膽させたくないと心をいためてゐるママさん方もおありでせう、そのやさしいママさん方に、つゝましくさゝやかなクリスマス、イヴをお迎へになるやう、お子たちによろこばれるマシマロケーキの拵へ方を御紹介しませう

▲材料=ゼラチン大匙一杯、卵白味三個分砂糖大カップ一杯、鹽少々、ヴァニラ小匙半分、粉砂糖適宜

▲調理=淺ひ燒皿にバターを一面に敷粉砂糖を振りかけて用意しておきます、ゼラチンを大匙二杯の水に浸し水が充分しみ込むまで浸しておきます、別に分量の砂糖に熱湯カップ三分の一ほどを加へて火にかけ、水に一二滴垂して見て軟かい球が出來るまで煮ます、前のゼラチンにヴァニラ香料を加へこれを砂糖を煮とかした中に入れてかきまぜ一二分間煮て火から下します大きな丼に卵白味三個分を割り込んで泡立器で充分泡を立てゝ前にまぜ合せたものゝ中にかきまぜ乍ら加へます、これを最初に用意した燒皿に三四分の厚さにあけて上に粉砂糖を一面にふりかけそのまゝ一晩置きます、固まりましたら小さい角に切つてもう一度粉砂糖にまぶして供します、マシマロを燒皿に流し込む前に胡桃の細くくだいたのや、干した無花果や乾葡萄を混ぜると又別な風味があり、切つて砂糖をつける代りにココナット又はチヨコレートにまぶしてもおいしいマシマロが出來ます、又食紅や抹茶で色をつけて盛合せると大變綺麗です。この菓子はクリスマス、ケーキとして西洋の家庭でもよく用ひられます

冬の歩行には充分注意を
規則通り左側通行のこと

大連市では毎月十日を交通安全デーとして警官が交通整理を行ひ市民の交通訓練につとめ漸次効果を擧げてゐますが、これからお正月のお買物に人出が多くなり交通事故も従つて頻發するでせう、石井大連警察署長は右に關して次のやうに語りました

最近では市民も交通訓練が大分できて割合に事故も少なくなり大へん喜んでゐますが、冬になりますと降雪のため道路は氷で……どで耳を防いでゐるため、自動車などのサイレンが聞えなかつたりして事故を起します、道路も規則通り歩道を左側通行していたゞけば事故も起らないのですが中には車道を、ひどいのになりますと四つ角の所を斜にわざわざ遠道して橫切つたりするのを見ますが、まことに危險な事で、道路を橫切るにしましても、できるだけ短距離の路を選んで素早く橫切り、できるだけ交通事故を防ぎたいものです

菊池寛氏の半生

高師を追はれ明大を退學一高から京大へと曲折を極めた學生々活から文壇に出る迄の自敍傳『雄辯』新年號にあり、小說以上の興味!

空箱で立派な安樂椅子

文化住宅の多い大連では應接間にソーファを多く備へてゐるのですがこのソーファも家具店に注文いたしますと高い費用が掛りますがこれも工夫次第では廢物を利用して立派なソーファが出來ます、好みの大きさの空箱を四つ程とゝのへ各箱の上部を一枚取り去りますと四隅に足が殘りますからこの足を鉋で削りこの上好みの色でペンキを塗りこれを上下にひつくりかへして四つを並べ動かないやうに釘で打ちつけます、この上に同面積の寸法で、お蒲團を拵へておきます、この箱の周圍も足を一寸隠かせる程度に蒲團と同じ布で包みます、この箱の周圍の布も上部は天竺か何かの安い布で被ひますと安く出來上ります、周圍が出來上りましたら上に前作つたお蒲團を乗せますと立派なソーファーとなります、これに薄い蒲團を拵へその上に例の蒲團をのせますともつと心地よいソーファとなります

㊀ドウカ ムカフギシ ノラマベウ ノ 一バン トシトツタ ボウサン ヲ ヨン デキテ ト イフ

㊁ボウサン ニ ヒト コト「スロコトヌサ ホナポッシ」ト イ ツテ ミヅウミ ヲ オガンデクダサイ

㊂シンセツ ナ タイ チャンハ ラマベウ ト イハレタノデ キフ ニ アーンア ーントナキハジメテ

㊃キナクナツタ オウ チノモノヲ サガシ ニ ラマベウ ヘ ユク コト ヲ コ ヒ ニ ハナシタ

冬期の婦人服と子供服 (下)

永井ツル

子供服

次に男女子供服は既に洋服に改善されて居りますので、改善された洋服が何れだけ價値附けられて居るかと云ふことを、保護者教育者或は子供自身の立場から

イ、子供の發育及び自由活動に適するか
ロ、衞生的及經濟的であるか
ハ、服裝の持つ教育的價値があるか

以上の見地から考へます時、遺憾ながら洋服の價値を裏切る多くの點を見出すのであります。

イ、子供の發育の爲には子供に合つた服を着せることが第一要件であります。小さくなつて窮屈な洋服、大き過ぎて中で體が踊る様な洋服が共に子供の精神に及ぼす影響を無視して、只經濟のみを氣にする母親自身の立場から不知不識に子供の發育を害して居るのは歎かはしいことであります。窮屈な着物の害は既に世人に注意されて居ますが大き過ぎる害の方は考へられて居ない様であります。之は小さ過ぎるのと同じ程度の害を子供の精神に及ぼし、常に袖か、丈かと子供の意識を支配して自由な活動を害する事が少なくないのであります

ロ、衞生的經濟的方面にも考へ方見方選び方に洋服の價値を無視する點があると思ひます。夏服は左程でもありませんが冬服などは高價で然かも一二ケ年で小さくなるから洋服は不經濟だと云ふ人がありますが日本の母親は子供を飾り過ぎるのではありますまいか。店頭に表現される婦人の好みは多くの色を取り合せた美服で(最近大部落付いた色になりましたが)染色とか色の配合等を考慮しないのゝ多いのに驚かされます。生地や色を心配して破れる迄も洗濯を扣へる爲に清潔といふ點からは全然無價値です。高價な美しい人目を引く洋服を着せて子供の自由活動を壓迫しながら、美しいとか可愛らしいとかの讃美を浴せることを此の上なき誇りと考へる日本の母親―前掛代りの安價な生地で子供に似合つた小ざつぱりとした手製の服を幾枚も用意し、良く洗濯とアイロンのかゝつた服を着せることを誇りとする歐米の母親―此の兩者の大きな相違を認めると同時に、後者こそ洋服を最もよく價値づけて居ると云ひ得られはしますまいか

ハ、服裝の持つ教育的價値も、小學校乃至は中等學校の服裝制定に依つて最も大切な時代に大部分阻害されて居ると云ひ得ます。婦人の洋服が最も時代に適した服裝として廣く研究され宣傳されて居るにも拘はらず其の發達の遲々たる原因も、此の制服制度に尠からず影響されて居ると思ひます。婦人の洋服と同じ樣に子供服にも個性を生かす爲に子供自ら質、色、型等の選擇をなす必要があります。

酷寒の

滿洲の學生の戶外運動着としては私は男女共に冬着の上に下はニッカース式のパンツ厚毛糸編の靴下を用ひ、上は半コートにキャップ、必要に應じては綺卷も使用させ、地質等は各自生活範圍に於て自由選定とし必ずしも一定する必要はないと思ひます。それから酷寒に對する身體の鍛錬の外に長時間の戶外運動に向つての保溫の準備も考さるべきでありませうニッカースに半コートと云へば、其の外觀はハイカラとか生意氣だとかの慣習的な異議がありませうが、要は只如何に輕快に樂しく戶外生活を爲さしめるかにあると思ひます。餘りに學生の服裝統一に重きを置き過ぎて、經濟的衞生的或は教育的方面の損失が見逃されつゝあることは誠に惜い事と思ひます。古い型を破つて新しい方向に進む事は難事でありますが、進まなければ勿論何等の進歩も期待も出來ません。故に子供を持たれたる母親も教育者も服裝改善に就いてもつと深い考察と研究を重ねて欲しいと希望して止まないのであります。

戰歿五勇士の葬儀 涙と共に執行さる
沿線各隊の代表者も出席して 英靈を永久に送る

奥村少尉

嘉納曹長

小林伍長

齋藤伍長

安藤上等兵

【鐵嶺】馬家塞の激戰に陣歿せる五勇士の遺骸は既報の如く十六日朝守備隊將校集會所に安置せられ同夜凱旋せる上田中隊長以下將校戰友市中官民有力者多數列席して淚の通夜を營んだが十七日は午前十時より納棺式を行ふ事となり愈々最後の別れを惜む事となつて奥村少尉夫人は姙娠中なるを以て缺席）將校戰友等の手によつて懇ろに納棺された何れも新しい軍服に卷ゲートル軍靴といふ軍装で面部の白布を取れば在りし日の面影其まゝ上田中隊長も愛しの部下を喪つた苦惱に堪へずしてか兩眼に一滴二滴玉の雫並居る者も愁然と面を伏せた斯くして納棺を終り黒布に覆はれた五つの柩は正面に安置せられ香煙室内に流れ燈火搖ぎ各宗僧侶の讀經も高調を帶びて淚新たなるものがあつた、午後二時より軍隊内部の告別式があり沿線各隊代表者出席しめやかに營まれた、式場には關東軍司令官を始め守備隊司令官各方面から供へられた花環五十餘對に達した、午後三時營門を出て火葬場に運ばれ火葬に附した

涙を集める 奥村少尉の遺兒
涙多き夫人の胸中

【鐵嶺】馬家塞の戰鬪に參加し壯烈なる戰死を遂げた五勇士のうち小林伍長、齋藤伍長、安藤上等兵は何れも獨身であるが奥村少尉は昨年五月結婚せる夫人スヱ子(二二)さんとの間に本年六月出生の一子孝成さんがある今回の悲報に接した夫人は流石に武人の家庭に主婦たる雄々しさを失はず自若として一糸紊れず誠に軍人の妻らしい態度であつた、孝成さんは今が可愛盛り近親の人達も夫人の雄々しさを見るにつけ孝成さんの愛らしさにつけ少尉の死を悼み同情の淚を絞つてゐる家庭を訪問すれば近親者多數が詰め切り孝成さんを愛撫し夫人を慰めてゐる、夫人の希望は本人の遺骸をたとへ一夜でも自宅に安置し心ゆくばかりの冥福を祈りたかつたが軍人なるが故に其希望も容れられず其胸中嘸かし淚多きものがあつた事であらう

嘉納曹長の家庭
夫人は姙娠中

【鐵嶺】嘉納曹長の家庭は夫人ミキ子(二〇)さんとの間に長女滿子さん(四)二女政子さん(二)との四人暮しであつたが夫人は現在姙娠し本月は分娩月であるといふ父なる人の顔も知らずに生れ出る兒の運命に知る者も知らぬ者も同情の淚を注いでゐる、二人の愛嬢も父の死を知つてか知らずか平素と變りもなく無邪氣に興じ愉快に笑ひお正月の來るを樂しみ同僚の夫人連を泣かせてゐる夫人は姙娠而も臨月の事とて絶對安靜し家庭には夫人の妹さんと叔父さんが來てゐるが夫人は武人の妻として常に今日ある事を覺悟してゐたるらしく平素と變りなく夫の冥福を祈つてゐる、戰死せる曹長は昭和四年四月着任したが資性溫厚頭腦明晰憲兵隊内部の事務は一切引受けてゐた關係上氏を喪つた分遣隊は生字引を失つたやうなもので事務の上に支障が少くない、氏は昨年末以來脊髓病に罹り一時頻りに苦にしてゐたが最近は稍疲れして成行に委せてゐた爲め頗る珍妙な顏となつてゐたが今日それも思ひ出の種として淚を誘つてゐる

守備隊告別式

【鐵嶺】鐵嶺守備隊では戰歿五勇士に對し十七日軍隊内部のみの告別式を執行したが近く期日を定めて公式の葬儀を執行すると

奥村少尉略歷

【鐵嶺】大正八年十二月徵兵として歩兵第三聯隊第十二中隊に入營▲同九年十一月二十二日一等卒、同日上等兵▲同十年二月伍長勤務▲同年十二月任伍長第十二中隊附、▲同十一年十二月任軍曹▲昭和二年十一月陸密第四六四號に依り獨立守備歩兵第一大隊に派遣を命ぜられ同月三十日着任▲昭和三年五月十九日より十月三十一日まで支那事變に關する勤務に從事す▲昭和四年三月任曹長第二中隊附、同五年八月獨立守備歩兵第五大隊附を命ぜらる▲同五年十月二十日任特務曹長、同六年十二月十五日任步兵少尉

嘉納曹長略歷

【鐵嶺】大正六年徵兵鹿兒島に入營▲同九年六月憲兵上等兵▲同十二年十二月旅順憲兵分隊附▲同十五年四月任憲兵伍長▲昭和三年十月任軍曹▲同四年四月長春より鐵嶺に轉任▲同六年十二月十五日任憲兵曹長

今度の事は何も聞いて下さるな
上田中隊長苦衷を語る

【鐵嶺】十六日夜在鐵市民の熱狂的な歡迎を受けて凱旋した鐵嶺守備第三中隊に上田中隊長を訪へば納棺式直後の哀愁に滿ちて面持で左の如く語る

今度の事は何にも聞いて頂きたくない語るに苦しい私の胸中を察して頂きたい、今回の戰鬪が多數の犠牲者を出したといふ事は上陛下に對し奉るは勿論熱誠な後援を頂いてゐた市民各位や遺族に對して誠に申譯がない、馬家塞の現場は小さな丘が起伏してゐて誠に攻擊の不利なところ、從つて今度は徹頭徹尾苦戰であつた、馬家塞部落に多數の匪賊が在る事を知り丘を占領して高きに據り部落を攻擊が有利と見て部落前方の丘を攻擊した譯だが敵は丘上より釣瓶討ちに猛射を浴せ而も積雪深く地上は凍結し斜面を登る我軍の苦戰は言葉に盡せぬ、我隊は極めて勇敢に戰つて呉れた殊に戰傷者は私の前に運ばれて來ても尚また戰へろ〳〵と絕叫しつゝ白雪を血潮に染めて後送されるを殘念がりこれを見る私の胸は將に斷腸の思ひがした……と後を語らず暗然たるもので中隊長の胸中又察するに餘りあるものがあつた

負傷者の氏名

【鐵嶺】馬家塞の激戰に負傷せる八勇士は目下衛戍病院に收容手當中であるが重傷二名あり睾丸を擊ち拔かれ顏面右半部敵彈の爲めに削られて鮮血に塗れ正視するに忍びざる重傷ではあるが何れも生命に別條なき模樣であるは何より喜ばしい事である負傷勇士の原籍氏名左の如し

宮城縣伊具郡大內村伊平大久保 上等兵 加藤圭太郎
宮城縣桃生郡靈來村大曲字下臺 一等兵 相澤吉右衛門
宮城縣伊具郡楓村字佐倉 一等兵 小野寺 誠
秋田縣雄勝郡幡野村入幡字前田 一等兵 小野崎武治
宮城縣名取郡愛島村笠島 二等兵 松浦 茂平
新潟縣蒲原郡浦村字內詔 二等兵 長谷川由太郎
(以上鐵嶺守備第三中隊)
山形縣西置賜郡尾代村字竹森 開原二中隊一等兵 二階堂福男
秋田縣雄勝郡駒形村字八面 四平街一中隊一等兵 山田 富助
尚右の外憲兵分遣隊より嘉納曹長に隨行した馬丁孫振民も足部に貫通銃創を負ひ收容されてゐる

事變以後奉天の人口、物價の動き
人口は甚だしく減少

【奉天】時局以來政治、經濟的に直接間接多大の影響を及ぼしてゐるがこの時局で最も動搖してゐる沿線その他內地よりの奉天輸入輸出、小賣物價につき奉天署管內に調べて見ると左の如き狀態で事變突發の九月中は八月末人口四萬五千七百三十五人に對し六百八十五人減じ十月は九月末人口四萬五千六百五十人に對し實に千二百四十四人減少十一月は一段落して十月末の四萬三千八百六人に對し十八人增加を示し又小賣物價は事件直後昂騰する模樣があつたがその筋の取締り宜しきを得て上騰の氣配も下押さなり現在では完全に維持されてゐる尚九、十、十一月における人口、小賣物價の移動、騰落の狀況は左の如くである

人口

九月中は日本人九十九人、鮮人廿六人、支那人五百廿人、外人二十人減少し十月は更に轉出者增し日本人九百五十五人、鮮人九十二人、支人九百九十八人、外人四十一人となり十一月は支人三百卅一人、外人九人減少に對し日本人二百四十一人、鮮人百十四人增加してゐる右三ケ月共支那人は減少あるばかりで十一月日本人の增加したのは內地その他より轉入多く、鮮人は主として奥地その他より避難民である

小賣物價(平均値段)

品目	九月	十月	十一月
白米(滿洲)一叺	一四八〇	一四七〇	一四五〇
麥粉百匁	〇四五	〇四四	〇四五
牛肉ロース百匁	二九〇	三〇〇	三〇〇
豚肉上百匁	三一九	三三三	三二一
鷄肉百匁	五二一	五三三	四八〇
鷄卵十個	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鹽鮭百匁	[illegible]	[illegible]	[illegible]
椎茸十匁	一七〇	一六五	一八一
白鶴一升	七五〇	七六三	七九〇
キリンビール一本	三三三	三〇〇	三〇〇
牛乳一合	〇七〇	〇七〇	〇七〇
撫順塊炭一噸	一〇四五	一〇四五	一〇四五
石油一罐	三八〇	三七〇	三八〇
金巾白三巾上一尺	一〇七	一〇七	〇九七
モスリン白一號一尺	三四	三六〇	三三五
毛糸一封(內地もの)	一九六	一九一〇	一八四三
眞綿十匁	三五〇	四〇〇	四四〇
半紙一帖	〇六八	〇七五	〇八〇
燐寸羽鹿一袋	〇五〇	〇四六	〇四六

旅順商工協會 第一回協議會

【旅順】旅順商工協會第一回評議員會は十六日午後一時から民政署食堂に於て開催出席者十六名委任狀八名、缺員一名にて會長就任承諾の挨拶あり直に副會長の選擧を行ひたるが協議の結果詮衡委員を以て決定することゝなり右詮衡委員は四名とし連記無記名投票の結果矢幡謙治(十八票)齋藤辛次郎(十四票)村上信二(十二票)古澤董治、島村彌太郎、西野菊次郎(各十一票)となり年長の故を以て西野氏を擧げ矢幡齋藤村上西野の四氏に於て協議の結果輸入組合理事宮田仁吉氏を擧げ滿場拍手にて贊同夫れより議事日程に入り

一、本協會設立を各方面に通達の件
一、商工人名錄作製の件
一、旅順商工實情調査の件
一、商工青年團設立の件
一、商工に關する座談會及講演會開催の件
一、華商公議會と連絡を計る件
一、管內各村落との商工取引を促進する件
一、會費徵收方法に關する件
一、顧問推薦の件(關東廳殖產課長、旅順市長)

等はいづれも積極的に實施する事に決定し、以上の外全滿商工會議所聯合會加入の件は尚調査の上可否を決定する事又臨時會報を發行し、事務員任用の件は當分署員を以て充つる事と決定したが協議事項中最も主要なる

一、購買會に對する件はいづれも意見を戰はした結果不取敢日常必需品のみの品種限定を嘆願する事に一致し
一、旅順に於ける大連其他商人の出張販賣の對策に對しては最も各自の意見が交換された結果先づ第一には經營の改善、顧客の購買心理を了解せしむる一方出張販賣者の場屋の點に就ては切に適處を希望する事も意見の一致を見同四時半散會した

そんな運動など
……と、忘年會等中止提議を 斷つた旅順市役所の惱み

【旅順】關東廳の整理沙汰や軍司令部以下在旅部隊の戰線出動にすつかり凋落しきつてゐる今年の旅順の歳末は、もう關東廳のお役人を初め大體ボーナスも渡つてしまつたのに時局柄とは云へまだ忘年會の聲も聞かぬし、かと云つて正月の買物に出る人足もなく全くさびれ切つて今年ばかりは一向歳末らしい氣分もない、と料理屋や市內の商家何れもこぼしてゐる折も折關東廳や民政署では市役所を中心に時局柄だし此際忘年會や年末年始の贈答品も一切之を中止したらと提議した、そこで例年ならオイソレと直に贊成した市役所もあんまりの寂れ方にこの上そんな運動でもしやうものなら旅順の商人いよ〳〵上つたりと云ふので切角お上からの御相談だがと體よく斷つたとは笑はれぬ旅順歳末のナンセンスである

消費組合撤廢請願書提出

【奉天】消費組合の撤廢を叫んで起つた奉天商店協會ではその撤廢に關する請願書を携へ代表者がヤマトホテルに內田總裁を訪れ之を手交した後宇佐美奉天事務所長とも會見し詳細に亘りその理由を說明して引揚げた事は既報したが不況に喘ぐ在奉商店の救濟策は消費組合の撤廢を措いては他になしとなし今後共運動を繼續することに決定した尚その請願書は左の如し

請願書

在滿邦商は時運の進展に鑑み益々努力し互助繁榮を企圖致居候然るに滿鐵社員消費組合は只々在滿邦商を壓迫するのみにして既往に於て再三、再四之が撤廢を希望したるも目的を達し得ずして現狀にて推移せんか來るべき滿蒙經濟發展には遺憾ながら不覺を來すべく我國運上誠にこの上もなき遺憾を感じ申候我等在滿邦商の舉つて消費組合の存在を否認する根據は徒に眼前の小利を逐ふに非らずして我國家政策の見地より絶對的相反馳するものと確信仕候即ち協會は臨時總會の決議文を作成し總裁の御裁斷を仰ぐ次第に御座候

大石橋でも撤廢運動

【大石橋】當地商店協會に於ては去る十四日午後六時より協會長山口氏宅に於て滿鐵の消費組合撤廢に關し協議會を開催した結果撤廢請願文を起草關東軍司令官宛請願書を提出した

長春の特產輸送旺盛を極む
前年よりも五萬噸增

【長春】十一月末までに於ける長春驛新穀發送數量は六萬八千四百六十四噸で前年同期の二萬四千四百四噸に比し四萬八千四百二十噸の激增振りである、之は勿論長春發送のみの數量で東支線及吉長線の連絡南行を加算すれば異數の增加であるこれは氣候の關係上取入期が早かつたこと、時局のため不安及農村疲弊とて輸送賣込みを急ぎそのまゝ附屬地に避難したことゝ特產商が資金難からその資金回轉を急ぎたることゝ等がその最大原因をなしてゐるが今後尚各地方は兵匪は益々跋扈する恐れあるため特產輸送は依然として旺盛を極めつゝあるの狀態である

伊通懷德兩縣の馬賊團歸順
要所の警備に配置

【公主嶺】公主嶺を中心とし伊通懷德兩縣の各部落を横行暴威を逞しうし放火掠奪殘虐を極めた惡鬼の如き頭目全勝、天照、雙山紅、雙龍、雙盛等の率ゆる馬賊團は討伐隊の追撃をうけ各地に移動頑強に抵抗南方戰雲に乘じ大活躍をすべく兵匪と合同待機中であつたが賊團は討伐隊の句鬪壓迫に逐日不利となり慘烈なる寒威と飢餓に堪へず去る十三日懷德縣白泊執行委員會に歸順を申出でた頭目卅名は長銃三百挺とモーゼル拳銃百五十挺を有する大馬賊團なので執行委員會は現今の形勢に鑑み協議の結果歸順後に於ける諸般の交涉を遂げ公主嶺支那町の同會に於てこれを許容し歸順式を擧行正規兵として要所の警備に配置することになり本秋來特產物の出廻りを阻害し當市の經濟界に少からず打撃を與へつゝあつた伊通懷德兩縣の街道における危險は除去され特產その他の物資も近く順調に搬出が見られるのであらうとのことである、しかし目下當地の西方百二十支里懷德八面方面に移動暴威を擅ひ殘虐の限りを盡してゐる前記賊團と分離せる伊通縣東北陸軍歩兵第八連の逃亡兵三百餘名の擊滅を見るまでは不安を一掃したとは云はれぬとのことである

馬車を倒し掠奪

【長春】十六日午後八時四十分頃長春東三條郵便所前附近に於て一支那人が客馬車(五八號駁車張玉山)を呼び城內へ行くんだと命じたゝめ駁車夫は東二條通から領事館前に出て右折して中通りを城內に這入る暗がりの地點に差かゝるや二名の怪漢が現はれ車上の支那人と三名で駁車夫を棍棒で毆り飛ばし駁車夫の昏倒するのを見すました三名は馬車を御し城內へ遁走したが多分匪賊が馬を掠奪のため演じた行爲であらうと見られてゐる

怪支那人逮捕

【鞍山】鞍山憲兵分遣隊將偵は數日前より立山方面に潛入し立山西方前折部落にて不審なる支那人三名を發見し引續き行動監視中の所馬賊が農民に變裝して居るらしき形跡あり、吉村伍長は彼等の潛伏せる民家を確めたので守備隊に應援を乞ひ、村瀨、大井兩上等兵を派遣し守備隊山ノ內中尉以下二十名と共に十七日午前五時貨物列車にて立山に向ひ、同六時半現場に到着、隙て目星をつけて居た民家二戶を守備隊兵士が包圍し兩上等兵が屋內に侵入し寢込を襲ひ難無く逮捕、所持の長銃一挺を押收し同十一時引揚げた、右三名は高維儉(二七)關維林(三七)關維一(三七)と云ひ引續き憲兵分隊內に留置取調中である

撫順附屬地に八人組匪賊

【撫順】十七日晝頃午前十一時附屬地楡林堡に長銃所持の八人組匪賊現れ同部落張某方の長子(二三)を人質として拉去す斯と急報に接した撫順署では即刻杉町警務主任倉田司法主任福田保安主任坂本警部補以下三十餘名を引率し輕機關銃三門と各長銃にて武裝現場へ急行老虎臺楡林堡の三部落より包圍攻擊の末四名を逮捕した殘り四名は日官憲の討伐を感づき早くも渾河を渡り前甸子部落に逃走したので警察隊の主力は之を追跡一部は同午後二時頃歸署した、管外の匪賊騷ぎは珍しくもないが附屬地內の事件のこととて撫順署でも根こそぎ打盡の方針らしい

沿線往來

▲森守備隊司令官 十六日來奉
▲大谷旅順要塞司令官 十七日朝來奉
▲內田滿鐵總裁 十七日夜歸連
▲增田金州民政署長 事務打合せの爲十七日旅順往復
▲倉賀野關東廳種馬所長 所要の爲十七日金州往復
▲細矢權吉氏(遼陽鄉軍分會長) 十七日奉天往復
▲小野寺鞍山地方事務所長 十七日來遼各所歷訪新任挨拶

長春

祈願祭を執行

長春時局後援會では十七日午後一時から地方事務所會議室に於て國威宣揚在滿將士武運長久祈願祭執行の件について協議したが、時は十九日午前十時より長春神社に於て左の次第で擧式することに決定した

開扉、獻饌、祝詞奏上、玉串奉奠、撤饌、閉扉、天皇陛下萬歲三唱、在滿將士萬歲三唱

商議役員選擧

長春商工會議所では十八日午後三時半よりヤマトホテルに於て會頭及び副會頭の役員選擧を與行の筈であるが一時は島名權十郎氏出馬說も傳へられてゐたが長春取引所信託專務に永原岩雄氏が來任したので同氏の出馬を各方面から熱望するところあり結局全會一致で永原氏の就任を見る模樣である、尙副會頭二名中彼末德雄氏が失言問題で辭任したゝめ同氏としては絕對に望みなく、岡田小太郎氏の再任は信ぜられるも彼末氏後任の副會頭問題は一般から頗る興味を以て見られてゐる

公主嶺

年末の商店界

當市の歲末市況は例年の如く十五日より各商店は一齊に年末大賣出しを開始した店頭の裝飾意匠になる商品の陳列等に景氣を添へ千客萬來を競つてゐるが時局に緊張した各家庭とも迎春用の諸品はなるべく質素にといふ向きが多く昨今は氣迷ひ的買溢りにまばらの商內さであるが、二十日後ならでは歲末氣分に油が乘らず荷動きはそれからであらうと呉服店は他店に比しボーナスによる婦人連の春衣に相應の繁昌と見られてゐるが噂ほどではないと貨餅は昨年と大差なく注文續出さであるが食堂其他に頭詰皿盛の注文はまだ早いが申込みは遲々とし押し詰つても大したことはあるまいと料亭側の打擊は忘年會の激減と新年宴のつけこみの如きは皆無であらうが一般を通じ不況の折から殊に時局の歲末として杞憂に囚はれたばこ引締つた商內を見ず各商店とも相應の賑はひを呈するであらうと

奉天

婦人團協議會

全滿婦人團體聯合會奉天本部では廿日午前十一時から滿鐵社員俱樂部に於て左記議案につき緊急協議を開催することになつた

一、在滿軍隊のため「兵士ホーム」を開設すること
二、鮮人同胞及中國人のため隣保事業を開設すること
三、每週金曜日全滿婦人克己デーとして制定の件
四、出席者の旅費に關する件
五、會員徽章制定の件
六、聯合會員相互の聯絡機關として會報發行の件

新年行事廢止

滿洲醫大學酒會、希望社學生聯盟支部、基督教青年會では左記事項を提唱し目的貫徹のため猛運動をなすことになつた

一、忘年會、新年宴會の廢止
二、飮酒斷行
三、年末年始の贈答廢止
四、門松、〆繩の節約

撫順

スケート場

全滿一の撫順永安臺スケートリンク開きは十七日午後[illegible]行はれた練習に多數を包擁し得る二重コース廣々とした中央のアイスホッケーリンク且つ夜間滑走に適するべく二百燭光の投光器を七ケ所に備へ付けた事及び場所が永安臺街の中央にあるだけその至便なる點に於ても從來のそれと斷然選を異にする、是れからは銀盤上を馳驅する勇姿を朝に夕に同リンクで見得るであらう事は撫順の大衆スポーツ振興上喜ばしい事である

安東

鮮人墓地問題

在安東鮮人間に多年の懸案となつてゐた七道溝鮮人共同墓地問題は最近に至り解決の曙光を認め十六日多田地方事務所長は山田地方係長と共に現場の視察を爲す處あつたが地方事務所に於ては近日中に諸規則を作製しこれが承諾を與へる見込である

遼陽

時局委員會

遼陽時局委員會では十八日午後一時半から滿鐵社員會俱樂部に於て委員會を開き左記事項につき協議した

▲第二回收支決算報告の件▲第三回經費支出方法の件▲軍隊宿營費處理方法の件▲時局委員會業務報告の件

大石橋

守備隊の演習

當地守備隊に於ては來る二十五日午前十時より瓦房店熊岳城鞍山の各〇〇も參加せしめ練兵場より鞍龍山の假設敵陣に向ひ大隊演習を擧行する本演習は普通の演習とその趣きを異にし北滿チチハル等に於ける實戰參加と同樣防寒具及新武器（重火器）を使用の計畫なれば一般市民も時局柄參考の爲め多數觀戰あらんことを希望してゐる

避難鮮人救濟

當地小學校に於ては兒童の遺失物今尙絕滅の境に到らず之れが矯正に關しては父兄と協調し兒童の所持品に對しては必ず姓名を明記する事に依り此の弊風を除去せんと努めつゝあり然れども一週間每に遺失物を蒐集するに於ては其の數僅少ならず之れが處分に萬全を盡しつゝあるも尙昨年來の遺失物ビール箱二杯もあり此の際職員會議の結果に基き避難鮮人に之れを頒ち救濟の一端に資せんとする計畫ありなほ兒童一名宛五錢以下の金錢を其の學用品中より節約せしめつゝありとの事なるが此の節約のみにても十五、六圓の金額には上るだらうと

熊岳城

警備特別演習

白雪皚々滿天地を包む十二月十六日暮れてまだ暇なき六時三十分馬蹄の音あわたゞしく東奔西走、砲の響き附屬地の一角に起これるよと聞き耳を立てる間に東西相呼應して響く機關銃の音さながら豆を煎るが如くこれに混じつて小銃の絕え間なく連發さる、雪の曠夜を走る敵兵の黑影、戰線は次第に迫つて市街戰となる、傳令は飛ぶ給與班、救護班、收容班の自轉車は飛んで必勝すべき各家庭の招集に忙し、銃聲砲聲又一しきり鳴りが止まず[illegible]中國人に寒夜特別演習であると云ふ事が判明したのは八時近くであつた、東海林第一中隊長は今より先午後二時よりクラブに在鄕軍人義勇團員の不時招集方を分會長に命じ今夜六時卅分より九時迄の間に於て假想敵（鐵州方面の敗殘兵正規兵六百餘名熊家屯西海岸に上陸熊岳城を突かんとす）守備兵來襲するを以て熊岳城義勇團員之れを防備すとの假定の下に實戰同樣の段取りにて演習にかゝつたもので警備團本部を熊岳城驛待合室に置き警備團長石原正規以下十名收容班長津島勝以下十名、救護班長山下公醫司看護婦以下十名給與班長久武兼靜以下五名此の特別班を小隊長寺田愼一統制、其他各義勇隊第一小隊第一分隊は鐵道線路ガード東側第二分隊は溫泉道路實習所第三分隊電燈會社附近より岡島農園一帶第四分隊附屬地北界煉瓦窯附近より西北第五分隊小學校方面より萬秋園一帶第六分隊本部附と云ふ配備にてかゝつた敵は遂に守備隊北西方より附屬地に迫り練兵場電燈會社附近に於て激戰數時雪明かりにまろぶ軍服姿雪の暗夜の砲火等暫しは實戰其の儘の物凄さであつたが守備隊兵士も義勇團員も此の嚴寒にもめげず實に勇壯な演習を終つた

瓦房店

慰問金品寄贈

滿洲事變以來軍隊及警察官に對し慰問の意味を以て金品を寄贈せらるゝ向多かりしが瓦房店警察署に於て取扱ひたる分左記の通りである

▲金十圓也瓦房店常盤町內會及平康里事務所より瓦房店警察署▲菓子一箱佛敎婦人會より同警察署▲金卅圓也瓦房店工友會より關東廳警察官へ▲金七十圓工友會より關東軍へ▲林檎一籠廣瀨駒男氏より瓦房店警察署へ▲金一圓廣島縣神調郡山中村元熊岳城千葉進方店員高丸政市氏より瓦房店警察署へ▲防寒靴下熊岳城婦人會より瓦房店警察署へ▲林檎一籠許家屯驛佐藤善作氏より瓦房店警察署へ▲金廿圓熊岳城石原正規氏より關東軍へ▲金十圓同氏より關東廳警察官へ▲金十圓瓦房店觀音講員より關東廳警察官へ▲金二十圓同觀音講より關東軍へ

金州

荒井所長招宴

荒井地方事務所長は十七日午後六時より守備隊及警察署の幹部を料亭筑紫館に招待し懇親會を催した

諸工事一段落

金州における關東廳直轄工事たる民政署廳舍の增築、南山會蘇家屯の種馬所分場、土木管區宿舍等は十七日工事竣工し增田關東廳技手の檢查を終へたが今年の諸工事はこれで全く一段落を告げた

軍事費を獻納

金州警察署勤務の巡查部長萬英夫氏は十六日民政署稅務係を訪れ軍事費として金三十圓の獻納方を申出でたので民政署では獻納金の取扱ひ規則に依り之れを受納したが、金州に於けるこの種獻金は氏を以て嚆矢とする

小學校學藝會

金州小學校では來る十九日午後一時より講堂に於て全校兒童の學藝會を開催する[illegible]

朝鮮部隊の負傷兵歸鮮

【安東】北滿の曠野に於て兵匪さ寒氣と戰ひ戰鬪を續け不幸敵彈又は凍傷にかゝり涙を呑んで戰線を退き遼陽奉天の病院に收容されてゐた朝鮮部隊の將士六十餘名は江藤一等軍醫正に伴はれ十六日午前七時列車で安東着同五十分發南行したが安東官民有志各團體は寒氣を刺す朝まだき驛ホームを埋め列車到着するや第一回の戰傷病兵の送迎の如く至れり盡せりの慰問を爲し驛頭は日本國民ならでは見られぬ劇的シーンを展開し發車ベルと共に萬歲の聲に送られ送る者も送らるゝ者も目に感激と感謝の涙をたゝへ列車は徐々に驛ホームを離れた

第二の反抗 (107)

三宅やす子
阿部金剛畫

女同士（十一）

「お父さんからのお話なんだけどね」

母は、いつもよりもつと、もつとやさしい聲で

「急にさしせまつて入用のお金が千圓許りあるんで、それを、あんたに都合してほしいと仰しやるのこんな用をたのんでほんとに氣の毒だけど、佐枝さんの一存で取計らつてほしいんでれえ」

「…………」

「無理かもしれないけど、都合して貰へまいか」

「えゝ、それは――」

「出來るのかえ」

「出來ますわ」

佐枝子はさう云つて うつむいた。

（わざ／＼來て、生みの親に金の無心を云はれに來たやうなものだつたのか――）

「さう、それでやつと安心した」

母は晴れ／＼と、急に調子づいて元氣になつて

「此間から、そのことで、お父さんは、とても御心配で――そばに見てるものも、ほんとに辛かつたよ。一體なら、佐枝さんの名義で實はお父さんが使つてもいゝ財產が、わけてある筈だつたさうだが、何でもそれは、現金ではないし。此の前困つた時に、お父さんが擔保にいれておしまひになつたんでれ」

「……へえ、そんなこと、あつたの？」

「さあ、それも、序に、あなたに云つておいた方がいゝつて、お父さんが仰しやるのよ」

「どうでもいゝわ、そんなこと」

もう／＼父が自分を[illegible]女にした動機が、讓る子のない太吉の財產めあてだつたといふことを、今では、明瞭に佐枝子は察しることが出來るのだ。

「でもれ、鮫島さんといふ人があるんだから、お金の事は、却て、以前ほど、らくに考へられないんだよ、佐枝さんにしたつて、却つて、佐枝さんの自由にならない道理なんだかられ――でも、佐枝子に話したら、何とか都合がつくだらうからつて、いはゞあてにしてたやうなもんだけど」

兩親は、太吉から彼女が讓り受けた財產のことを、もう、あてにして居るのだつた。

「現金でなくてもいゝでせう」

「あゝ、千圓だけ出來るやうなら」

「歸つたらすぐに、送りますわ」

「實はれ」

母は云ひ難さうに

「其期限がもう明後日にせまつてるんでれ」

「まあ」

佐枝子は、言葉がつげなかつた。

「それや、二三日のことは、何とか、延ばして貰ふ方法はつくだらうと思ふけれど――」

「どうして、そんなに急に入用なの」

「何しろ、無理に無理を重ねたあとで、此千圓がなかつたら、お父さんは破產してしまふところなんだよ」

「……まあ」

「だから、ほんとにすまないけど」

何故もつと早く云はないのだらうと思ひ乍ら、佐枝子は、兎も角明日歸つて、すぐに手配をつけるからと、云つた。

曙の鐘 (143)

倉田潮
河野想多畫

紋首臺(一)

あけみは夕方大山商事會社から歸ると、疲れた體を自分の部屋のソファに投げて輕く目をとぢた。

父剛太郎のなくなつた後、彼女は女手一つで商事會社を初め製鐵工場まで、父の殘した事業をかんさくして、殆ど生前と同じ成績をあげてゐたが、餘り忙しいので家に歸つて來ると暫く何もする氣がしないのだつた。が、家にはまた澤山の仕事が彼女を待つてゐた。第一洋館の仲居達の始末をつけなくてはならない。お冬だけは先日大體先の持ち出した條件を入れて二ケ月後に屋敷を立ちのいて貰ふことに取りきめたが、後の仲居はまだ一人も身の落ちつきがつけて無かつた。特にその中でお夏とおよりは思ひがけない難題を持ちかけて來ることが大體豫想されてゐるのだつた。

十分も眼をつぶしてソファに橫になつてゐた後に、あけみは濃い茶に睡氣をさまして、家の跡始末の事務に取りかゝつた。と、女中がそこへ這入つて來て

「洋館のお夏さんが逢ひ度いて玄關に來てゐます」

と告げた。あけみはきつと口を縮んで、強くうなづいた。女中はお夏を案內するために出て行つた。

あけみはストーブの前に椅子を並べて、その一つにやゝ反り身に腰かけた。そして、ひだのついた洋服の袂をまくつて腕時計を見た。もう六時だつた。立ち上つて電氣をつけて、不安らしく室內を歩み出したが、再び椅子に腰をおろした時は、既に心の動搖した表情はなく、輝いた瞳が強い決心を語つてゐた。

お夏がつつましやかに部屋に這入つて來た。豐艶な肉體を黑いお對のお召につつんで、白い襦袢の襟を品よく細い一線に見せてゐた。

彼女は顏をあげてあけみを見るとやや恥じらつたやうに笑ひながら丁寧に挨拶した。

あけみはそれに對して剛然とうなづいただけだつた。そして、お夏の長たらしい挨拶が終ると

「御用事は」

と冷やかに訊いた。お夏は云ひにくさうに躊躇してから

「實は……」と云つた。「實は旦那様の生前に、私、遺言を頂いてですの。今迄何彼と御忙しいと存じまして、遠慮して御耳に入れませんでしたが、でも、近頃は大部御屋敷內も落ちついて來たやうですから、一度御話しておき度いと思ひまして……」

「その遺書と云ふのは、ここに御持ちですの」とあけみは冷やかに微笑しながら訊いた。「世間には遺書が本物だとか僞りだとか云ふ問題で長い出入りをする家も稀しくはありませんから、一應私が見ておき度いと思ふのですわ」

「御尤もです」とお夏は手にさげてゐた小さいバックから、例の剛太郎の手蹟を取り出してあけみに渡した。「正しい證文の形にはなつてをりませぬが、確に旦那様から頂いたものですわ」

「……」

あけみは熱心に其の書狀を見つめた。お夏も息をはずませてゐた。壓しつけられるやうな無言の時が流れる。その涯にあけみは書狀をお夏に戻して

「間違ひありません」ときつぱりと云ひ切つた。「確に父の書いたものですわ」

「……」

無言にお夏は島渡小腰をかゞめて、包み切れない喜びを顏に浮べた。あけみがすなほに遺言を是認するとは、今の先までお夏は思つてゐなかつたのである。是認けられ遺言の效力はつひに發生ずるのだ。彼女はもうそれでよいと云ふやうに、いそ／＼と書狀をしまひ初めた。冷やかに其の樣子を眺めてゐたあけみは、お夏が椅子から離れようとするのをとゞめて

「お夏さん、御待ちなさい」と口を橫にまげて云つた。「あなたはそんなに財產なぞほしがつて何うするのですの。財產を受けない中に、絞首臺に立たねばならないあなたではありませんか」

この一言にお夏は雷にうたれた人のやうに青くなつて顫えあがつた。

新年俳句川柳募集

◇俳句　課題「新年雜詠」五句以內、東京市牛込區若松町八一島田青峰氏宛(滿日俳句と朱書の事)
◇川柳　課題「福」五句以內大連市能登町十高橋月南氏宛
◇締切　十二月十五日
◇賞金　俳句川柳とも天五圓、地三圓、人二圓づゝ

滿洲日報社

柳壇

『皮肉』　高橋月南選

浮世なば皮肉つて暮より五十年　山形　都筑　羽陽
小姑もさき／＼嫁に皮肉られ　旅順　猪俣　辱雄
骨ぬきにされて皮肉の案は消え
逆うらみ又も皮肉の宣傳し
灯を消せば皮肉にも兒が目を醒し
手を切つてからも皮肉な長い文　大連　水島　淑朗
豐作でも矢ッ張り食へぬ世とはなり
○　高橋　月南
友愛を唱へてモガは賣れ殘り
皮肉家といはれ世間へ巾が利き
特價品符帳を替へてちと儲け

『面子』

一應は面子の手前考慮をし　大連　水島　淑朗
判官の前では面子物言はず　大連　林　子禾
聯盟へ朋友面子持ち廻り
もう利かぬ面子阿片へ言懸り
擔がれた面子へ暗い網代笠　大連　水野　黨
暴君は自分の面子ばかり立て
損もせず面子も立てるいゝ手際
双方の面子を立てる一苦勞　奉天　新谷　白雲
拜まれて義理に相手の面子立て
振れても又振られても厚面子
虎の威を藉りた面子の伊達姿　遼陽　阿伊　怒
花のやう散つて武士道面子立て
面子なば立てゝ三々九度になり　大連　山元　不動
代表は妥協で面子やつとたて
網笠へ面子を捨てた人の群
學良は面子も立たず身も立たず　大連　上河邊　紫涙
宣傳に面子を上げた支那の國
大ホール面子が着てる五つ紋
或る時は面子を支那は金に代へ　旅順　上倉　都一
晩酌へ無理を列べて押す面子　大連　福田　阿呆
校長の苦い面子にニックネーム　大連　佐伯　一軒
なけなしの財布をはたく面子なり
面子故身をしばり行く盆と暮

時事吟

ブリアンが三つの面子もて餘し　大連　藤富　淀月
馬占山一夜明くれば面子なし
施肇基の是を非にかへて面子立て
差押へ大家へ面子汚される
寄附帳へ心にもない面子立て　大連　水島　淑朗
未亡人俠氣に裏で仕立物
釣錢のことで揉めてる紳士風
幣原が面子潰して強くなり　山形　都筑　羽陽
學良も泣き出しさうな面子なり
外相も思つたよりは面子揚げ
○　高橋　月南
十錢の獻金へ面子立てる意氣
聯盟の面子を立てる惱みあり

お斷り

「面子」を子供がもつて遊ぶ「メンコ」と解釋して投句されたものが澤山あつたのは甚だ遺憾である。これは出題者が惡いので今後は必ず註釋を入れることにするが投句者も注意されたいものである。

新刊紹介

▲同性愛の研究(守田有秋著)　同性愛の歷史は實に古い。今より數千年前の作であるホーマアの「イリアス」の中にはアキリイズの如き勇士を初めとして、幾多の勇士が同性愛に陷つてゐる。本著者は同性愛といふ變態的な行爲に對して深い同情と理解とを以て研究し世界的性科學者である博士の文獻を參考として著した本である。この種著書の一權威であらう(價一圓三十錢、千葉市白寒川二五四人生創造社)

▲明日の滿蒙(久村五郎著)　旅順に旅ける若きヂャーナリストたる著者が滿二十八の秋を迎へて世に送つた最初の著書である、時恰も滿洲事變に際會して滿蒙の野に惡戰苦鬪する忠勇なる兵士達にも贈る意圖を有し止むに止まれない著者の氣持から出た熱烈な意氣を含んだ著書でもある、目次は一、明日の滿蒙近代的國家風景を何處にも見出すことの出來ない憐むべき狂態の中華民國に對して痛烈な批評を下し、滿洲事變に際して滿蒙獨立國、新政權の確立に對して日本政府が一切不干涉主義を採つてゐるにも拘らず明日の滿蒙は眞理の前に正しく、より合理的に日本に働きかけやうとして居り、呼びかけやうとしてゐると結び、二、國防上からみた日本の陸海軍備(列強陸軍現勢、日米果して戰ふか?)三、眞相實記北滿馬賊物語はその眞相を暴露したもので、從來の馬賊物語の如き空想的物語でない事は著者の誇りとして充分だ、四、日清戰爭秘聞軍事探偵向野堅一五、馬賊の群にも排日熱、六、東洋鬼の旅、七、滿蒙邦人事業と活躍の人々はこの滿蒙に於ける邦人の事業並に活動狀態の研究に適切なものである(價一圓大連市浪速町大阪屋號書店發賣)

晴虛集　尾上柴舟氏の主宰する「水甕」の支社として南滿各地に散在する同好の人々を糾合してひたすら斯道に精進しつゝあるあかしや會の短歌第一輯である、採錄歌は大體に於て水甕に發表された歌から嚴選されてゐて、一字一句おろそかにしない同人の眞摯な態度がはつきりと全卷に現れてゐる、題材はほとんどそのすべてが滿洲を背景にして生れたものであるからいづれも滿洲に住む我々に親しみ深く、又卷末に附せられてゐるあかしや會創立滿三年のその歷史を辿ることも短歌を志す者には興深いだらう(四六判總絹製美本、定價二圓、發行所大連市大和町四一あかしや短歌會)

どんつき(石森延吉)　滿洲兒童の世界に、昨年出版された滿洲教科書編輯部石延男氏著の「まんちゆりあ」は出版以來兒童間に多いに歡迎され、擴く讀まれてゐる、氏は滿洲童話界の權威者で滿洲童話界を絕えず一歩先へと指導してゐられ本紙の家庭欄にペンネーム、旗野二郎で「製作」及「野生の花」を發表好評を博したが氏は兒童の日常生活に近い生きた材料を提供し、同時に或る何物かの意義ある暗示を、兒童ばかりでなく大人にも讀んだ後に與へずにはおかぬのである、この意においての氏の近作「どんつき」は美麗な裝幀とともに川野想多、京之介兩氏の挿繪と相俟つて兒童界への一大福音である(價一圓八十錢大連市浪速町大阪屋號發賣)

▲綾歌集(一)(萩原濱咲著)　人名、地名といふやうなものを巧に織り交ぜて創作したもの綾歌であるが、非常に面白いと共に奇想天外の創作に一驚する「神ながら武きみわざや天てらす皇御心、尊とかけけり」(卷頭一首)の如く綾歌は單なる歌としてゞなく精神修養の一方法でもある(價一圓五十錢大連市文化臺一三九番地同文舍發行)

けふの放送

大連 JQAK　十二月十九日

▲午前七時　ラヂオ體操
▲午後六時五十分　ニュース
▲獨逸語講座(テキスト第二十九課)大連語學校講師荻榮
▲ピアノ獨奏(イ)ゲーザーリング「フラワース、コンサーン作」(ロ)蟋蟀の踊「レルマン作」(ハ)イーコース、フロム「ザ、ボール、ルームギレット作」大連高等音樂學院栃内和子
▲防火宣傳劇(火の用心)曾我廼家五九樂
▲浪花節(勘忍の德木村重成)有明亭龍月
▲職業紹介事項
▲天氣豫報
▲ニュース

東京 JOAK

十二月十九日午後六時卅分
▲講演(未定)　理學博士長岡半太郎
▲運動競技(布哇選手送別拳鬪試合狀況)「日比谷より」
▲琵琶(山田一等兵)大坪利三郎作詞、中澤錦水作曲(中澤錦水)

滿洲日報

我軍錦州攻擊に決す
陸軍省けふ聲明書を發表

(東京十八日發至急報) 帝國政府は錦州攻擊に決し十八日陸軍省は張學良の暴虐を摘發せる聲明書を發した

榮臻、錦州軍に攻擊令
張學良の命令によって

【天津特電十八日發】張學良は錦州の榮臻に對し次の如く命令した
一、なるべく速かに日本軍に總攻擊を行へ
二、馬占山と連絡し奉天奪回を早めよ
三、敗れた時は政府を灤州へ移し事を策すべし
これにより東北軍の關外出動は二、三日來頗る活潑となつた、なほ榮臻は昨日錦州軍に攻擊令を發したもの、如く軍事行動を開始した

錦州軍前線に增兵

錦州軍はその後益々積極行動に出でゐる白旗堡に從來ゐた正規兵三百であつたのが十七日には八千名となり、大官屯(新民の東南方)には二千名增兵してゐる【奉天電話】

山海關の邦人引揚

【天津特電十八日發】錦州方面の形勢再び險惡となりつゝあるに鑑み山海關在住邦人は全部當地に引揚げることゝなりこれが聯絡のため本日當地警察より內藤警部が同地に急行した

張學良の後任に張作相任命
南京政府近く發表

【北平十八日發】南京政府は張學良の後任として張作相を東北邊防司令長官に任命するに決し一兩日中に發表の筈

馬占山は副司令

【北平十八日發】張學良は東北邊防司令長官を張作相に讓るべく南京國民政府に通告すると共に各軍に對し右の通電を發した、なほ邊防副司令には馬占山を任命した

駐支英公使北上活動

【天津十七日發】目下南京にある英公使ランプソン氏は十五日張學良に

不安の新民
(商民は表戸を閉して休業)

張學良辭職通電要旨

【北平十八日發】張學良の辭職通電の要旨左の如し
奉天事變發生以來既に三月、東北の山河滅びて之を回復する途なく、學良の罪は萬死に値する今日迄恥を忍んでとゞまつたのは何とかして大勢を挽回し罪の萬分の一を償はんと思つた爲めだが、總て事志と違ひ今や施す術もない、今辭職を申し出たのはこれに依つて責任を免れんが爲めではないが、この上一日躊躇すればそれだけ害を殘すべく宜しく天下の耳目を一新し以つて國家存亡の危急を一擧に廻轉せしめんとす、この上とも余は國家に對し力を盡して奉公する決心である

時局相談のため北上したし、貴下所有のフォード飛行機を南京に向けられたい旨電報した、學良は即日南京に同機を送つたがこの英公使の活動は注目されてゐる

張學良の辭職不許可

【天津十八日發】國民政府は張學良に對し綏靖公署主任の辭職願に就いて許可せず、新國民政府が現在の東北軍を保持して國勢の挽回に努むるを以てその任に當る可しと電命した

財政部長は孫科氏が有力

【南京十七日發】蔣介石氏の下野に次ぎ宋財政部長も辭表を提出したが後任には孫科氏が有望視さる

關東長官に軍部は南大將を推す
各機關を統制のため

【東京十八日發】陸軍では今後の滿洲建設のため關東軍、關東廳、滿鐵の統轄機關につき研究中だが關東廳官制によれば
一、關東長官ハ南滿洲鐵道株式會社ノ業務ヲ監督ス
一、陸軍武官關東長官ニ任ゼラレタルトキハ之ニ關東軍司令官ヲ兼ネシムルコトヲ得
とあるので、荒木陸相は同長官に南大將を推擧する意向である

新滿蒙建設を研究
總督に推されたなら大にやる
近く滿蒙視察の南次郎大將談

【東京十八日發】陸軍一部で滿蒙總督に推薦されてゐる軍事參議官南次郎大將の視察は單に軍事行動が行はれた現地を視察するに止まらず事變發生後の滿蒙の行政狀況、治安狀態、產業狀態、各鐵道の狀況その他滿蒙の現狀に就き全般的に詳細に視察する豫定でこの視察報告を待つて滿蒙總督問題並にその制度組織等の研究が飛躍的に進展するものと期待されてゐる、南大將は十七日夜陸相官邸で語る
滿蒙における作業としては大體一段落の緒に就いてゐると見る事が出來る、從つて之からは如何に建設するかの問題であるがこの建設如何が直ちに我國の死活問題に影響するのであるから今迄よりも寧ろ一層の愼重さと努力とを以て之に臨まなければならない、之につき自分としては皆の意見と違ふかも知れないが一個の意見は持つてゐる、この意見を基礎として如何に新滿蒙を建設するかにつき充分研究して見たいと思つたのが今度の旅行だ、自分が滿蒙總督に推されてゐるかどうかは何も知らぬが國家國民が是非お前にといふなら老骨ながら微力を致さないものでもない(寫眞は南大將)

黑龍江省の兵備配置

【チチハル十八日發】黑龍江現在の兵備配置は次の如くである
省防第一旅(拜泉駐屯)
旅長苑崇穀、第一團長劉宏宣(兵力二千)第二團長趙春林(六百)
省防第三旅(海倫駐屯)
旅長馬占山、騎兵第一團長徐青山(五百)步兵第五團長李青山(六百)
步兵第一旅 旅長張殿九、第三團長孫鴻玉(八百)
步兵第二旅 旅長蘇炳文、第四團長吳書玉(九百)
步兵補充團 團長興祺(八百)
步兵衛隊團 團長徐寶貞(五百)
騎兵第八旅 旅長程志遠
第五十四團長徐全勝(塔哈爾河駐屯)
第五十二團長朱鳳陽(富海、寧年站駐屯)
第五十三團長周作霖(泰安鎭、綏龍溝駐屯)
騎兵第一旅 旅長吳松林、第三團長克鎭(泰安鎭、敖龍溝駐屯)
總兵力四千

前閣僚に賜餐

【東京十八日發】天皇陛下には若

若槻中心主義で總選擧等に善處
民政黨の方針決定

【東京十八日發】民政黨は總裁の選擧問題を續つて種々の噂を生んで來たが、若槻總裁の決心意外に强硬で、幣原總務を始め黨幹部所屬議員に對して明春早々行はれる總選擧には粉骨碎身必勝を期し黨のため盡瘁し國民の期待に副ふ覺悟を述べ、黨の將來に對する決意を示し黨においても此際總裁の引退は黨の動搖を招來し憂慮すべき事態を惹起するので若槻中心主義で一致の陣容を整へ民政黨更生のため院外役員及び總選擧その他總ての準備を整へることゝなつた

關東軍統治部陣容
愈よあすから事務開始

關東軍司令部內設置の統治部は十九日より事務開始の筈で過日公會堂に移轉した參謀部第三、第四課跡にて執務すべく部長以下左の通り決定した
部長 駒井德三
顧問 松木俠
囑託 久保田
行政課長
交通課長
財政課長 森 主計正
產業課長 松島 鑑
交涉課長森島領事又は河相關東廳外事課長
【奉天電話】

地方長官の異動
けふ閣議で決定發表

【東京十八日發】地方長官異動は各方面の注文山積し一時混亂狀態に陷つたが十七日午後より夜半に至り漸く成案を得十八日の閣議で決定發表された
任衞生局長(二等) 內務都市計畫課長 大島長次郎
任兵庫縣知事(一等) 前廣島知事 白根 竹介
任京都府知事(一等) 元警保局長 橫山 助成
任栃木縣知事(二等) 前神奈川警察部長 豐島 長吉
任千葉縣知事(二等) 前臺灣總督府警務局長 大久保留次郎
任大阪府知事(一等) 前熊本知事 齋藤 宗宜
任新潟縣知事(一等) 元愛知縣知事 小幡 豐治
任茨城縣知事(二等) 內務省社會局學務課長 君島 淸吉
任宮城縣知事 內務省地方局長 三邊 長治
任奈良知事(一等) 內務省社會局課長 樹
任內務省社會局長(二等) 和歌山縣知事 安井 英二
土木局長 丹羽 七郎
任社會局長官(二等) 社會局長官 大野綠一郎
任地方局長(一等) 宮城縣知事 湯澤三千男
任土木局長(二等) 元靜岡縣知事 長谷川久一
任東京府知事(一等) 元三重縣知事 遠藤 柳作
任神奈川縣知事(一等) 元千葉縣知事 宮脇 梅吉
任埼玉縣知事(二等) 元岐阜縣知事 金澤 正雄
任群馬縣知事(二等)

失業救濟策急速に方針決定
經費は追加豫算に

【東京十八日發】新內閣は前內閣が決定した失業救濟事業五千五百萬圓の當否に就いて意見を異にする處から暫く之を明年度總豫算より引き離し再考慮の上追加豫算として計上する事に方針を決定した、新內閣も尨大なる失業群の救濟が目下の急務たる事は認めるが
一、前內閣の計畫せる事業が失業救濟に適當なるや否や
一、鐵道特別會計の千五百萬圓は普通建設事業公債とする方がよくはないか
一、一年度限りの目算で場當り的に樹てられてゐるので、牛但久的と見らるゝ失業者の救濟に適當なるや否や
一、金額は一般會計は百二十萬圓鐵道は千五百萬圓だけで適當なりや
等幾多の疑問の節があるので更に案を練り急速に新計畫を決定する方針である

大審院長後任

【東京十八日發】牧野大審院長停年退職の結果後任には東京控訴院長和仁貞吉氏に內定したその後任には小原司法次官が內定してゐる

內田總裁歸連

奉天出張中の內田滿鐵總裁は杉本秘書役、鷲田囑託を同伴十八日午前八時奉天列車で歸連した

各派交涉會
民政は五氏出席

【東京十八日發】衆議院は十九日午前十時から議長官舍で各派交涉會を開き六十議會における議席並に各派控室、常任委員の割當等の件につき協議することゝなつたが當日民政黨側の出席者は木暮三四郎、工藤鐵男、佐藤正、中村繼男、平野光雄の五氏に決定した

蛇角

天皇陛下、在滿鮮人救恤の爲め金二萬圓御下賜、萬民感泣。
◇
南大將の言、滿蒙建設の如何が我國の死活に關す、萬人異議無し何卒宜敷。
◇
英公使ランプソン、態々學良の飛行機で北上せんとす、外交關方面の消息に、張の地位却て固くならんと云ふのと照合すべし。
◇
何を相談する積りだつたか分らないが、張は既に辭職通電を出して居る。
◇
伊藤述史君は國聯の花形、新に法學博士となる。

犬養政友內閣評
上海言論界の論調

日本の政變に對して南方支那人が如何なる關心を持ち合はしてゐるか、絕え間なき國內政治の紛糾にウンザリさせられてゐる彼等には外國の政變など、どうでもよささうなものの、やはり日本政變による日支關係の將來については大いに重大視してゐるようである、最近協力內閣說の傳はつた際は(十二日)上海一の新聞「申報」は日本が國難來に當つて協力內閣を組織せんとすることは總べて國事を以て前提とする所の精神即ち黨を輕んじて國を重んずるの精神に基くもので、吾人の深く欽佩さするに足るもの、顧つて顧るに吾國は如何?國難日に迫れども寧漢合作は未だ成らず北軍南軍は今尙軌道を異にす、國民も亦意見紛々として目標各々異り、恰も國外の大敵を忘るゝもの、如くである、嗚呼今日さし醒めずんば何時か醒める日あらんや
と天下に警告する所あつた、次いで大命犬養總裁に下り、政友會內閣出現の報あるや申報は
犬養氏は曾つて孫文先生の革命運動を援け、孫文先生の移靈祭の時は遠路わざ〳〵臨席した、而も氏は日支關係の改進についても若干の關心を持つてゐる、併し犬養氏が曾つて孫先生の友人であつたからとて、氏の對支政策に樂觀的期待を持つことは出來ない、何となれば、氏の政治的背景は政友會であり、氏の任ずる所は政友會總裁である、抑々政友會の對支政策たるや、既往の歷史と最近の外交宣言によつてもその一貫して民政黨よりも積極的であることが判る、かの軟弱外交の非難ありし民政黨內閣にして尙且つ滿洲を武力占領したではないか、況んや對支積極政策を主張する政友會を背景としての犬養氏に對し單なる孫先生との私交關係の故を以つて、日支關係改造の幻夢を抱くべけんや、元來政友會なるものは財閥、大地主、軍閥を背景となすもので、その主義とする對外侵略は引いて東亞の風雲をより險惡ならしめるであらう
と評してゐる、一方共產黨方面は如何といふに、彼等は例によつて日本の政變はソウエート同盟に對する進攻と支那侵略の陣容を樹てなはす爲めであると宣傳してゐる要するに政友會內閣の出現に對して支那人の態度が大いに緊味惡がつてゐることは事實で、恐日病が益々激化して行くことは爭へない事であらう、殊に南京政權は今や國內民心の離反によつて末期的恐慌に在るが、此時に當つて南京政府に對し最も若手の政友會內閣が出現したことは蔣介石等をして日支關係の前途を益々悲觀せしめ、政權投出しを決意せしめるものだと觀測してゐる向もある、同時に協力政府の樹立を目論んで失敗した支那の安福一派——王兆銘一派は此時に乘じ、親日を標榜して新治路を打開せんと策しつゝあるとも傳へられてゐる(十二、一五、上海にて日森生)

北平の政治的地位
蔣氏の下野に伴ひ重大となり
公使館南遷は立消え

【北平十七日發】張學良の新地位につき外交團方面の觀測は之により學良の勢力範圍は東三省を除く黃河以北の北支那一帶に擴大され山東の韓復榘に對しても壓力を加へて一層基礎鞏固となるものと見て外交々涉も從前通り學良を相手とするに變化なく北平の政治的地位却て重大となり各國公使館の實質的南遷も北平に復歸すべしとさ

陸軍首腦部の異動觀測

【東京十八日發】陸軍では閑院元帥宮參謀總長推戴に內定し一兩日中奏請に決したが、武藤教育總監の辭任は來年まで保留され、犬養首相以下前閣僚御慰勞のため十八日午餐の御陪食を賜はつた
參謀總長更迭に伴ふ異動豫想は臺灣軍司令官陸軍中將眞崎甚三郎氏が參謀次長に、第四師團長阿部信行中將が臺灣軍司令官に、二宮參謀次長が第四師團長に、第三師團長川島義之中將が教育總監本部長に、杉山陸軍次官が第三師團長に、小磯軍務局長が陸軍次官にそれぞれ親補される模樣である

南京市中の和平氣分
廣東代表入京し

【南京十七日發】廣東代表孫科氏等一行百餘名は午後三時三十五分特別列車で賑やかに南京入を爲した、市內の空氣は學生團の騷擾依然たるが本日も中央黨部に押かけ數名の黨員を袋叩きにして重傷を負はしめ市內で示威運動をなす等險惡であるが、廣東側の入京で蔣石側代表歡迎のビラが貼られ俄に蘇生の色あり暫くは廣東派萬歲の時代續くものと見らる

孫氏邸で晚餐會

【南京十七日發】首都に入つた廣東代表一行は中山陵に詣でた後蔣介石氏を訪問した、今夜は孫科氏邸で晚餐會あり、蔣介石氏を初め南京、廣東要人出席した

東北地方民に南米移民を奬勵

【東京十八日發】東北凶作地方の罹災民救助に關し更生の振移者ではは此際特に積極的に同地方に働きかけるに決定、南米移民募集を行ふ事となり海外興業會社に實情調査方を命令した、即ち本年度渡航費補助の豫算は百七十萬八千七百餘名の移民を送る計畫の處現在漸くその半數に達しただけなので之を以て凶作地方の罹災民の南米渡航を奬勵し該豫算を殘餘にして不足の場合は更に第二豫備金から支出してもこれを行ふ方針である

起草委員會報告書作成終る

【パリ十七日發】支那調査委員會問題に關する聯盟理事會起草委員會は十九日報告書の起草を終り直にこれをジュネーヴの聯盟事務局に提出するはずであるが、その內容は二三週間內に發表されることはないと云はれてゐる

獨委員候補

【パリ十七日發】對支調査委員ドイツ委員はジュネーヴ氏選ばれん

東亞の謎(152)
國枝史郎
插畫 伊藤順三

戰ひ(三)

潛行して來たその一隊の、將校宿舍の攻擊は、突然でもあれば急激でもあつた。
也速該の方から云ふ時は、しかし尤も計畫的のもので、也速該は何うあらうと小夜子と洋子とを、此方へ奪はうと思ふのであり、戰鬪狀態となつたからは、二人の女は看護婦として、其處に働いてゐることだらう、だから其處を急に襲つて、二人を此方へ奪はなければならない。——その點から此處への攻擊が、潛行的に行はれたのであつた。
この一隊の中には武村もゐた。
武村は黃帮の頭分であり、也速該の部下の兵士や將校の中には、黃帮の會員が相當にゐ、この一隊が夫れであつた。
つまり武村俊三が、黃帮に屬し
可成り大きな將校舍であつた。
その中に負傷した數人の兵士が女達の手あてを受けてゐた。
洋子も居れば小夜子も居、二人ながら働いてゐた。
次郎も懸命になつて働いてゐた。
此處は大丈夫と思つたからであらう、たゞ三人の國民黨の兵士が形式ばかりに詰めてゐて、戰鬪の用意は出來てゐなかつた。
、其處へ突然襲はれたのであつた
女達は悲鳴を上げて、持つてゐた物を擲り出したり、介抱してゐた負傷兵達を、思はず捨てゝ逃げ出さうとした。
「大變だ!」
と次郎は思はず叫び、窓へ飛んで行つて外を見た。
バラ〳〵とその窓へ彈丸が注がれた。
「あッ」
と叫びながら次郎は飛び退さつた。
「敵だ!攻めて來た!えらいことになつた……兎に角戶口を……早く早く!」
喚きながら戶口へ走つて行き、扉の前へ椅子だのテーブルだの、重さうな物を積み重ねた。
「敵ですつて、次郎さん、何うしてすう!」
顫えて、今にも仆れさうに、ロク〳〵しながらも甲斐々々しく、洋子は次郎の手助けをした。
これも眞蒼に蒼ざめながら、小夜子も次郎の手助けをした。
兵士が一人窓へ飛んで行つた。
が、彈丸に撃たれたのであらう、丸太ん棒のやうに仆れて死んだ。
血がパーッと床へ流れた。
負傷兵達は起き上がらうとした
「窓へも何か!」
と次郎は叫んだ。
てゐる一隊を率ゐ、この方面へ向つて來たのであつた。
たゞし武村は如何に少數であらうと、兵を指揮するといふやうな、さういふことは出來なかつた。軍事に關する智識の一片さへ、知つてゐる彼では無いのであるから彼は要するに也速該の命で、小夜子と洋子との二人の女を、掠奪する爲めにこの一隊の中に、加はつて來たに過ぎないのであつた。
先づ小銃の一齊射擊が行はれ、つゞいて突貫が行はれた。
宿舍の外側には柵ばかりの、障礙物が設けられてあつた。
それを踏み越えて彼等は進んだ、さうして直に宿舍に迫つた。
宿舍は泥と石と木と、さういふ物で蒙古風に——泥小屋のやうに作られてゐて、出入口には扉があり窓には硝子が篏められてゐた。

懷德縣城の兵匪を包圍し 今曉來總攻擊を開始
長春から飛行機も出動して 徹底的に剿滅する

排日、抗日、侮日の本據、學良の別働隊として新政府に反對しつゝある懷德縣城の兵匪討伐に出動中であるわが第〇〇〇旅團隊下の主力部隊は十七日正午入城のところ城内民家一圓に潛伏中であつた無數の兵匪抵抗しこれがためわが討伐軍は城内を包圍し十八日拂曉より總攻擊を開始した、なほこの攻擊には小黑林子で騎馬匪賊七十名と遭遇し賊二十名、馬十二頭を殪して殊勳を樹てた長春守備隊百名及び公主嶺からの騎兵隊も參加してゐるが、主力は長春に待機中であつた混成第〇〇〇旅團の野砲〇中隊、步兵〇大隊で徹底的に剿滅される筈だといふ、なほ長春飛行隊では十八日拂曉より偵察の飛行機を以て爆彈投下のため出動したが十八日は幸ひに前日の吹雪もカラリと晴れて絕好の飛行日和である、因に懷德縣城の兵匪はわが討伐軍を感知して一部は夜陰に乘じ農安街道及び長嶺街道方面に逃走した、然し大部分は城内に潛伏してゐたやうである【長春電話】

月明の雪道を追擊して 馬車の上で射擊戰
歸途再び馬賊に遭遇して交戰 勇敢なる長春署員

十七日午後七時頃長春市内東五條通において二名組の馬賊現れ客馬車を强奪すべく馭者を毆りとばし路上に昏倒させその隙に乘じ馬車を强奪

逃走 した、附近にゐた客馬車三臺は直に北六條派出所に屆け出でたため居合せた志田、大園二巡査は右三臺の馬車に分乘直に追跡、急を聞いた本署では田畑司法主任以下刑事、巡捕等はサイドカーで出動、追跡中の二巡査は後から來る應援隊のため馬車を途中に置いて追擊方向の目標となしつゝ前進一里半餘の雪に埋まつた田舍道を月の光を賴りに馬車で逃走中の

賊を 發見しこゝに猛烈なる射擊戰が馬車の上で彼我の間に行はれ遂に團山堡部落入口で一名を殪した、これに勇氣を得た二巡査はなほも殘る一名の賊を追擊、三名は月と雪明りの中に死力を盡し亂射亂擊の大爭鬪を行つたが賊は叶はじと馬車を棄て部落内に逃走行方を晦ました、この時應援隊の到着を得大々的に搜査を行つたが發見するに至らず同九時頃賊の

死體 をもつて本署に引揚げた【長春電話】

げた、ところが賊を追擊中市内三笠町の雜貨商德純齊方へ四名組の馬賊が押入り見張中の賊を警邏中の警官がこれを發見し逃ぐる賊を單身追擊中折柄團山堡より凱旋を奏して引揚げ中のわが刑事隊と出合せ約二十發餘を浴びせかけたが賊は逃走しつゝ應戰負傷したまゝ逃走、馬車で城内に入込むところを警官に

誰何 され手負ひのため逃げられず逮捕され、東洋病院に擔ぎ込み手當を加へたが十八日午前五時死亡した、三名は逃走したがこの馬賊騷ぎ中に驛構内木工場に火災を發しそれ火事だと出動、一夜に三度の事件が連續的に起つたので長春署は零下二十四度の寒夜に總出動の騷ぎで奔命に疲れた態であつた、なほ團山堡において賊を殪した大園、志田二巡査の

沈着 なる態度に對し武波署長は金一封を贈つてその功を賞した【長春電話】

林家臺驛襲擊さる
交戰擊退し二名死傷

十八日正午林家臺南方に匪賊の大部隊來襲し、そのうち約十五名は山上より驛を襲擊した、このため驛員、警察隊協力交戰擊退したが驛支那人一名流彈に當つて即死し一名は重傷を負ふた【奉天電話】

指導員が中心となつて一應プランを立てゝから着手しやうと思つてゐる

黑田侍從歸京

【東京十八日發】天皇陛下の御内意を奉じて北海道、青森地方の凶作地の實地調査に赴いてゐた黑田侍從は十八日午後二時歸京同日午後三時頃陛下に拜謁を賜はり持參の東北窮民の食料品その他を天覽に供し伏奏の筈である

奉天龍江間の 直通列車時間

廿日から實施される奉天、チチハル間の直通列車は滿鐵第二十七列車をそのまゝ四洮線に入れ四洮線の第三列車に代るものであつて發着時刻は次の如くである【奉天電話】

奉天發一六時二〇分▲四平街着二二時五分▲同發二二時▲龍江着（チチハル）一七時三〇分▲龍江發九時▲四平街着六時三〇分▲同發七時四〇分▲奉天着一二時五分

全國失業者 四十二萬
最高レコード

【東京十八日發】内務省社會局發表九月一日現在全國失業者推定數は四十二萬五千五百二十六人で近年の最高レコードである

消費、購買組合の 政治的解決を圖る
各地輸入組合員が中心となり 近く陳情書を提出

在滿小賣邦商は近年、不景氣の深刻化につき窮迫の度を高めて行つたが、利害關係上、對立する滿鐵消費組合や關東廳購買組合に對しては、既往幾度か改廢運動を起したにも龍頭蛇尾に終つたゝめ、新たなる運動を起す氣力なきかに見えたところ、たまたま滿洲事變が勃發したので軍部方面に對し「消費組合が蟠居するため兄弟たる邦人の滿蒙發展を阻害する」といふ方面を强調し、政治的に問題を解決せんとする機運が頓に釀成された、この運動はその後漸く各都市に波及し各地輸入組合員が中心となり各地と連絡をとつて具體的解決方法を講究中のところ、輸入組合聯合會理事並に各地輸組理事においても大勢を察し内々對策を研究してゐたが、大體において成案を得たので、輸組評議員らが議したる「問題解決に關する陳情書」を輸組理事の手により滿鐵並に關東廳首腦者及び軍部方面に提出するといふ形式をとりたる上、これが具體的解決方法は各理事に一任するといふことになつた

で滿鐵においては消費組合が從來配給し來つた生活必要品年額を五百萬圓とみてこれが一割五十萬圓を社員につき增給するといふことが一つの根本要件になつてゐる

解決案の大綱

具體的解決を一任された理事はこれまでに大體講究してゐる案につき各地商工會議所方面とも意見の交換をなしたるのち滿鐵と熟議し感情的に問題解決をはかることになるであらうが案の大綱は目下のところ大體左の如きものとみられてゐる

即ち消費組合並に購買組合は全廢する、小賣販賣は專ら市中小賣商が當るが仕入合理化のため輸入組合は滿鐵より現に融通を受け得る資金を以て（約二百萬圓）各地組合勘定において組合員の仕入額を纏め輸組聯合會において更にこれを單に綜合仕入れて配給の任に當る、而して販賣の公正をはかるためには輸入組合においても價値標準を指定しこれが勵行を期するため陳列による價格表示その他の方法を講ずる一面滿鐵社員の便宜並に華商の侵蝕防止をはかるために滿鐵社員や官吏には各商店につき信用掛買りとし月給差引制を持續する、なほかくの如くするも滿鐵社員の買値は從前より約一割の割高ならざるを得ないので

少女間に大流行

少女倶樂部新年號には和裝洋裝どちらにでも面白く衣裝を着かへさせられる人形が附錄について少女間に大流行です、少女倶樂部はぜひ御覽下さい。

理窟を離れて
霍田輸組理事談

本問題が起るのは種子が蒔かれてゐる以上已むを得ない勢ひであらう、然し解決は專ら滿鐵當局が行ふ意味において我々は理窟をはなれ事態に動かれば本當でない、この意味でお願ひして穩談的に破決したいと思ふ、五十萬圓見當の增給ですか？これは突飛のやうに聞へるかも知れぬが、組合を全廢すれば滿鐵社員は以前より相當不利益になるから、これが是非とも必要だ、でなければ我々の案は骨拔きになるし、また滿鐵としても大局高所から見て、是非とも援助願ひたいものだ

根本方針から
中村常務理事談

この問題については意見を述べられない、撤廢的にですか？元來滿

ドン底に喘ぐ四家族
大連署保安係の貧困者調査で 薄幸な人達が判明

病氣、失職のため饑と寒さにふるへながらドン底生活を送つてゐる憐めな人達にせめて正月だけでも溫かい年を迎へさせるといふので大連署保安係では此程各派出所に命じ管内貧困者調査を行つてゐたが十八日までに判明した貧困者は左の四戶で、何れも涙なくしては見られない薄幸な人達ばかりである、署ではこれ等貧困者に對し各方面の篤志家から寄贈あつた金品を適當に分配する筈である

◇市内日出町二番地川上シゲ（三七）さんは夫卯八（四三）が本年四月朝鮮近海に出漁した際暴風のため遭難、船と諸共押流されて行方不明となつた、爾來シゲさんは長男福長（一二）を頭に二人の子供を抱へ辛うじて生活中二男文浩（九つ）が脚氣に罹り引いて自分も產後の肥立ちが惡く目下入院中で、殘された子供三人は食ふに米なくこの寒さにふるへつゝ附近の人の情にすがり悲慘な生活を送つてゐる

◇市内臥龍臺六番地中村ミツ（三九）一家は昭和三年八月主人死亡後長男の秀男（二一）が遞信局に勤め細々ながら一家の生計を立てゝゐたが、本年十月肺を病む秀男は某軍大事件に連坐して入所し、次いで長女（一七）もフトしたことから詐欺罪で拘引されてより、一家は忽ち轉落、母は次男十四歲と三男十一歲を抱へて働くに職なく餓と寒さに戰いてゐるのを見兼ねた方面委員福田熊次郎氏の援助と家主の

◇老虎灘會西口滿村居住の中橋眞齊（五七）は妻と長女十一歲を頭に六人の子供を抱へ、働かうにも職なく、人の情けで干魚の行商などをしてゐるが到底一家八人の口を糊するには足らず、文字通り赤貧洗ふが如き生活を送つてゐる、三人の子供は現在嶺前小學校に通學し辨當、筆、紙等の給與を受けてゐる

◇市内汐見町六番地森口松一（五六）妻キヌ（四九）といふ老夫婦は松一が去る九月多田工務所を解雇されて以來、妻が附添婦となり生活を立てゝゐたところ、昨今の不況で傭手もなく夫婦は徒食し家賃の如きも本年一月以來滯納、家主から立ち退きを强要されてゐる

陸氏の義俠で家賃無料で辛うじてドン底生活に喘いでゐる

少年團員が 行商獻金
街頭で饅頭を

「これは私達が行商して儲けた金です兵隊さんに暖かいものを買つてあげて下さい」と十七日午後小幽子警へ少年團服を着た數名の少年が十圓三十四錢を持參して來たが、この少年達は大連少年團の伏見隊鳥居班の班長野和夫、原忠夫兩君外次長木村好二郎、増子瑕一、大地半三、高田親友、木下實、小松保彥君等で約一週間前より各自二十錢三十錢と小使錢を集めあつてそれを資本金として同班の木下君方が饅頭商であるため同家より饅頭一袋六錢にて仕入れそれを十錢で暖かい饅頭を街頭で賣り歩いて得た元金取りまぜたもの

革工場爭議 暴動化
姬路署員負傷

【姬路十八日發】姬路市外花田村北中野の革工場では豫て爭議團員が爭議の演說中一爭議團員が警官と爭議を弄したので警官が禁止したところ村民の間に大衝突が起り遂に縣下十數名重輕傷を負ふ姬路署の宗久警部補以下十數名重輕傷を負ふ姬路署では縣、龍野兩署員の應援を得て目下市外市川を挾んで雙方對峙中で鎭靜の見込なく憂慮の氣漲つて居る

本鄕區慰問使

東京市本鄕區在住者をもつて組織されたる本鄕區兵事義會では駐滿軍隊慰問のため同會理事松脇正雄氏同淸輔重男氏を慰問使として特派され兩氏は十七日入港の香港丸にて來連、十八日日本橋小學校長越智末一郎氏帶同のもとに本社をはじめ各方面に挨拶に廻り十九日奉天に向ふと

吉敦線は旅客 列車全通

吉敦線は十七日正午旅客列車のみ全通した、貨物列車は未だ復舊しない、蛟河を襲擊した馬賊は東北方に逃走したので敦化警備の支那兵四百は賊團の再襲擊を防禦するため威虎嶺に出動した【長春電話】

鎭さしては一方に輸入組合を助成しながら、反面消費組合を擁助してゐるところに根本方針上の矛盾があると思ふ、なぜなら小賣邦商をもりたてやうとしても消費組合が割據し大部分の購買力を別物扱ひにしてゐるからです、從つてこの問題もこの見地から具體的に愼重に研究する必要があると思ふ

外人密輸者 保釋願
許さぬ意向

紳商紳士を裝ふて多年に亘り滿洲を横行し麻醉藥密輸を行つてゐた外人密輸業者は大連署の活動で主謀者と見られる數名を檢擧、目下大連檢察局高井檢察官係で取調中であるが、彼等外人團の家族は寺島（鞆）米岡、相川、瀧田の各辯護士に保釋方を嘆願してくれと泣きついて來たので、各辯護士は十七日午後四時來連中の安岡檢察官長と面會、家族の意を傳へ放還方を嘆願した

しかし司法當局では多年に亘り我警察權を無視して日本人を表面に踊らせて裏面で巨利を博しつゝあつた不敵な密輸巨頭連であり、殊に遺族達は相當の生活餘裕を持つてゐるものばかりで逃走の虞れもあり司法當局では容易に保釋を許さぬ意向で去る十六日川畑豫審判官の令狀で引續き拘留してゐる

な悉く持參したものでこの凍ぐましい可憐な少年達の國を思ふ純情さに同署の門脇警務主任もホロリとされた

天潮丸遲る

十八日天津より入港豫定の天潮丸は沙待その他の關係で十九日入港に變更を見た

沙河口署司 法主任轉動

沙河口署司法主任豐増彥吉氏は十七日附を以て長春署轉勤を命ぜられ廿一日午後九時三十八分沙河口驛發列車にて赴任することゝなつたが後任には長春署より加藤俊秀警部補が來任すると

時局講演會

嶺前三區住民主催の下に十九日午後六時より嶺前小學校において實戰講話時局講演會が開かれ獨立守備隊歷戰將校の實戰談並に小川順之助、大内成美氏等の時局講演がある筈

永昌號判明

既報上海を出帆したまゝ行方不明と傳へられた永昌行所有永昌號について當地代理店より十八日午前の通報によれば同船は山東省石明子に寄港してゐたものだと

金氏結婚

新大陸社の金三民氏は今回吳松江孃と婚約成り二十日午前十一時電氣遊園登瀛閣にて結婚式をあげ引續き披露宴を開くと

西の風 晴一時曇 十九日

各地溫度　十八日午前十一時／十七日最低

地名	十八日午前十一時	十七日最低
大連	零下七、三	零下一一、一
旅順	同 四、六	同 一一、〇
營口	同 一〇、三	同 一七、五
奉天	同 一二、七	同 二〇、五
長春	同 一七、三	同 二四、〇

けふの小洋相場（正午）

金百圓は一八三圓九〇錢

軍縮全權晴の出發

來春二月ジユネーヴで開催される陸軍々縮會議へ派遣されるわが全權一行は十五日午前八時二十五分外務省より自動車廿七臺に分乘し東京驛に到着ホームには犬養首相以下各大臣を始め陸海軍關係その他朝野の名士の盛大な見送りを受け晴れやかにも午前九時發列車で鹿島立ちした、寫眞は列車より見送人へ答禮する三全權、右から永野海軍全權、佐藤大使、松井陸軍全權

在滿鮮人に 御救恤金を下賜

【東京十八日發】天皇陛下には滿洲事變發生以來在滿鮮人の被害少からざる趣き聞召され右御救恤の思召を以て中央朝鮮協會に對し十八日金二萬圓御下賜の御沙汰あらせられたので同會理事馬場鍈一氏は阪谷會長に代り午前十時宮内省に出頭宮相より拜受退出した

吉林長春縣下に 不思議な風土病
幼兒の間に流行する

吉林東洋醫院長から滿鐵衛生課長への通信によれば吉林、長春兩縣下方面に不思議な風土病が流行し益々猖獗の兆あり一日五十名もの患者が東洋醫院に押しかけてゐる該病は主に幼兒間に流行し死亡者も相當にある、特徵は頸部淋巴腺がはれて脾臟大となり四十度位の熱がある、耳下腺には關係無いが一般骨上行枝に固着した腫瘍あり全く例のない奇病である、なほ昌圖方面の猩紅熱調査のため同縣指導員の外に滿鐵地事及び衛生技術者から成る調査員を派遣した、千種衛生課長は語る

吉林方面の奇病については何れとも斷じ得ない、蒙古診察の時なども得體の知れない風土病に遭遇することがよく有るが今度のもよく研究した結果を聽かなくては判らない、昌圖の猩紅熱は調査員をやつたからその結果に基いて防疫を講ずるが從來の例に見るも一般民衆が理解しないため飛んだ誤解を招き防疫が行はれない場合がよくあるので

暗流阿修羅館 (275)

生田蝶介
挿畫 藤井耕達

海へ（四）

「それで何と云つてくれた」
「あゝ、周太郎なら疾くに死んだと云つてやつた」
「莫迦にしてゐる」
と周太郎は云つて
「要は、それでどうした」
「そんな筈はない。と顋をひねつてゐた。俺は、それでも、本當に死んだんだから、田沼に歸つてさう云へと云つて追ひかへしてやつた」
「ひどいことをするな」
「これ、出かけるかな、陸上も、これでいよ／＼お見限りだ。どうだ一緒に來ないか。面白いぜ、尤も、一生俺をつけ狙ふのなら、當然ついて來るだらうが、今時、そんな實直な、馬鹿もあるまいけれど、そんな問題は別にして、もつとのんきな氣持で海へ來ないか」
「俺には女房もあり子もあるでな」
「そのことなら安心せえ、木母寺の裏にゐたのだらう、俺が疾くに引取つておいた。だが女房子さえらさうにいふが、俺をつけ狙つてゐる間は、一度も家を省みなかつたであらうが」
「田沼の殿の方からちやんとしてゐて下さるとのことで安心してゐた」
「馬鹿だな、田沼が何一つするものか。貴公は木母寺の焼けたことも知らぬだらう」
「焼けたか」
「恰度焼けた時、貴公の家へ居合せてな」
「ふうん」
「さあ」
と、新左衛門は立ちあがつて帶を締め直すと身ごしらへをして
「貴公も用意したらどうだ」
と云ひながら障子をあけた。
「おゝ、降つてゐる降つてゐる。眞白だ。咫尺も辨ぜぬ程だ。美しいな、もう暮れるに間がないであらうのに、この明るさはどうだ。降れ、降れ！何物も埋めつくしてしまへ！」
と、さも心地よげに云つた。
周太郎は、これも用意しながら
「したが、兄貴は正體は何者なのだ」
と、心から不審さうにきいた。

「石田治部輔三成の七代の孫、石田五郎成友。二代の祖氏成は母と共に父のあとを慕つて、大阪から奈良の八木へ出て、初瀬、三本松を通つて、伊賀國に入つた頃は、關ケ原の戰も濟んでゐた。名張の町に落着いた時、この母子は、はつきり、大阪方の敗北を耳にし、治部少輔が伊吹山の麓で捕れたことも耳にした。が、京都に行かうにも、調べが嚴しくて滋賀にはどうしても足が踏み入れられなかつたので、津の方へ出て、其所で暫く隱れてゐる積りが、母が旅の疲勞や心勞で發病されて十二の少年氏成は、そこで一人ぼつちになられた。津は港である。こゝで船大工の家に救はれたが、長ずるにつれて、徳川を呪ふ焔は燃えつのつた。あさはくたくしい相貌でわかるであらう。呪ひつゞけて七代目だ。が、その時分から海を相手の仕事だつたが俺の三代前から一人前の立派な海賊になつてゐた」
「海賊！」
「さうだ。音戸の五郎成、飛龍丸ともいふのだ」
「あの有名な飛龍丸！」
「飛龍丸、蒼雲丸と云はれてゐる蒼雲丸といふのは、あの丸八の濟藏のことだ。長崎の丸山で知り合ひになつてな、同じ海賊同志、今では兄弟のやうなものだ。あれも一と芝居打つて後は、飛龍の島に行つてゐる。金はそつくり、田沼に取られるのが嫌さに仕組んだ芝居。これも飛龍の島にある。海にもちと飽きたから、一つ天下を取つてやらう、それには七代の恨みも晴らさうと思つて江戸へ乘り込んで見ると、もうすでに三宅島を領する宇喜多の一黨が江戸へ入込んで、天下を覆さうと計つてゐるらしいので、もともと同志見たいなものだから、俺が取るにも奴等が取るのも同じこと、暫くこつちで傍觀してゐると、縦蹟が多すぎてだらしのない許りか、遂には同志と同志で火のやうな爭ひをして到底このまゝでは百年たつても物にならぬばかりか取返しのつかぬ醜態を釀すので、これはいけないと、不愍とは思つたが俺が殆ごを殺してしまつた。中で疋田能員と琴世、里路の三人はなかなかの人物ゆゑ生けてある。宇喜多家の家寶であり、主權寶である七個の夜光の珠もいまは皆俺の手にある。三宅島の宇喜多家も、これでいまは飛龍丸の領する所となつてしまつたのだ。さあ行かう」
飛龍丸は、雪の庭に飛び降りたと、わーッと起る捕方の聲、眞白く降る雪にそれとはつきり見えぬが、家をつゝんで無慮七八十人ちらちらと雪の奥に黒い影が近づいた。
「何を！」
と云ふなり、飛龍丸はさッと拔いて身構へた。（完）

武門血笑記

下村悦夫作
工藤義正挿畫
十九日夕刊から連載

作者の言葉

古いものが行詰つた後には必ずそれに取つて代るべき新らしいものが嚴然な勢ひを以て現出展開する。その大轉換期に臨んだ人間の態度や生き方！これは大きな興味であり問題であらればならぬ。

そこで私は今からそれに就いて、明治維新の風雲を孕んだ幕末といふ大革命大變化期の舞臺を借りて、武士階級に屬する三人の若者を登場させ、彼らがその大轉換期に臨んで如何なる態度をとり、如何なる生き方をしたかを書いて見ようと思ふ。即ち、この一『武門血笑記』一篇である。

而も、この大きな興味と大きな問題！これは、幕末といふ遠い過去の話だけではなく、今以て生々しい現實性を有つてゐる問題であり興味である——とも考へられる。御愛讀を祈る次第である【寫眞は下村悦夫氏】

キネマと演藝

常盤座の正月プロ SPと提携

晝夜四回の大衆興行をなしつゝある常盤座では新春を期して陣容を一新し飛躍を試みるべく過般來小泉友男氏が上阪して活躍の結果、愈々SPチエーンと提携しメトロを除くSP封切洋畫を以て元日よりクラング發聲機により全發聲興行をなすことに決定し正月プロは左の如くである

▲第一週 パ社超特作品全發聲映畫エルストン・ルビッチ監督ジヤネット・マクドナルド嬢ジヤク・ブキヤナン氏主演「モンテ・カルロ」十卷及びパ社提供コロムビア映畫特作品日本版發聲映畫田村幸彦氏飜譯ボール・ホーフラー博士總指揮「アフリカは語る」十三卷

▲第二週 獨逸アファ社製作トービス社全發聲映畫山の巨人アーノルド・ファンク博士撮影總指揮レニ・リーフエンシユグアル嬢主演「モンブランの嵐」十卷及びパ社全發聲映畫ウイリアム・ウエルマン監督チヤールス・ロジヤース、ジーン・アーサー嬢主演「若き翼」九卷

第三週は未定で時局の成行きを見た上でレヴユウ上演の計畫が進められてゐる樣子である

河合映畫 滿洲支社 支社長峯島氏

河合映畫九州支社では今回滿洲支社を開設することゝなり、支社長に峯島一郎氏を推薦し過般來九州支社顧問菅原義男氏が交渉中のところ、この程峯島氏の快諾を得て明春一月一日を期し營業を開始し積極的に滿洲進出を試みることゝなり峯島支社長の手腕が期待されてゐる

噂話

常盤座の正月興行のプロが第二週まで決まつた、第三週は天下の形勢を見極めた上と慎重な態度をとつてゐる▲不二映畫は最初日活配給が傳へられたので帝國館が上映の噂をしてゐたところ▲今度はSPを通じて常盤座上映が豫想されたところ▲今朝歸連した峯島一郎氏の傳へるところによると愈々松竹で配給することに決定し▲滿洲は松竹大阪支店が配給するから當然中央館に上映されるものだと▲また月形プロは滿洲配給權を歐米映畫九州支社が持つてゐるが、これは双方の交渉が纏まれば常盤座に上映されることにならう▲さて正月興行の入場料であるが、從來の如き高率は先づ明春から望めなくなるだらうとお互に肚のさぐり合ひをやつてゐる

本社特選 新棋戦（其四）

平手香交 五段▲齋藤銀次郎
先 四段△樋口義雄

【圖は七五銀迄の局面】
▲齋藤氏「持駒」角歩歩歩
△樋口氏「持駒」角歩歩

△六七金右 ▲五五歩
△四六銀 ▲八六歩
△同歩 ▲八七歩
△同銀 ▲八八歩
△同金 ▲五六歩
△七七金左 ▲四四歩

【土居八段講評】▲齋藤君は桂を利用して中央より攻撃準備を圖らうとの心算の下に五五歩と突出したのは輕策である△其時樋口君は敵桂の働きを妨げ五筋を輕く豫防の目的で譜の如く四六銀と上つたのであらう敵歩を殘し置くのは危險である。極力防ぎ切つて指切り模樣にしやうとの方針の下に五五同歩と取つて敵の仕掛けを待つ處である。